

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠障害 等の既往	睡眠障害 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の作 用歴	異常な行動に 関する既往歴	継続投 与例			
10	B07027596	3	年	男性	遊戯 幻覚	2008/02/07 2008/02/08	21:00 9:30	2008/02/07 2008/02/07	22:00 22:00	○	-	30分	10分	No	発熱持続中	-	No	Yes (発熱時 に怖い事 を見る)	-	No	No	2008/02/07 (10:00)インフルエンザA型と診断。(21:00)A型インフルエンザに對して、タミフル25mg内服。(22:00)熱感あり、寝たかと思うとわっと叫んで「何かがある」と言う。テレビを指差して「あーあー」「まーまー」と訳のわからないことを言いながらクワンをえる。10分位でおさまって入眠。(23:00)おふんに入っていたのが起きて走り出す。10分程でおさまる。 2008/02/08 (13:00)また騒ぐ。(9:00)起きてすぐまた「わーっ」と騒ぐ。体温38.4℃。朝食はふだんの半分くらい食べた。(9:30)本剤12.5mg内服(香味のため半分でやめた)。	
11	B02001480	4	年	男性	①妄想 ②幻覚	2002/2/5 2002/2/8	夜 朝	2002/2/5 2002/2/8	服用1時間 後 服用2時間 後	×	-	-	-	-	Yes	-	-	-	-	不明	投与開始当日 体温:39.3℃。1カプセル投与1時間後(夜間)に妄想、幻覚が出現。その後、妄想、幻覚は、おさまった。 投与開始翌日 朝、1カプセル服用2時間後に幻覚、妄想が出現。来院後、タミフル投与中止。(本人が包丁を持ち出した。その事を知っていると、持ち出したことは覚えていないとのこと)。		
12	B05000976	4	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動 ③尿失禁	2005/3/11 3/12~3/13	夕 朝・夕	2005/3/13	12:00	×	No	-	13日5分 14日10~15 分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	無	意識がもうろう状態で、意味不明の発語をしながら火がついたように泣き、母親を抱きつく。母の膝の上で尿失禁をする。夜、経路中突然起き上がり叫ぶ。壁を打つ。ガン即く等の異常行動となり、母親が声をかけやなだめるとも全く反応せず。10分から15分くらいすると自然に再入眠をする。このような行動を1時間毎に4~5回繰り返した。 興奮状態が30~40分。その後大声で奇声を発し、低ええように走りまわる。大人二人でかろうじて押さえる。単なる興奮というよりも、抑制しないと飛び出しかねないような暴れ方、事故につながりかねない様子。つじつまはあっているがしゃべりまくっていた。	
13	B06024911	4	年	男性	①激越 ②異常行動	2007/2/28	夕方	2007/2/28	17:00頃	-	No	30分×数回 (くり返し)	No (くり返した)	解熱過程	No	No	No	-	No	無	母親が姉を保育園に送っている間目を離した間に、道路を全速力で走り、おりに、家につれて帰った後は、ベランダの欄干を這えようとしていた。		
14	B07000057	4	年	男性	異常行動	2007/2/28	不明	2007/2/28	服用30分後	-	No	-	-	No	発熱持続	-	No	No	-	不明	母親が姉を保育園に送っている間目を離した間に、道路を全速力で走り、おりに、家につれて帰った後は、ベランダの欄干を這えようとしていた。		
15	B07000106	4	年	男性	激越	2007/3/18	19:00	2007/3/18	20:00	-	-	-	1回目は数 分で回復 2回目は1 時間以内 に回復	2回目の異 常興奮以 降は完全 に回復	発熱持続	-	No	No	No	有(不明)	2007/3/18 午前中から39~40℃の発熱があり、休日診療所を受診した。インフルエンザA型と診断。タミフル、ムコダインを処方された。自他覚的見、39℃~40℃台、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、(19:00)本剤、ムコダインを服用した。(20:00)大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。(23:30)大声をあげて、押さえつけていないと動き出すような暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は覚醒で興奮状態になった。本剤は中止とし、観察目的で入院した。以後、静注のみで観察したが、異常行動、けいれん、異常発音などはなく、 2007/3/22 退院。		
16	B07000286	4	年	男性	①激越 ②異常行動 ③筋骨格硬直	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00 18:00 8:00 18:00	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00~14:00 18:00~ 23:00 8:00~14:00 18:00~ 23:00	×	No	-	5~6時間	Yes	発熱持続 解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/10 (8:00頃)インフルエンザAに對して、タミフル86mg×2回/日投与開始、コケッコーと言ったうわごと(非重篤)を著して、表情もこわばり(非重篤)、走り出すため、親が抱きかかっていた。(14:00頃)本剤服用後8~7時間後に症状消失。(18:00頃)本剤投与、症状出現。(23:00頃)症状消失。 2007/03/11 (8:00頃)本剤投与、症状出現。(14:00頃)症状消失。(18:00頃)本剤投与、症状出現。(23:00頃)症状消失。3/10~11で計4回本剤投与一症状発現を繰り返した。 2007/03/13朝本剤内服後、投与中止、症状全て回復。	
17	B07004784	4	年	女性	異常行動	2007/3/15 2007/3/15	12:00 20:00	2007/3/15	20:00	○	Yes	-	1分	Yes	発熱持続	-	No	-	-	熱性虚驚	睡眠障害を思わせる既往なし。 不明 今年、予防接種2回施行。 2007/3/14 (4:00)発熱。(午前)当院初診。インフルエンザウイルス抗原迅速検査(鼻をかんだ鼻汁液体を行ったが陰性であった。トミン0.1g錠180mg分、ムコダイン0.5g錠450mg分、カロナール錠150mg服用を投与した。 2007/3/15 (午前)解熱せず再来た。鼻咽喉通液を用いて検査を行った。所、インフルエンザと診断。(12:00)本剤30mg/回投与。(20:00)本剤30mg/回投与。異常行動出現。寝ていて夜中に突然起き上がり、同じ部屋のTVの方へ歩いていった。目は開いていたがうつろであった。口を動かす、もごもごしていたが、意味は不明であった。会話は成立しなかった。1分位で横になって静かに眠りに就いた。 2007/3/16 (朝)覚醒し、以降異常は認められなかった。異常行動軽快。本剤は以降服用しなかった。 2007/3/17 (朝)解熱した。		
18	B07018038	4	年	男性	異常行動 異常行動	2005/03/14 2007/03/03 2007/03/03	不明 13:10 23:50	2005/03 2007/03/04	3:00	○	Yes	-	10~15分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	No	2005/03/14(17:00)体温38℃。(18:00頃)当院受診し、本剤処方。 2005/03/15 夕方には解熱。この間、大声で叫ぶという異常行動を起こす(出現時間不明)。 2007/03/02 (17:00)体温 38.7℃。 2007/03/03 (13:10)体温 40.1℃。本剤1回目服用。(23:50)体温 40.0℃。本剤2回目服用。 2007/03/04(3:00) 体温 37.9℃。目を開いたまま、立ったり、さわたり、定たりが10~15分続くと、就寝中、突然起き上がりおぼろげに「何か見える」とつぶつぶ、目を閉じた状態で黒点をわず、指を握り締めて恐怖の表情で走り出す。ソファの上で立ったり座ったり、何かをつかもうとする。その後、意識がぼんやりして見えていない。	
19	B07025210	4	年	女性	低体温 異常行動	-	-	2008/1/31 2008/1/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 不明 不明	2008/01/29AM 本剤3日分処方。 2008/01/30夜 体温38℃。 2008/01/31朝 体温34.2℃に低下。低体温 発現。 不明 夜間にうろろろしていた。異常行動 発現。 不明 低体温、異常行動 軽快。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	発熱歴 発熱 発熱 発熱	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	嘔吐 嘔吐 嘔吐	腹痛 腹痛 腹痛	光に対する 反応	他剤による 「異常な行動」 の既往	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように感じているのか？)	根拠 と 例
20	B07027782	4	年	男性	異常行動	2008/2/28 2008/2/28	午前 午後	2008/2/28 2008/2/28 2008/2/29 2008/3/1	不明 夜 夜 夜中	○	-	-	-	解熱後	No	No	No	No	-	2008/02/28 インフルエンザA型治療のため本剤処方。(午前)本剤服用。昼寝でいて キャンセルした。異常行動(非重篤)発現。(午後)本剤服用。夕方解熱剤を服用。夜も キャンセルした。 2008/02/29 熱は下がった。夜キャンセルした。顔をぶつけてくる感じがした。 2008/03/01 夜中急に泣きだす(いやだーと書いてすぐ泣く)。ほったたいたてても起こす が大人は泣きだすのを止めていた。その夜本剤中止。 2008/03/02 朝に回復。異常行動 回復。 2008/04/14 父親より、服用中止してから全く異常なく、健康とのこと。	
21	B04008530	5	年	男性	譫妄	2004/2/8 2004/2/8 2004/2/7 2004/2/7 2004/2/5 2004/2/5 2004/2/9	10:20 18:15 10:45 18:35 10:30 20:00 7:45	2004/2/6~ 2004/2/7	夜~ 明け方	-	-	24hr以内	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2004/02/05 夕方、インフルエンザ発症。 2004/02/06 38.3℃の高熱を主訴として来院。インフルエンザ抗原検査にてA 型と判明。(AM10:20)タミフル内服。(PM8:15)本剤内服。体温:40.2。夜~7日明 け方にかけて40℃の高熱が続く。 2004/02/07 明け方、鼻が出たと言って、興奮して家の中を走り回っていた。い わば譫妄状態に陥った。(AM10:45)本剤内服 (PM8:35)本剤内服 体温:37.0。 同日、譫妄回復。 2004/02/08 (AM10:30)本剤内服 体温:36.7 (PM8:00)本剤内服 体温:36.2 2004/02/09 (AM7:45)本剤内服。体温:36.0℃	*
22	B05024864	5	年	女性	譫妄	2008/02/08	夕	2008/02/08	20:00~翌 4:00	○	Yes	1	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	突然起き上がりつて服をしまつて開けている。しかし目つきはおかしい。そして母 の服に安んずる小さな黒い虫がつかっているとか、シールがついているからとそれを 剥がそうとしたり、毛布をアイスと書いて口にくわえたり、そばに友達がいて何々 したらダメとか何を言っていてなど話したりする。夢遊病の様に立って歩い たりもした。ほとんど眠らずにこのような症状が続いた。	
23	B05025565	5	年	男性	譫妄	2008/2/21	昼、19:00	2008/2/21	14:00 18:00	-	-	数~30分	-	-	-	-	-	-	-	2005/3 本剤服用し、異常行動(重篤度不明)発現。 2006/2/19 (朝)患児の母、発熱。 2006/2/20 患児の母、インフルエンザA型と診断。 2006/2/21 発熱。当科受診。インフルエンザA型と診断。本剤内服開始した。 (薬)本剤60mg服用。(14:00頃)30分ほど意識状態(昏睡、走り回る、ないものをあ ると言ふ)となった。(16:00頃)30分ほどの状態となった。(19:00頃)本剤2回目60mg 服用。(21:00過ぎ)30分ほど意識状態となり、救急受診、入院した。 2006/2/22 発熱。 2006/2/24 点滴中止。 2006/2/25 増悪なく退院。	※
24	B08025200	5	年	女性	異常行動	2007/2/20	19:00	2007/2/20	20:00	×	-	6時間	Yes	発熱持続	No	No	-	No	No	2007/2/20 インフルエンザA型と診断。タミフル89mg×2回/日処方。(朝)本剤 内服したが嘔吐。この時期は発熱にかかわらず、特に異常行動を認めなかつ た。(19:00)タミフル内服。体温:39℃。朝は嘔吐してしまつたので、実際には夜だ け服用。内服後寝かしつけていたが、うとうとしている状態が続いていた。(20: 00)服用後1時間くらいから異常行動発現。症状としては夜から朝までわけのわ からない行動が続き、一晩中眠れなかった。タミフルを服用させ、寝かせようとし たが、うつつうつつしている状態でふとんを投げ出したりする行動が出現した。 2007/2/21 (3:00~5:00)明け方より熟睡。おそらく熱は下がっていたと思われる が不明。異常行動回復。 2007/2/28 インフルエンザ:軽快・回復	不明
25	B04025337	5	年	女性	異常行動	2007/2/5	18:30	2007/2/5	22:00	○	Yes	1.5時間	約2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	2007/2/5 (17:00)インフルエンザに対して、タミフル内服。(20:30)就寝。(22:00) 異常行動発現。急に起き上がり、嘔吐し、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や 自分の本もを必要以上にさすっていた。心配になった両親が救急車を呼び、 搬送。 2007/2/6(0:00)就寝。(~4:00) (5:00)就寝。(~8:00)熱も下がり、退院。異常行動回復。	不明
28	B07000128	5	年	女性	①異常行動 ②意識レベルの低下	2007/3/19	14:00	2007/3/19 2007/3/20	20:00 12:00	×	No	-	1分以内	Yes	高熱(1は 事象2は解 熱後)	No	No	No	No	2007/3/19 (午前)39.6℃の高熱あり受診。インフルエンザA型と診断。(14:00頃) 本剤1回分33mg服用。 (20:00頃)急にかけ出して転倒した。眼球上転あり。意識はすぐに回復するも、そ の間の記憶はなかった。 その後本剤服用せず。 2007/3/20 (12:00頃)トイレに歩き出した後、眼前暗黒となり倒れかかり、母親 が支えられた。意識消失は無かつた。またこの時発熱は無かつた。	無
27	B07003175	5	年	男性	①虚驚 ②異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27	10:00 夕	2007/2/24	19:30	○	Yes	-	Yes	No	-	No	No	No	Yes	2007/02/24(午前)39.8℃で来院。インフルエンザA型と診断。(10:00)本剤内服 後就寝。(夕)本剤内服。(19:30)布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。 カーテンを開けて外を見、虚驚し倒れた。 2007/02/25 他院に一時入院。入院中も本剤内服継続。 2007/02/26 退院。(午前)37.1℃。朝、本剤内服。(昼過ぎ)37.8℃。「空を飛んで 死にたい」と言った。(夜)本剤内服。 2007/02/27(昼過ぎ)再び「死にたい」と発言。37.0℃。 2007/02/28 本剤1日分残っていたが、投与中止。インフルエンザ、異常行動と ともに回復。	※
28	B07013260	5	年	女性	異常行動	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16		2007/3/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/12 本剤投与開始。 2007/3/13 本剤投与2日目に、異常行動(走りまわって壁にぶつかる。表情が おかしい)が発現。 2007/3/16 本剤の投与を中止。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	症例番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じやな い:×)	寛解直 後に発現 した 異常な行動	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記録	睡眠障害症 候の既往	睡眠障害症 候の家歴	光に対する 反応	薬剤による 異常な行動 (副作用) の既往	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか?)	継続投 与例	
29	B07022413	5	年	女性	虚寒 幻覚 異常行動 幻聴 譫妄	2007/12/30 2007/12/31 2007/12/31 2008/1/1 2008/1/1 2008/1/2 2008/1/2 2008/1/3 2008/1/3 2008/1/4	夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝	2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31 2007/12/31	4:00 4:00 4:00 4:00 4:00 4:00	○	-	-	-	発熱持続中	-	No	No	No	No	No	2007/12/31(4:00) 入眠していたが急に起き上がり、走り回る。友達の名前を呼び、母の背中に虫が見え ると言い始めた。母の背中によじのぼったり、友達の声がか聞こえたと感じた。 母に抱かれてガクガク痙攣発作(?)を繰り返す。母は認識可能。 救急車で病院を受診。受診時、異常行動消失、意識清明。 本剤継続して、1/1より解熱。	*
30	B07025220	5	年	男性	異常行動	2007/11/13	2007/11/13	×	-	-	-	No	-	-	-	-	-	No	No	2007/11/13 診察時 体温:38.3℃。(夕食後)インフルエンザA型に対して、本剤36mg 内服。体温:37.8℃ →発熱した後、目を覚まし、何かにおびえるように「いやいやだ」と叫び、洗面台によ じ登ろうとする。脱口をじつと見つめる指で指さる。こうした行動を繰り返して行った。異常 行動(非重篤)発現。 2007/11/14 (朝)起床時もうやや興奮した様子。	*	
31	B07025650	5	年	女性	熱性譫妄	2008/1/28	午後	2008/1/28	服用1時間 後程度	×	-	1分	Yes	発熱持続中	No	No	Yes 詳細不明	-	No	No	2008/01/27 (夜)発熱40℃あり。 2008/01/28 受診し、インフルエンザ検査でA型陽性。本剤48mg×2回/日処方。同時 に施行したStrep Aは陰性。午後より内服開始。熱せん完発現(非重篤)。服用後1時 間経たずと熱が下がった。1分程度ではあるが、ぐるぐると同じ所をまわる様になる 動作を見た。発汗ももう(非重篤)発現。 (夜中)鼻出血も出現。 2008/01/28 熱せんもう回復。解熱後の同患者の再発はなし。いれいれなし。 2008/02/02 本剤午後内服終了。	*
32	B0013388	8	年	不明	激越	-	-	-	-	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	(母親からの連絡)服用した後、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが大嫌いで、 以前、他剤でも夜間に暴れたことがあったとのこと。	
33	B05021887	8	年	男性	①幻覚 ②譫妄	2008/1/8 2008/1/9 2006/1/10 2006/1/11 2006/1/12	朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕	2008/1/8	15:50	×	-	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	(15:50)幻覚、興奮状態発現。急に意識もうろうとし、「部屋の隅に黒い服を着た 人がいる」と、おびえるように話し、おぼれた。(18:08)救急車で来院。病 院時は不醒が強かったが、すぐおとなしくなり、採血等もスムーズに行えた。	*
34	B05023789	6	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2008/01/24 2008/01/25	夕 朝	①2008/01/24 2008/01/27 ②2008/01/24	23:00-24: 00	-	-	Yes	Yes	発熱持続	-	No	No	-	No	2008/1/24 (19:00頃)高熱の為受診し、タミフル、シロップ剤、アンピシリン系剤処方 あり。帰宅後発熱し、タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用。(20:00)就寝。(23: 24:00)服用後時間後に隣室で寝かしている部屋から「布団が熱んでいる」と 走って出てくる。母親がなだめ、確認する。幻覚症状発現。(不明)はいかい発 現。 2008/01/25 (午前)起床後タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用させるが直後に 嘔吐。熱39~40℃あり。本日は幻覚症状無し。(19:30)母親より幻覚症状につ いての電話が薬局にあり、本剤の副作用がインフルエンザによるものかどちらの 可能性もある。主治医へ詳しい幻覚症状について伝え、今後の対処方法を 聞く様に伝える。(19:40)主治医へ電話し、本剤の副作用の可能性あるため服用 中止の指示。また坐薬未使用のため、使用するよう指示あり。 2008/1/28 (9:00)薬局より母親へ様子確認の電話。坐薬使用後解熱し口数も 増えてきたとのこと。今後も注意して様子見るように伝える。幻覚ない旨確認す る。(10:00)発熱し、フロモックス服用開始。シロップ剤処方あり。 2008/1/27 母親が来局し様子確認する。熱は全く春陰速に全減するものの 「誰かがいる」と幻覚症状があるとのこと、インフルエンザ脳症の危険性を話し、 受診を勧める。 2008/1/30 幻覚症状回復。(不明)はいかい回復。 2008/1/31 薬局より様子確認の電話を入れる。1/30より元気に通学し、幻覚 等無い事を確認する。	無	
35	B08000168	8	年	男性	異常行動	2008/3/8	19:30	2008/3/8	23:20	○	Yes	①未記載 ②- ③-	3~4分	Yes	解熱過程	No	-	-	No	No	2008/1 インフルエンザA型発症。他院にてタミフル5日間内服。 不明「バーンバーンと音がする」という幻聴(3~4分/回)が服用中(5日間)続 いた。(非重篤) 2008/3/8 (12:00)発熱を認め近医受診し、インフルエンザBがうつすらと出てい たため、本剤、抗生剤を併用で処方を受ける。(19:30)タミフル、抗生剤を内服(投 与量不明)。(20:00)嘔吐(回(タミフルの副作用とは考えない)。(21:30)39℃台の 高熱を認めアセトアミノフェン(坐薬)200mgを使用。(23:20)突然起き、「寝っ てくろい」「来ないで」「ここに入らなあかんねん」と言い、母親の足跡の間に自分 の手指を入れたり、制止がきかない程暴れたり(3~4分続き、その後、普通通 りに戻った。近医に電話され、当科紹介となった。(37.6℃) 異常行動発現。 (23:40)当科受診。意識清明。見当識障害なし。入院となった。 2008/3/9 (0:50)脳波検査を施行(異常なし)。インフルエンザ迅速診断テスト実 施し陽性。(7:10)39.2℃。入院中突然起き、「大きなボケモンが起きて起きてと驚 う。」「ボケモンあそこ(枕元)にいる」その後は異常行動なし。(13:00)インフル ンザ陽性(陰性確認(タミフル)鼻咽頭)。その後解熱し、脳波再検にて異常なし。 2008/3/10 (9:45)退院。	無
38	B08006859	8	年	女性	①譫妄 ②異常行動	2005/12/19 2005/12/20 2005/12/21	昼過ぎ 昼過ぎ 14:00	2005/12/19 ①2005/12/20 ②2005/12/21	①服用から 1-2時間後 ②18:00	×	No	-	2hr	Yes	発熱持続/ 解熱過程	No	No	No	No	No	①1-2時間して顔を真っ赤にして喋り続けたり、落ち着きなく動き回るようになった。 ②ドアに向かって「お父さん」と、いない父に対して話しかけたり、真っ暗な階段 を昇っていこうとしたりするようになった。周囲の状況がわからない様子だった。	※

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 ※：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	異常 行動に 対して の反応	就寝中の 場合、 就寝時 間から 発現 までの 時間	回復 までの 時間	一服 して 完全 回復	体温	患者の 記憶	睡眠 覚醒 時の 状況	睡眠 覚醒 時の 状況	光に 対し る 反 応	薬剤 による 「異常 な行 動」 の 副 作 用	異常な 行動に 関する 既往 歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 親が何をしていたよと言っているのか？)	継続投 与例
37	B08025518	6	年	女性	意識レベルの低下	2007/2/27	昼食後 2007/2/27 15:00、 17:00、 21:30	○	Yes	約3時間、約 2時間、約45 分	9時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/2/27 (10:19)朝3時からの高熱、倦怠感、関節痛等を主訴に外来受診。インフルエンザ迅速法ではA・Bともに陰性だが、母の希望もありタミフル等を処方後帰宅。(昼食後)タミフル45mg×1回分服用し自宅でソファで就寝。(15:00)併用薬も多いがタミフル内服3〜4時間後、意識障害発現。父がソファからベッドへ移動する様に促し移動する時、最初の独り言を話していたが、その後ベッドで入眠。(17:00)トイレに起きた様だが、再び独り言を発し、一人で屋外へ出ようとした。意識障害持続。父親が対応するも父親のことも解らない状況になり、自家車にて当院受診。(17:49)当院救急外来受診。JCSでレベル10の意識障害あり。インフルエンザ陽性を疑い、採血や髄液検査時も意味不明の発熱あり。胸部聴診不明瞭だが、髄液検査や頭部CTスキャン上は異常なし。インフルエンザ迅速法で再発したが陰性後インフルA型抗体価陽性でAウイルスでチェックしたが、抗体価変動なし。そのまま入院しICU(重症)とモニタリング投与した。検査中も意識障害はみられ、待ち時間にもウトウトと寝ている事もあった。(20:45)病室に上がった。意識障害は継続していた。その後就寝。(21:30)トイレに起きたが意識障害のため間に合わず、おもらしした。その後就寝。(23:00)再びトイレに起き、この時は意識がはっきりしていた。その後就寝。(23:00)再びトイレに起き。(8:20)意識レベルは回復。熱も38.8℃まで解熱した。2007/2/28 (朝)起床。(8:20)意識レベルは回復。熱も38.8℃まで解熱した。2007/2/28 (朝)起床。(8:20)意識レベルは回復。熱も38.8℃まで解熱した。		
38	B07000278	6	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/17	18:00 不明 2007/3/17 18:30~ 23:30	○	Yes	-	5時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/3/17 (18:00)A型インフルエンザのためタミフル40.5mg投与開始。(18:30~23:30)内服後興奮状態となり、室内ソファを飛び越え、対面にあるドアに激突し、顔面を強打す。異常行動発現。2007/3/20 異常行動回復。インフルエンザ軽快。		
39	B07012137	6	年	男性	異常行動	2008/5/24 2008/5/25 2008/5/25 2008/5/26 2008/5/26 2008/5/27 2008/5/27 2008/5/28 2008/5/28 2008/5/28	2007/5/25 星	×	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	2006/05/23 38.8℃の発熱。2006/05/24 B型インフルエンザに対して、本剤20mg×2回/日処方。夕方より服用開始。2006/05/25 (昼頃~)異常行動発現(非重篤)。2階より転落。「助けて」という声に母親が見つかる。外傷は特になし。その後、意識は清明。2006/05/28 内服を続けたが異常はみられず、朝、本剤服用後投与終了。2006/05末 インフルエンザ軽快。回復。		
40	B07013250	6	年	男性	異常行動	2007/2/8	2007/2/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/8 B型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。1度目の服用後しばらくしてから大声を出し玄関に向かって走っていたところ母親に制止された。不明。異常行動は回復。		
41	B07013332	6	年	女性	①異常行動 ②異常行動	2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22 2007/3/23	①2007/3/21 ②2007/3/22	○ ○ ○×	-	-	-	-	Yes	発熱過程	No	No	No	No	No	2007/3/21 (9:00)A型インフルエンザ治療のため、本剤45mg×1回の投与開始。体温:39.0℃。(18:00)本剤45mg×1回投与。(20:00)体温:38℃。就寝。(23:00~23:05)異常行動、精神障害発現(非重篤)。就寝中、突然大声を出し、足をバタバタと動かし、暴れた。母親が、体をさすりながら声をかけると5分後におさまる。しかし、本人は目をさまざす。そのまま睡眠に入った。2007/03/22 (7:00)発熱37.5℃。自覚は正常であったが、昨夜の事は全く記憶にない。(8:00)本剤45mg×1回投与。(12:30~12:40)異常行動、精神障害発現(非重篤)。昼寝に入る前に、昨夜のように大声(意味不明な言葉を発し、手足を動かして)を繰り返す。声をかけてきたらと意識に入る。(19:00)本剤45mg×1回投与。その夜は副作用はなかった。2007/03/23 (8:00)本剤45mg×1回投与し、体温35.8℃となり、相談(医師と患者さんの母)として、本剤服用を中止する。インフルエンザの転帰:軽快・回復	
42	B07013397	6	年	男性	不安 異常行動	2007/4/22	2007/4/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/4/22 (星)来院。インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。湯飲みすく服用。服用後まもなく、うわごとを言う。走り回るといった異常行動が発現。その後、本剤の投与を中止。うわごとを言う、走り回るといった異常行動は回復。		
43	B07013395	6	年	男性	異常行動	2007/3/3 2007/3/3	2007/3/3 2007/3/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2下旬 湿性の項出現。 2007 発熱する2〜3日前、夜寝ているときに不随意運動があった。(ピクピク) 2007/3/1 発熱する前日の夜、おひえたように、大声で「ママ、ママ」と寝た。 2007/3/2 (夕方)おひえたように寝た様子見られ、その後38℃の発熱あり。この頃から、いつもの熱の出方ではないような、少しもうらちうらちいしているような様子があった。 2007/3/3 (朝)38℃の発熱あり。(13:00頃)当院受診時、39.9℃に上昇。インフルエンザA型の診断つき、本剤処方。 この頃より、すごくぐっすり寝ている様子あり。声をかけても、なかなか返事をせず。目を開けず寝ていたので、(14:00)帰宅後すぐに本剤服用。(15:00頃)異常行動発現(非重篤)。突然、服用した薬や、アクエリアスなどを全て嘔吐した。この間も、ずっと傾眠しているようで、意識のような意味不明の言動も見られた。嘔吐後、まもなく30秒から1分弱の意識を起す。前代性で眼球の位置がずれ、チアノーゼも出てきた。すぐに薄らつきを取り始めた。意味不明の言動と強い眼り、何度も呼吸がとれてしまったり、返事を出しても目を開けなかったり、目の焦点が定まらなかったりした。(夜)発熱と頭痛あり。(21:00)2回目の本剤服用。 2007/3/4 (0:00)2回目の本剤服用から3時間後、それまで寝ていたのに突然飛び起き、まるで飛び込むように階段の方へかけていった。保護者が遠くまで行って止めた。その時はもう目が泳いでしまっていて、保護者の言うことはまったく入らず、まるで何かにとりつかれているようだった。トイレをさせなくても要るところへかけてしまったり、手を洗おうとしても、ただ手が震えていて動かないような状態でおさえつけて落ち着くまでに5〜10分かった。その後、また寝た。その時の状況は本人は覚えていなかった。 2007/3/5 熱も下がって元気になってきたが、3回ほど声をかけないと返事をしない。焦点が定まらないうちの状態は続いた。 2007/3/6 普通の状態になった。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	意識 喪失に 至った か	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一過りて 完全回復 したか	体温	患者の記憶	睡眠覚醒時 等の他症	睡眠覚醒時 後の家族症	光に対する 反応	他剤による 「異常な行動」 の既往 有無	異常な行動に 関する成性 有無	異常な行動の具体的な詳細 (別:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか?)	継続投 与例		
44	B07020153	6	年	男性	異常行動	2008/2/6 2008/2/7 2008/2/8	午後	2008/2/7	夜	-	-	-	5~10分	Yes	発熱持続中	No	No	No	-	-	No	2008/02/08 インフルエンザAに對して、本剤33.9mg×2回/日処方。午後より内服開始。 2008/02/07 (夜)39.7°Cの高熱があり、突然起き上がり、室の中を走り回った。訳のわからないことを話し、5~10分間続いた。異常行動(非重篤)発現。その後症状回復。 2008/02/08 (12:30)診察。体温38.7°C。反応は普通で異常なし。本剤午前内服後、投与中止。	*
45	B05020834	7	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2005/12/12	11:00、18:00	2005/12/12	18:00、24:00	○	Yes	1時間、約5時間	5~6分	-	発熱持続	No	-	-	No	-	不明	2005/12/12 朝、他院にてタミフルドラッグロッキング/kg/日処方される。(11:00)タミフル2mg/kg内服。(18:00)タミフル2mg/kg内服後、寝かせる。(19:00)突然起き出し、ドアノブを強く回し続ける。又、左手に黒い点が見えるなどと訴える。(19:10)就寝。(24:00頃)突然起き上がり、同様の行動をとる。(24:10)就寝。救急車にて当院搬送。 2005/12/13 朝、何事もなかったように起床。MRI、血液検査を実施するが、異常は認められなかった。念のために入院したが、異常行動は起こらなかった。	
46	B05023592	7	年	男性	①譫妄 ②失見当識	2008/1/18 2008/1/19	夕 朝-夕	2008/1/19 2008/1/20	21:30、 12:30、 18:50	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/01/18 (夕)インフルエンザ検査状に對して、タミフル50mg投与開始。 2006/01/19 (朝)夕タミフル50mgずつ投与。(21:00頃)眠っていた後突然起き上がり、そこにはいない友人の名前を呼びながら徘徊。急に変わった。物を数える。せん妄(非重篤)。見当識障害(非重篤)発現。(22:00)入院。輸液経路確保。せん妄以外は意識清明で、発熱、感音症状は戻していたが、全身状態は落ち着いていた。 2006/01/20 (13:00)12:30(18:00)眠っていた後開眼後、意味不明な事を言い笑う。問ひかけの返事はあいまい。5~8分続いて寛解。せん妄、見当識障害回復。突然、「うわっ、うわっ」と大声(音声)を出し目を見して両手を振り上げ呼び出した。勢いよく外へ飛び出しなくなかったが、警察に連れ戻していったところ近所の家にいるところを発見。異常行動としての時間は約5分くらいのものであった。	
47	B05023597	7	年	男性	異常行動	2008/1/15	朝、18:00	2008/1/14 2008/1/15	夜 18:30	-	-	-	5分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	無	2006/01/13 (朝)発熱あり。(夕18時頃)前夜受診し、インフルエンザの診断で本剤と漢方薬の処方あり。(19時頃)本剤服用。(時間不明)漢方服用。 2006/1/14 (1時頃)睡半開きで寝ていて、母親が「覚だな」と思い見ていた。左腕部の掻痒感のかかるような動き。右上肢屈曲あり。急にひっくり返って寝る様子で叫び出して、外に走り出そうとした。台所へ駆け上るとなりする行動が2回あり(合計の持続は約5分くらい)。家族が抑制し、救急車要請。異常行動発現。(23:00頃)救急車到着時、会話可能であり、四肢運動障害なし。構音障害なし。問視は「まだ少し表情が悪」と。当院緊急外来にて経過観察。(9:00頃)小児科診察時、意識清明。異常行動回復。脳炎、脳症の可能性も否定できず入院。	
48	B05023978	7	年	男性	異常行動	2006/1/13	19:00頃	2006/1/14	AM 1:00頃	-	-	-	数時間	Yes	-	-	-	-	-	-	不明	2006/01/13 (朝)発熱あり。(夕18時頃)前夜受診し、インフルエンザの診断で本剤と漢方薬の処方あり。(19時頃)本剤服用。(時間不明)漢方服用。 2006/1/14 (1時頃)睡半開きで寝ていて、母親が「覚だな」と思い見ていた。左腕部の掻痒感のかかるような動き。右上肢屈曲あり。急にひっくり返って寝る様子で叫び出して、外に走り出そうとした。台所へ駆け上るとなりする行動が2回あり(合計の持続は約5分くらい)。家族が抑制し、救急車要請。異常行動発現。(23:00頃)救急車到着時、会話可能であり、四肢運動障害なし。構音障害なし。問視は「まだ少し表情が悪」と。当院緊急外来にて経過観察。(9:00頃)小児科診察時、意識清明。異常行動回復。脳炎、脳症の可能性も否定できず入院。	
49	B05025721	7	年	男性	異常行動	2006/2/13	17:00	2006/2/13	22:00	○	Yes	5時間	1時間	No	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2006/2/12 (午後)39.7°C。倦怠感、嘔吐、近頃にてインフルエンザ(-)。 2006/2/13 (午後)39.5°C。近頃にてインフルエンザA型と診断。タミフル処方。(17:00)タミフル1回内服。その後入眠。(22:00)トイレに起き、朝まで排便、階段を昇ったり降りたり、突然笑ったり音声をしたりした。体温38.2°C。 異常行動は約1時間ほど続いた。その後タミフル2回内服させている(異常行動は認められていない)。病院受診はせず、経過観察している。 2006/2/14 朝より解熱。本剤は内服せず。いつもよりボーっとして寝てばかりいる。(夕方)近頃受診し、タミフルの副作用疑いで当院紹介。経過観察のため入院。点滴液(リタT1 200cc、ソリタT3 500cc×2本)元気が出てくる。インフルエンザ軽快。異常行動軽快。 2006/2/15 全身状態良好にて退院。	*
50	B05025722	7	年	男性	異常行動	2006/2/5	15:30	2006/2/5	18:30 17:30	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/5 (9:00)40°Cの発熱。(12:30)前夜受診。インフルエンザと書かれ、タミフル(80.1mg×2/日)、セフトリアキソン、解熱剤処方。(15:30)上記処方薬を内服。(16:30)急に立ち上がり、ケタケタ笑う。トイレにもり大きな音を立てる。一旦入眠。異常行動発現。(17:30)目をかけても無反応。視線が合わない。フラフラして立てない。物がつかめない。(21:00)39.3°C。解熱剤使用。(23:00)当院受診。 2006/2/6 (13:00)当院入院。入院時、意識清明。異常行動なし。体温39.4°C。 2006/2/7 (日中)以降異常行動なし。脳波、左後頭部に徐波。MRI左側頭葉に高信号。 2006/2/10 異常行動軽快退院。外来での経過観察が必要。	
51	B06025421	7	年	男性	異常行動	2007/2/28	15:00	2007/2/28	17:30	×	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2年前にも本剤服用あり。問題はなかった。 2007/2/28 他院にて、A型インフルエンザに對して、タミフル処方。(15:00)タミフル5mg内服。(15:30)アセトアミノフェン内服。(17:30)突然立ち上がり、2階から1階に走って降りてきて廊下の中を走り回った。「こわい、こわい」と話しながら、うろろ走り回った。母親が意図を動かないように抱きしめていた(約5分間)。次第に落ち着いてきて、入眠した。(18:50)当院救急室来院。そのときは既にいつもの状態にもどっていた(異常行動回復)。意識清明であったが入院して経過をすることにした。 入院後、水分補給の目的で点滴実施(ソリタT3 500mg×2回/日 ~2/27)、リレンザ10mg×2回/日(~3/3)を処方したところ、解熱。入院後、異常行動は全くみられなかった。(21時)体温:38.9°C 2007/2/27 (3時)体温:39.1°C(7時)体温:37.7°C。退院。インフルエンザ軽快/回復。	
52	B07002051	7	年	男性	異常行動	2007/3/12	11:00	2007/3/12	15:00	-	Yes	-	2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	3月12日(11:00)本剤服用。(15:00)ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し10分程度で暴れなくなった。(17:00)当院再診し、診察上興奮やや不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問ひかけには「わからない」と答える。神経学的異常所見を認めず(meningeal signs-)。(夜間)最高40°Cまでfever upするもまた、異常行動認めず。入院した。 3月13日(6:00)体温37°C台まで解熱。母によると、高体温訴えあるが、そのほか異常は認めなかったとのこと。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	実証 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠薬併用 等の家族歴	睡眠薬併用 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の動作 履歴	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか?)	継続投 与例	
53	B07002058	7	年	男性	異常行動	2007/3/14	18:00	2007/3/15	1:30	○	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	No	3月15日(1:30頃)異常行動発現。起き、2階の階段を下りようとして、その階母親を 踏ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。患者はその後父親に抱きつき、その まま眠ってしまった。		
54	B07002858	7	年	男性	①嘔吐 ②異常行動	2007/4/11 2007/4/12	夕 14:00	2007/4/12	14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能			
55	B07011033	7	年	男性	異常行動	2007/3/22 2007/3/22	朝 夕	2007/3/22	12:00	×	-	-	解熱過程	-	No	-	-	No	No	(2004/08)「入浴後、蒼白となり、数分間意識がなくなることが以前から10回くら いあった」と実親。血液検査:正常。 (2004/09) 脳部MRI:正常。EEG:頭頂部を中心に高振幅深、sharp & wave 散 発。年齢とともに減少しており、発作回数を追うことに。その後、発作なし。 2007/3/21 インフルエンザA型と診断。 2007/3/22 (11:30)タミフル1回目服用。(12:00過ぎ)興奮、大声を出す(異常行動 発現)。(19:30)タミフル2回目服用。(20:00過ぎ)興奮、大声を出す。目つきがおか しく、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走るのを母が抱きとめて制止。		
56	B07012130	7	年	男性	異常行動 意識消失 激怒	2007/3/23 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/25	夕 朝 夕 朝 夕 朝	2007/3/28	昼	×	-	-	解熱過程	-	-	-	-	No	無	2007/3/28 屋外に飛び出しそうになった。異常行動を起こした。興奮状態でバ ッパとした。(2時間後)2-3分間の意識消失発作。(夜)2-3分間の意識消失発 作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮で眠れない状態になった。		
57	B07013248	7	年	女性	異常行動	2007/2/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	インフルエンザに対して、本剤投与開始。服用後、数時間後に異常行動発現(非 重篤)。ベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえ大事に至らず。左右もわか らない状況で、親のわからないことも言っていたとのこと。		
58	B07013301	7	年	男性	異常行動	2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24	朝 夕 朝 夕	2007/3/24	夜	○	-	-	Yes	-	-	-	-	-	No	無	2007/3/23 A型インフルエンザに対して、本剤44mg×2回/日投与開始。発症 時自他覚所見:発熱39.3℃(3/23) 咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。 2007/3/24 (夜)本剤内服。異常行動発現(非重篤)。睡眠中、ムクツと起きて2階 に駆け上がった。胸につられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。 本剤投与中止。 2007/3/28 インフルエンザ回復	
59	B07013303	7	年	女性	異常行動	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	12:00 20:00 8:00 20:00 8:00 20:00	2007/2/27	10:00	×	-	8時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	無	無	2007/2/24 (13:00)発熱(38.4℃)あり。熱あつたが、元気に過ごしていた。 2007/2/26 (12:00)本剤40.5mg内服。(16:00)37.6℃。いつもより落ち着きがない 感じであった。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/27 (8:00)本剤40.5mg内服。(10:00)異常行動発現(非重篤)。37.2℃。 布団でテレビを見ていて、すごいスピードで突然1Fと2Fを何度も昇り降りし、理 解できない独り言を喋っていた。ついには、外へ飛び出そうとして、家人が取り 押さえ、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。理解できないひとり言を 喋っていた。(18:00)症状回復。徐々に落ち着きを取り戻した。(20:00)前日と 比べ、症状安定したため、予定通り本剤40.5mg内服。 2007/02/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。	
60	B07013309	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21	朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/19	-	×	-	-	Yes	-	-	-	-	-	No	無	2007/3/19 インフルエンザBに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の 本剤服用後1時間ほど意識がおかしくなりベランダへでいこうとした。鍵がか かっている本人がフラフラしてあきれなかった。同日症状回復。 2007/03/21 本剤投与終了。	
61	B07013377	7	年	女性	異常行動	2008/2/21	-	2008/2/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2008/2/21 タミフル(剤形不明)の投与を開始 2008/2/22 異常行動が発現。布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに 置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていたとのこと。		
62	B07013384	7	年	男性	幻聴 幻覚 被害	2007/3/5	18:00	2007/3/5	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/5 (18:30)当院受診し、インフルエンザAと診断。(19:00)本剤40mg× 1日/日の投与開始。(20:00)精神症状(幻聴)、幻覚、せん妄発現(非重篤)。「こ わい」「学校へ行く」等、不可解な発言。突然立ち上がり、外へ出て行くこと する行動あり。親が電話が入り、監視と、症状が軽くなれば緊急病院への受 診を指示。本剤中止指示。(夜)他院受診。受診時特に問題をみとめず、解熱剤 処方のみを受け帰宅。 2007/3/6 (12:40)当院受診。夜間も高熱持続し、少しおかしな発言はあったと いうが、意識は保たれていた。一斉、鼻汁、嚔嚔をのみ、オナラ、下痢、 1mg/日、ボラミンDS 2.3g/日分3、アスバリン軟10% 0.4g/日分3を処方した。 以降受診なし。回復したものと思われる。		
63	B07018715	7	年	男性	異常行動	2007/11/10 2007/11/10	朝 20:30	2007/11/11	0:00	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	2007/11/09 夜 38.5℃の発熱。 2007/11/10 朝 38.3℃の発熱で来院。インフルエンザA型と診断。以前、熱性虚癇を 起こしたことがある。頭白アトピーが強いので、インフルエンザの予防接種は不可能。 本剤 朝、夕(20:30)服用。 2007/11/11 0:00 起き出しトイレに行くのと母親は思ったが、玄関に向かっていき、 その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえたが、離れてくれ と叫び、罵るなど暴れた。異常行動 発現。 母親が祖母に電話し、泣いている姿をみて涙に返ったように「どうしたの?」と言った。 異常行動 回復。 母親がそのとき抱きしめていた感覚では熱はなかった様子。翌日から本剤投与中止。		
64	B07023001	7	年	女性	夢遊症	2007/12/14 2007/12/15 2007/12/15 2007/12/16	夕 朝 夕 朝	2007/12/15	19:00-20:30	×	-	1時間30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/12/15(19:00-20:30) 横臥中、突然立ち上がり、部屋内を夢遊病のように歩き 回った。	

57

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	意識直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	聴覚覚醒症 等の既往	運動覚醒症 等の既往	光に対する 反応	投与前による 「異常な行 動」の動作 履歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (引:幻覚については具体的に何が起きたか、本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかどうか)	継続投 与例	
85	B07028357	7	年	男性	異常行動	2008/1/28 12:30	2008/1/29 13:50	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続中	-	-	-	-	No	-	2008/01/29 (12:30)本剤内服後就寝。体温:39.3℃。(13:50)起きてトイレに行った。母親に悪い夢を見たと言っていた。トイレから帰ってきた。寝たがすぐに起き上がり、玄関を開けて外に出ようとした。あわてて母親が止めて又寝かせた。本剤服用は1回のみ。		
86	B07025434	7	年	男性	異常行動	2008/2/12 13:00	2008/2/12	○	Yes	30分以内	2時間	Yes	不明	No	No	-	-	No	-	2008/02/12 (11:30)39.2℃。(13:00)インフルエンザA型治療のため、本剤54mg投与。(13:30)悪寒が入眠したことを母が確認した。約30分後に屋外に立っているところを発見された。うつろな目で歩いていた。尿失禁をしておき、風呂場へ行ったところ「靴下の紐つれが痛い、洗濯籠が重い」と泣いた。異常行動(非重篤)発現。シャワー浴後に就寝した。(18:00)異常行動回復。		
87	B07028155	7	年	男性	異常行動 幻覚	2008/2/4 12:00~16:00	2008/2/4 22:00 16:00	○	-	1hr	数分	Yes	発熱持続中	No Yes	No	No	-	-	-	2008/02/04 (午後)インフルエンザB型治療のため、本剤42mg/日投与。(18:00)悪寒時、岩が落ちてくると、と言っており発熱する。幻覚(非重篤)発現。(22:00)奇声をあげて走りまわる(非重篤)。2008/02/05 (朝)解熱。正常に戻る。奇声をあげて走りまわる。幻覚回復。2008/02/10 インフルエンザ回復。	血友病	
88	B07028194	7	年	男性	譫妄	2008/1/18 午後	2008/1/18 夜	○ 入眠過程	-	-	-	Yes	-	-	Yes	No	-	-	No	-	2008/01/17 (午後)インフルエンザ発症。体温39.5℃。2008/01/18 (午前)体温38.2℃。(午後)インフルエンザAに対して、本剤60mg。カロナールを服用。体温39.2℃。(夜)譫妄発現(非重篤)。[わけのわからないことを言い、さらに数時間後「暮れたい」などと口走ったため]1回だけの服用で全ての服薬を中止。体温不明。2008/01/18 (朝)平熱となる。(夜)譫妄のほかに平熱。同症状は19日、20日、21日の毎夜出現(昼間は異常なし)。2008/01/22 (夜)朝になると何回も起き上がり、「我慢できない、暮れたい」と口走り、部屋の中を小走り回った。「朝の中にダンボールが出てくる」ともい。閉鎖していたが、目の前の母親ではなぐ道うところを見ていた。2008/01/23 再診。38.8℃。本人は「なぜかわからないが暮れたくなった」とのこと。2008/01/24 再診。再発はつきり断り、何もしなくなかったとのこと。2003/1/15 発熱38.8℃。他院受診し「タンポポが処方された」。2003/1/16 当院受診。高熱、頭痛、嘔吐、上腹痛、咽頭痛、咳あり。インフルABキットにてインフルエンザウイルスは検出されなかった。タミフルドライシロップ1.2g/日、ユナシン、アスピリン、ムコダインが処方された。2003/1/17 タミフル剤投与。2003/1/19 タミフル剤投与。異常にオチャメな感じであった。母親によると、ほろ酔い状態であるとのこと。2003/1/20 当院来院。来院した際、診察室に入るときにカーテンにかくれ「バグ」といってくる。何を話しても笑いますが、軽く口をたたいた。このときの体温は38.0℃でありインフルエンザは回復していた。全身状態は良好であった。朝の服薬にて本剤を中止した。以後も症状は継続したが、本剤中止後次第に症状は軽快していった。2003/1/22 ユナシン、アスピリン、ムコダイン中止。2003/1/23 タミフル剤投与。気分高揚状態は回復。	
89	B02014448	8	年	女性	情動状態	2003/1/17 2003/1/18 2003/1/19 2003/1/20	2003/1/19 夕 2003/1/20 夕	-	No	-	No	No	-	-	-	-	-	No	-	2003/1/17 夕タミフル剤投与。2003/1/18 夕タミフル剤投与。2003/1/19 夕タミフル剤投与。2003/1/20 夕タミフル剤投与。異常にオチャメな感じであった。母親によると、ほろ酔い状態であるとのこと。2003/1/20 当院来院。来院した際、診察室に入るときにカーテンにかくれ「バグ」といってくる。何を話しても笑いますが、軽く口をたたいた。このときの体温は38.0℃でありインフルエンザは回復していた。全身状態は良好であった。朝の服薬にて本剤を中止した。以後も症状は継続したが、本剤中止後次第に症状は軽快していった。2003/1/22 ユナシン、アスピリン、ムコダイン中止。2003/1/23 タミフル剤投与。気分高揚状態は回復。		
70	B05000677	8	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動	2005/3/28 10:00、22:00	2005/3/28 17:00 12:00 22:00	×	No	-	発熱期間 2~3時間の 間に2回	Yes	発熱持続	No	No	-	No	No	-	2005/03/28 (9:00)昨日の発熱の為、近医受診しインフルエンザA型と診断。(10:00)帰宅後、タミフル内服。(12:00)寝な事を口にする。(昼にそぐわない意味不明な発言)異常行動が発現。(17:00)上肢のピクつきと意味のない指差運動出現。(18:00)近医再診したが、神経学的異常無くそのまま帰宅して帰宅。(22:00)タミフル内服。その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。以降、本剤の投与を中止。2005/03/29 (1:30)当院救急外来受診。応答は可能であったが、舌なめずりや繰り返し髪を触り続ける等の異常運動認め、入院。ソリタ3とグリセロールにより、輸液開始。(8:00)異常運動消失し、神経学的にも正常所見。		
71	B05001224	8	年	男性	幻覚 落ち着きのなさ 異常行動	2005/3/18 10:30	2005/3/18 13:30	×	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/03/18 (午前中)受診。インフルエンザAと診断。(10:30頃)インフルエンザA治療の為、タミフル55mg×2/日投与開始。その後入眠。(13:30頃)覚醒後から幻覚などの異常行動が出現。「悪い悪いと叫びかけてくると言っており外に出ようとする」当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。		
72	B05018854	8	年	男性	異常行動	2005/11/13 11:30	2005/11/13 内服1時間 後	○	Yes	1時間	1時間	Yes	発熱過程 →	No	No	No	No	No	-	午睡後、突然起き上がり玄関から飛び出していこうとしたため、母親が玄関先で尻を蹴った。その際に、本人及び兄の名前を尋ねるも全く答えられず、うなり声をあげたりと不穏状態を呈していた。(その後1時間程度)医師の指示を受け、母親がおよそ1時間程度部屋の中から見えないように注意を払っていたところ、徐々に異常行動も抑制され、次第に記憶も回復してきた。服用後すぐ就寝。覚醒後すぐ発現。		
73	B05021659	8	年	男性	異常行動	2005/12/25 18:00 12/28~28 1日2回 12/29 1日1回朝	2005/12/25 21:00	-	-	-	10分	-	発熱持続	-	-	-	-	-	-	2005/12/24 (夜)発熱。2005/12/25 (14:00)インフルエンザA型と診断。タミフルドライシロップ51mg×2回/日処方。(18:00)本剤51mg、ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(20:30)ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(21:00)人形に話しかける、部屋を歩き回る。意味なく笑い出す。九九を唱えるなどの異常行動が出現し、救急車要請(持続時間10分)。(21:26)来院時。意識はほぼ清明(JCS 1-1)。入院。2005/12/26 解熱。2005/12/27 退院。2005/12/29 本剤朝内服後、投与終了。		
74	B05022380	8	年	男性	異常行動	2008/1/18 13:00	2008/1/18 16:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(16:00)奇声を上げる。意味不明な事を言う。数が数えられない。自分の年齢がわからない。異常運動発現。(20:00)当科入院。入院時異常運動なし。点滴のみで経過観察。2008/1/17(1:00)自分で点滴投与。病棟内を一人でウロウロ歩く。その後入院。以降症状なし。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例
 *：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一般して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠薬や安 眠剤の既往	麻酔薬や鎮 痛剤の既往	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な経緯 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例
75	B05022780	8	年	男性	①激越 ②異常行動	2006/01/30 朝、20:30	2006/01/31 0:00、6:00	○	Yes	2.5時間後、 5時間後	12時間、6時 間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2006/1/30 インフルエンザのためタミフル46.5mgx2/日投与開始。(20:30)2回 目のタミフル服用。39.5℃。(21:30)就寝。 2006/1/31 (0:00)急に大声でわめきながらおきる。父母が騒がけても返事も せず。目を大きく見開き普通ではない状態。「行こう！行こう！行こう！」と大声で赤 いながらベッドや机、椅子の上に乗ったり走り回ったりする。父母が抱いてな だめでも「行くだよ！おいで！」と振り切ったまま歩き回る。おき方も通常歩 きのように両手を大きく振って歩く。(0:15)やまとなで水分を飲んでベッドに 寝かす。ウトウトする。(0:40)お腹が痛いと言って起きる。(0:40)「ごめんね、ごめん ね。…」と小さい子のようなかわいいうええ声で泣き続ける(普通のときの声ではな い)。(12:00)起床。昨夜の事覚えていない。ポーンとしている。36.8℃。本剤服用 中止。 1/31、2/1 2日間とも夜から18～18時間連続した。 (12:00)二枚ベッドの上段で手を広げて立ち上がっている。ベッドから飛び降りて ベランダへ落ちていき、手すりにつかまって真ん中動作。意味不明の言葉をブツブ ツと言う。何度か呼びかけると正気に戻る一途込む。(14:00)起きると再び激越 激しく走り回ったりして行こうと行ってトイレの中で尿失禁一途込む。(18:00)本剤服用。 起きると意識障害(+)、意味不明のことを言う。精神神経症状、尿失禁(非重篤) 発現。	
76	B05023443	8	年	男性	①異常行動 ②尿失禁	2005/12/21 10:00、18:00	2005/12/21 12:00、 14:00、18:00	○	Yes	-	Yes	Yes	解熱過程	No	-	-	-	No	不明		
77	B05025720	8	年	男性	異常行動	2006/2/1 21:00	2006/2/1 ①21:30 ②22:20 ③夜中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/1 (朝)から発熱。(午前)初期発熱。インフルエンザと診断。タミフル 処方。(11:00)タミフル内服。(21:00)本剤と解熱剤内服。(21:00)二枚ベッドの 手で何かを抱もうとする。異常行動発現。(22:20)緊急車で来院。入院。JCS0- 1。瞼目を閉鎖する。(夜間)ベッド欄をのり越えようとしたり、意味不明な言葉を発 する事があった。 2006/2/2 (朝)意識清明。(日中)脳波、MRI→異常所見無し。 2006/2/3 異常行動軽快退院。外来で経過観察の予定。		
78	B05026722	8	年	女性	精神症状	2006/01/19 夕方	2006/01/19 深夜 発熱、夜間	-	No	-	数分～数十 分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2006/1/19 発熱。39.8℃。腕、顔筋痛発症が認められた為インフルエンザ確定 診断実施。結果：Flu A、サンプル：鼻液 (夕方)本剤投与。(54mg/日)(深夜)40℃の発熱とともに2回有聲をあげて起き 上がり室内を歩きまわった。中核神経症状発現。(非重篤) 2006/1/20(夜)37.5℃前後の発熱と同様の症状がみられた。本剤は朝より投 与中止している。(夜)他院受診。シントレルを処方された。(夜間)うお書を 言っていた。(体温不明) 2006/1/21(朝以降)中核神経症状はみられていない。39.5℃ 2006/1/23 来院時37.0℃。尿、鼻症状、顔筋痛あり。中核神経症状回復。 2006/1/25 来院時35.2℃。尿、鼻症状あり。インフルエンザ回復。	
79	B07000086	8	年	女性	異常行動	2007/2/23 夜間 2007/2/24 夜間	2007/2/23 夜中 2007/2/24 夜中	○	-	-	Yes	Yes	発熱持続	-	No	-	No	No	無	急に起き上がり「トイレ、トイレ」と呼び部屋を走り回るため押さえる(5～6分程 続)。寝たまま尿のわかないことを言うので、椅子を倒すと「さわるな」と言っ て暴れる。	
80	B07000288	8	年	男性	異常行動	2007/3/31 18:00～19:00 7:30	2007/3/31 23:00～ 7:00	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続	No	No	-	No	No	無	2007/3/30 咽頭痛、左肩の痛み、37.9℃の発熱、インフルエンザ迅速診断(-)、 2007/3/31 39.5℃の発熱、左肩の痛み増強。インフルエンザ迅速(+A)型。タミ フル42mg×2/日処方。解熱剤処方無し。(18～19:00)タミフル1包42mg内服。 (23～24:00)部屋をうろろ歩き回る。急に水道びを始める。ふとんが重いと言 える。2階に走って駆け上がり、寝ていた父親の枕を取り上げる。2階より勢よく かけ降り、外に飛び出して行きそうになり、父親が押さえて止めた。この間 体温は38.5℃程度であった。行動異常(非重篤)発現。 2007/4/01 (0:30)就寝。(7:00)普通に覚醒して夜間のことを尋ねるも、覚えて いなかった。(7:30)本剤1包42mg内服して当院にお母さんが報告し来院。以後中 止するように指示。(9:00)行動異常回復。	
81	B07001354	8	年	女性	異常行動	2007/3/21 18:00	2007/3/21 23:00	-	No	-	20分	Yes	発熱持続 中 解熱過程	No	No	No	-	No	No	3月21日(夕)本剤服用開始。(23:00)異常行動発現。 3月22日夜間、顔マスクをはずして、点滴のラインをカチャカチャぶつけてい た。顔マスクとケースを床をたたくようにしており、声をかけると泣き返 った。その後、突然ベッドに立ち上がり、点滴を自己抜去。高熱あり、声をかけて も反応なし。手をベッドにぶつける。本剤投与。(23:00)解熱傾向であったが、再 びベッドの上に立ち上がる行動があった。 3月26日(朝)本剤投与。異常行動回復。	
82	B07003582	8	年	女性	異常行動	2007/4/22 14:00	2007/4/22 15:00	-	No	-	No	No	発熱持続	-	No	No	-	No	無	2007/04/22(10:00)インフルエンザA型と診断。(14:00)本剤内服。(15:00)突 然2階に走っていき、部屋をうろろ歩き。ざつとウトウトしていた(翌朝まで)。 (21:00)本剤内服。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を 何回も洗う、母のことをお前さんと呼ぶ、尿失禁などがみられた。 2007/04/23(6:00)40℃の発熱。朝からポーンとしており呼びかけへの反応も乏 しい状態が続いたため、当院外来受診。精査加療目的に入院。脳波上、全般性の 徐波を認め、MRI所見なし。脳液所見なしであった。 2007/04/24意識清明となり経過良好。(9:00)37.0℃	
83	B07013003	8	年	男性	異常行動	2007/2/24 朝 2007/2/25 朝 2007/2/25 夜	2007/2/24	-	-	-	-	-	-	-	No	No	No	No	無	2007/2/24 (夕)A型インフルエンザ治療の為、本剤75mg×1/日の投与。発症 時に認められた自他覚所見：発熱40.2℃、その他(腰痛)。本剤服用後、異常行 動発現。ベッドからとびおろし、廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事 を言う。体温：40.2℃。 2007/2/25 本剤(75mg×2/日)投与。体温：37.4℃。異常行動回復。 2007/02/26 インフルエンザの経緯：軽快	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
 ※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	課別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中心、 就寝中心でない)	異常な 行動に 発現	就寝中の 場合、 就寝時 刻から 発現 までの 時間	回復 までの 時間	一過 して 完全 回復	体温	異常な 行動の 経過	睡眠覚醒 等の 経過	睡眠覚醒 等の 経過	光に 対する 反応	聴覚による 異常な 行動の 発現	異常な 行動に 関する 既往歴	異常な行動の 具体的な 経過 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたか？と答えているか？)	継続投 与例	
84	B07013253	8	年	男性	異常行動	2006/1/27 2006/1/27 2006/1/28 2006/1/28 2006/1/29 2006/1/29 2006/1/30 2006/1/30	2006/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/1/27 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2006/1/29 内服後2時から階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本剤の投与を中止。 2006/1/31 異常行動は回復。		
85	B07013258	8	年	男性	異常行動	2007/1/28 2007/1/28 2007/1/30 2007/1/31 2007/2/1	2007/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/1/28 夜間 40℃の発熱があり、当施設に運ばれる。A型インフルエンザと診断され、本剤2日分を処方。1回服用後に嘔吐。 2007/1/29 2回服用後 5~10分の間、騒ぐ。その後、ベランダへ出て行った(マンションの10階層)。母親が部屋に連れ戻した後、続いてトイレへ駆け込み、大声を上げる。異常行動(非重篤)発現。本人は意識の回復なし。その後、寝かしつけ、異常行動は回復。その後、他施設に来院。本剤を3日分処方され服用を継続したが、異常なし。 2007/2/1 本剤内服終了。	*	
86	B07013304	8	年	男性	意識レベルの低下	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22	2007/3/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/18 本剤投与開始(〜3月22日)。意識障害が発現。自宅の外に出る。意識障害は回復。	*	
87	B07013310	8	年	女性	異常行動	2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	2007/3/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/20 本剤1回投与。投与約2時間後、理由もなく外に飛び出そうとする。異常行動(非重篤)発現。家族が止め大車には至らなかった。 2007/3/22 異常行動回復。発熱もなくなった為本剤の投与を中止した。	*	
88	B07013355	8	年	女性	異常行動	2007/2/20 2007/2/21 2007/2/21 2007/2/22	2007/2/21	15:00	○	-	-	10分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/2/19 発熱、頭痛、頭痛、咳がある。 2007/2/20 発熱。朝より38.0℃の発熱。検査にてインフルエンザA型と判定。本剤49.5mg×2/日、コカール0.65g/回頓服、アミノジン5ml、アスワート9ml、メグロセリン7.5ml/日処方。本剤49.5mg/日投与。 2007/2/21 (15:00)家で1人子供が急に大声を出して顔に命の危険を感じ、走り出して暴れた。異常行動(非重篤)発現。5分後位でおさまるも本人はまた寝ていた。(15:30)異常行動回復。その後そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。 2007/2/22 本剤49.5mg×2/日投与。 2007/3/7 (悪)発熱。夜中には38.5℃-39.5℃。突然わきのわからない事を大声で叫び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わせて混乱した様子だった。異常行動(非重篤)発現。 2007/3/8 発熱。インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤投与いかんにかかわらず、同様の症状出現。 不明 異常行動回復。	*
89	B07013400	8	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6 2007/3/7	2007/3/6	1:00	x	-	4hr	2時間	Yes	解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/5 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始(45mg×2/日)。 2007/3/7 (21:00)38.4℃の発熱があり、本剤45mg内服(3回目)後、入眠した。 2007/3/6 (1:00)ぶつぶつと歩きながら歩いていた。母が気がつく。引き戸のロックを外してベランダを出ようとしていた。母が声をかけると止まった。その時点で体温38.8℃と解熱していた。話をするうちに泣き出した。「右手に刺、左手に盾」等と言っていた。「投している物が部屋の中になかったため、ベランダにあると思い、ベランダに出ようとした」と言っていた。異常行動(非重篤)発現。(3:00)次第に落ち着いて入眠した。異常行動回復。 2007/3/6(朝)起床時は異常なかった。本人は前日のことをかなり記憶していた。意見はマンション7Fに居住していた。インフルエンザ軽快。	
90	B07020468	8	年	女性	異常行動	2007/11/29 2007/11/30 2008/11/30	2007/11/29	22:00	○	Yes	5時間	-	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	無	2007/11/28(午後) 39℃の発熱、鼻汁、痰等の症状にて来院し、インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。(17:00)1回目の本剤内服。その後寝ていた(22:00頃)睡中に突然起き上がり、部屋のドアを叩きながら「おかしな感じがする」と言った。 2007/11/30(0時) ぶんぶんと言いきり、ニヤニヤしていたため、母親が「大丈夫？」と声をかけたら「うん」と言った。(朝) いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。医学的処置をせずに自然軽快。	*
91	B07020986	8	年		異常行動	2007/12/11	夕	2007/12/12	1:00頃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/12/11 診察時に眠るの分らないことを言っていた。夕方に本剤を1回服用後、夜中1時頃に走り出した。その時に腕が怪我して、止められた。		
92	B07021970	8	年	女性	異常行動 幻覚	2007/12/11	朝	2007/12/11 (午前)	○	Yes	1時間	-	-	解熱過程	-	-	-	-	No	2007/12/10 病がインフルエンザA型加重中のところ、起床時37.8℃発熱ありとのことで、午前9時過ぎ来院。迅速検査で陰性だったが、臨床所見よりインフルエンザを疑う。 以前、本剤内服歴あり。家人が希望したため、本剤処方。昨日発熱は37℃台で、本剤は内服させなかったとのこと。併用薬のみ内服。 2007/12/11 起床時、40℃にて本剤内服。併用薬も内服。その後入眠。(1時前後)時が経て寝た後、目覚めながら「自分より早く(自分より早く)寝た。家人が寝てくると言っていた。すぐ寝てくると言っていた。電話連絡あり。本剤の内服中止を指示する。 2007/12/12 電話にて、以後の異常行動のないことを確認する。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じやな い：×)	発熱 有無 (発熱 あり：○、 なし：×)	就寝中の場 合、就寝時 前からの発熱 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	服薬の経緯	聴覚覚醒症 等の既往	聴覚覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	聴覚による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については異常行動が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たように感じたのか？)	継続投 与後
93	B02002847	9	年	男性	聴覚	2002/2/26 12:00	2002/2/26 13:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	投与開始前日 インフルエンザB型発症。 投与開始当日 10:00頃 当院にてインフルエンザ迅速検査でB型と診断され る。12:00頃 タミフル75mg/日、ムコダイン、アストミンを内服。13:00頃 意味不 明の発語や行動をとり始めた。この時発熱なし。15:00-16:00頃 回復し、正常状 態となった。本人にこの時の記憶なし。以後、タミフルの内服は中止。ムコダ イン、アストミンは投与継続(一投与4日目) 意味不明の発語や行動をとり始めた。この時の記憶なし。	(川崎病)
94	B03005858	9	年	男性	①意識レベルの低 下 ②無感情 ③異常行動	2003/3/14 2003/3/15 2003/3/16 1日2回 1日2回 1日1回	2003/3/16	-	-	No	No	No	発熱中から 解熱後も神 経	-	No	-	No	No	2003/3/10 発熱、咳、頭痛あり、A病院受診。上気道炎と診断され、フロモッ クス、ダゼンを処方された。 2003/3/14 発熱持続し、同院再診。インフルエンザ迅速キットでは陰性。臨床 的にインフルエンザと診断し、タミフル150mg及びフルタゾール処方。 2003/3/16 退熱しない、活動性低下などの変化を認めた。タミフルはこの頃服 用中止。 2003/3/17 同院再診。ソルデム1点滴中、突然意味不明の発音や行動が見ら れた。 2003/3/18 同様の症状あり、他院紹介となる。小児科入院の上、頭部CT、髄 液検査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを 行い経過観察としたが、同日も異常行動あり、活気乏しかった。 2003/3/20 徐々に活気改善。異常行動も認めず。 2003/3/21 退院。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。	無	
95	B05000151	9	年	男性	①幻覚 ②不穏	2005/3/7 2005/3/7 11:00 21:00	2005/3/7 23:00	-	No	-	3.5時間	Yes	解熱過程	-	-	-	-	Yes	有	2005/3/6 インフルエンザB型感染発症。 2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル 服用。(23:00)「おかし」「ふとんをかぶると肌かムムニする」歩き回り、バ ニク状態となる。「砂がみえる」「窓に老人がみえる」 2005/03/08(2:30)自宅から他院へ救急車にて搬送。受診時は意識清明。体 温38.8℃。本剤投与中止。(3:00)回復。当院小児科外来再受診。37.8℃。意識 清明。理学所見上の異常は認めない。本日より薬剤内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで路治療。	無
98	B05021185	9	年	女性	聴覚	2005/12/15 18:00	2005/12/15 20:30、23:00	○	Yes	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	無	(20:30)覚醒し、意味不明なことを話し始め、部屋の中を走り回り出した(その時 のことは本人は覚えていない)。発熱なし。せん妄状態持続時間：15~30分母親 が抱きかかると回復。(23:00)落ち着き入眠するが、再度眠らぬわかない言葉 が発現し、再度母親が抱きかかると回復。せん妄状態持続時間：15~30分	無
97	B05024835	9	年	男性	①聴覚 ②凝固第Ⅶ因子量 減少	2008/02/06 12:15	2008/02/06 14:15 2008/02/06 17:15 2008/02/06 21:51 2008/02/07 1:25 2008/02/07 1:33 2008/02/07 4:12 2008/02/07 6:50 2008/02/08 0:21	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	熱性痙攣 2008/2/5 (夕方)発熱あり。 2008/2/6 (10:00)当科初診。インフルエンザA型と診断。熱性痙攣の既往有 り。本剤を処方。(帰宅後)15分タミフル50mg内服し、退熱で寝た。 (14:15)突然起き上がり、ベッドを降り、一口口に、拭いたけ、両 手をさし上げ「こわいこわいと震って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出すような感じ があり、大人4人で押さえた。せん妄発現。10分位で落ち着いたが、その後 当科再来。(15:00)再来時には意識清明となったが、念のため入院とした。以 降、せん妄発現まで就寝せず。(17:15)話しかけても会話が成立しない。せん妄 発現。(21:51)変な事を言う、視線が合わず会話が不成立、手足をばたばたさせ る。尿失禁。せん妄発現。GT実施：異常なし。臨床検査値上、フィブリノゲン 285、FDP1.9、D-ダイマー-0.3、PIVKA-II 31mAU/μL、凝固系第Ⅶ因子99%、第 Ⅶ因子65%、第Ⅷ因子92%第Ⅹ因子の減少を認めた。時刻は不明であるが、 就寝。 2008/2/7 (12:5)急に座位になる。口をちゅちゅさせる。「うーん、うーん」と言 い、目は開けているが視線を合わせない。立ったが足元からふらつく。ボータ ルトイレで用をたし、「こわい、こわい」「はずかしい、はずかしい」と言う。せん妄 発現。(13:3)左の口角を上げ開眼して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。 (4:12)急に起き上がったが話しかけてもまったく無視。尿失禁。せん妄発現。(6:00) 急に起き上がり、言葉が産道でない。ボータルトイレにて便をする。せん妄発 現。(正午過ぎ)体温37.0℃台となる。本剤中止し、シスダイン250mg×3回/日、ヒ ベンズ酸デビジン20mg×3回/日へ変更し投与開始(〜2/13)。MRI実施：異常 なし。時刻は不明であるが、就寝。 2008/2/8 (0:21)排泄する時に2分くらい「ぼーっ」としていた。17回せん妄発現 したが、いずれも自然軽快した。 1回当たりの持続時間：2~10分間。体温38.0℃台。脳波検査実施：異常なし 2008/2/9 正午頃より再び発熱し、39.4℃まで上昇。 2008/2/10 完全に解熱。 2008/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄回復し、退院。第Ⅶ因子の減 少回復。トロンボ、ヘパラチンなども回復していることより、一過性の減少と 考えられる。		
96	B05024837	9	年	男性	幻覚	2006/2/4 ①10:30 ②21:00	2006/2/4 ①11:30 ②22:00	-	-	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	Yes	無	2006/2/4 (9:30)発熱：38.8℃。頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診 断。(10:30)タミフル(49.5mg)服用し部屋で安静臥床させた後母親が買物に外 出。(11:30)患児が玄関から外出しているのを見出し、自宅内に連れ戻されたが 室内を歩きながらグルグル回る。ガラス戸をたたく症状が10分間認められ た。発熱、発汗症状のみみられたので寝替えさせて患児の兄が声をかけたら症 状がスーッと消失し普通に寝る。(21:00)タミフル2回目服用(49.5mg)。(22:00)「ウ ー」と発熱し起き上がった。5分間位で症状は消失。 2006/2/6 インフルエンザ軽快・回復。	*
99	B05025884	9	年	女性	異常行動	2006/1/28 昼前	2006/1/28 4時間後	-	No	-	30分	-	発熱持続	-	No	No	-	No	無	2006/1/28 発熱、咳を主訴に来院。インフルエンザA型と診断。タミフルドラ インロップ1、8g×2回/日処方。昼前、本剤内服。(15:00頃)体温39.0℃。(約4時 前後)部屋の中を急にウロウロ歩き回るという異常行動発現。その後、安静に 落ち着き就寝できた。同日再診し、経過を確認。本剤投与中止、水分補給、 安静を指示した。 2006/1/27 (午前)異常行動回復。インフルエンザも回復。	無

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	覚醒直 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶 が幻覚を 認めた	聴覚覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の既往	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往	異常な行動に 関する既往	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例	
100	B00025100	9	年	男性	異常行動	2007/2/2	夜	2007/2/2	夜中	○	-	-	8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	No	2007/2/2 当院来院。39℃の発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(A)型のタミフル30mg×1/回投与。(深夜)入眠中の異常行動発現(起床後、起き上がらうとしたり、意味不明な話をしている。本人は覚えていない。その後、本剤は処方せず。他院(救急外来)受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)	
101	B07000097	9	年	男性	幻覚	2007/3/25	6:00 17:00	2007/3/25	24:00	○	Yes	2時間	約8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	No	2007/3/25 (5:00)発熱38.8℃あり。咳あり。(7:00)キットにてインフルエンザAと判明。タミフル1/2cap(37.5mg)内服。タミフル投与方法：カプセル内のパウダーをムコダインと混合し1/2量内服した(1回分)。(17:00)タミフル1/2cap(37.5mg)内服。38.4℃。(21:00)就寝。(23:00)突然起き上がり黒いものが降ってくるから逃げると言い出し、部屋から飛び出ようとする。幻覚発現。 2007/3/26 (0:00)水分摂取させ落ち着かせるが、1時間の間に数回起き上がり逃げようとする。37.9℃。(1:00)再度起き上がり大丈夫だと誤解するも、黒い大きなものが屋根に落ちてくる。寝てくるから外に出ないといけぬ、逃げないといけぬと再度外へ飛び出そうとすることを制止し寝かした。その後数回、合計数十回同様の行動があった。(7:00頃)消失し就寝した。(10:00頃)覚醒し、夢であったと自覚。異常行動については記憶がないと。38.8℃。(11:00)解熱し落ち着いており、ほぼ正常化した。幻覚回復。 2007/3/28 インフルエンザ軽快・回復。	
102	B07000198	9	年	男性	譫妄	2007/3/11	20:30	2007/3/11	21:00	○	-	30分	3時間	No	-	-	-	-	-	-	2007/3/11 (19:00)38.8℃。(20:30)タミフル40mg内服し就寝。(21:00頃)その後、突然覚醒し「手に怪獣がいる」と発言。再び入眠したが、次に目を覚ました時「行かないや」と言って玄関に向かって行った。 2007/3/12 (0:00)救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通に眠っていた。37.3℃。(0:25)自家用車にて来院。来院時意識清明。	不明
103	B07000282	9	年	女性	異常行動	2007/3/30	12:30	2007/3/30	13:00	○	Yes	30分	5分	Yes	-	No	No	-	No	No	3月30日 12:30近所でインフルエンザと診断。自宅でタミフルを内服。その後入眠。(13:00)「ワッ」という声に気づき、ベランダの方へ走るのが見えた。力づくで止めようとするが、行くと叫びながらベランダを目指す。何とかトイレに逃げ込むが「出て行け」と叫びながらベランダへ走りこんでいた。その間、目がすわったような顔をしていた。5分くらいで意識を取り戻したように、普通の会話ができるようになった。近医で受診後、搬送された。16:00 搬送時、意識は清明。	
104	B07012129	9	年	男性	異常行動 幻視	2007/4/19 2007/4/18	朝 夕	①2007/4/20 ②2007/4/20	①7:50 ②11:50	①Yes ②No	Yes/No	-	-	-	①発熱持 続 ②解熱過 程	Yes	No	No	No	No	2007/4/20 (7:50)突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、後にこの時の記憶あり。(11:50)祖母が買い物から戻ると、庭の隅でかかんで、上記と同様の幻視で睡っていたとのこと。(13:00)他院に緊急入院(本剤内服を中止)。その後、幻視、異常行動はなし。 2007/4/23 インフルエンザ回復。	
105	B07013252	9	年	男性	異常行動	2007/3/9 2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12		2007/3/9		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/9 本剤投与開始。異常行動が発現。服用約3時間後に、窓を開け飛び出そうとした。家人がとめたので事なきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。 2007/3/10 異常行動は回復。本剤投与継続(〜3月12日)。この間、異常行動は認められなかった。	*
106	B07013257	9	年	女性	異常行動	2007/3/30	夕	2007/3/30		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/30 インフルエンザに対して、本剤42.45mg内服。異常行動発現(非重篤)。寝ていたが30分ほどして起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ち着いたが、再びパジャマをズリズリに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後、すぐに他の病棟に搬送された(経緯は不明)。体力を消耗した様子ではあったが、その後回復。	
107	B07013259	9	年	女性	激越	2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1 2007/3/1 2007/3/2 2007/3/2	昼 18:00	2007/2/27	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/27 インフルエンザA型の診断で、翌に本剤服用。夕方、19時に本剤2回目服用。このときの体温39.5℃。横になってテレビを見ていて服用から1時間が経過したころ、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることができた。3分で落ち着いた。その後本剤服用を継続(〜3月2日)するも問題なし。 2007/3/2 異常行動は回復。	*
108	B07013313	9	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19	10:00 8:00 8:00	2007/3/17	20:00	○	-	-	1時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	2007/3/17 (10:00)倦怠感、発熱38.8℃にて来院。インフルエンザA型と診断。本剤75mgの投与を開始(なお、パングールはインフルエンザ検査を外注していたために処方)。(19:00)コタツで寝ていた。(20:00)突然に暑い寒いと騒いで窓を開けて部屋の外に飛び出した。母親が帰るよう言っても、なかなか帰って来ず外でぼーぼーとしていた。母親はふざけていると思いついた。寒いから窓を閉めようと言ったら、とぼとぼ帰ってきた。しばらくして解熱した。 2007/3/18 翌朝に前夜のことを覚えていなかった。(8:00)本剤75mg服用。継続したものの異常は認められなかった。 2007/3/19 (8:00)本剤75mg服用。 2007/3/20 (10:00)体温37.1℃	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 性別	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	継続投与症 等の既往	継続投与症 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用 用薬	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例	
109	B07013323	9 年 女性	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	朝 夕	2007/2/27	23:30	○	-	-	2:30	3:30	No	-	No	No	No	No	2007/2/27 キットを実施したが陰性、臨床診断(39°Cの発熱)で、インフルエンザと判断し本剤処方。(朝)本剤投与開始。(45mg×2/日)。(23:30)夕食後、本剤45mg2回服用。就寝後、23時30分頃、急に目を閉じて立ち上がる。母親は横で寝ていた。そして「リリはここにはいられない、外に行きなさい」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。異常行動(非重篤)発現。(1~2時間)また起き上がり「学校に行きなさい」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。(更に1時間)再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。熱は38.5°C。母親はニュースを見て、本剤の副作用を知っていたので次の日は服用させなかった。 2007/2/28 (9:00)異常行動回復 2007/3/1 インフルエンザ軽快・回復。	
110	B07013330	9 年 男性	年	男性	異常行動	2007/3/12	夕	2007/3/13	2:30	○	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/3/12 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(30mg/日) 2007/3/13 (2:30)突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の高さまで外に走り出した。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。本人は全く覚えていない。	
111	B07013375	9 年 男性	年	男性	記憶障害 異常行動	2007/3/28	夕方	2007/3/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/27 発熱(38°C台)咳嗽、鼻水、食欲減少。 2007/3/28 (午前中)本院来院。インフルエンザ簡易キットにてインフルエンザA型診断。(夕方)1回目の本剤75mg服用。服用後数時間後、自宅庭を徘徊しているのを家族が発見する。記憶障害(非重篤)発現。(夜間)前声を発する。異常行動(非重篤)発現。 2007/3/29 回復した。回復後、本人へ、前日夕方よりの行動についての記憶がなかったとコメントした。 本剤は1回のみ75mg服用し、その後は中止。		
112	B07013396	9 年 女性	年	女性	異常行動	2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	12:00過ぎ 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕	2007/2/5	14:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/5 (12:00過ぎ)インフルエンザA型治療のため、本剤54mg×2/日投与開始。発症時自他覚所見：発熱38°C(07/2/4)。咳、消化器症状(嘔吐、下痢)。(14:00頃)本剤初回服用後、2時間くらいして、目つきが変なやつ、しきりに外に出ようとした。何か取っものわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/6 異常行動回復。 2007/2/7 (~2/9)残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。	*	
113	B07015225	9 年 男性	年	男性	睡眠時驚悸	2007/2/28 2007/2/28	発現直前日の 夕方と他に1 回	2007/2/27	5:00	○	Yes	-	数時間	No	解熱過程	No	-	-	-	No	2007/02/28 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始。(75mg×2/日) 2007/02/27 (5:00)起床時、突然意味不明の事を叫び出し、階下より3Fまで走って上り、悪夢に怯えるような状態が30分~1時間持続。夜驚(睡眠時驚悸)発現。回復。この時発汗(非重篤)や顔面紅潮(非重篤)を伴っていた。この時の事を本人は記憶しておらず、救急車で小児科受診し、受診時の事は憶えている。 2007/03/02 (18:00)夕方から寝ていたところ、衝動的に重畳、まとまらずに音響あり小児科受診。夜驚(睡眠時驚悸)非重篤)発現。(21:00)突然「怖い」と言い出すも、父に抱かれない。何か取っものわからないことを言ったりした。 2007/03/05 以上のエピソードが短時間有り。(1:30)睡眠中、中途覚醒し「怖い」と訴え、「悪夢を見た」と自覚。悪夢(非重篤)発現。 2007/03/06、07、11、12、14、15、17 同上のエピソードが短時間有り。悪夢、夢を伴う事多し。 2007/03/27 この日を最後に夜驚(睡眠時驚悸)・悪夢は見られなくなった。軽快。 2007/04/08 発汗・顔面紅潮、軽快。 2007/05/25 上記各所見、診察時には軽快している事を確認した。 2008/01/15 (朝)来院し、インフルエンザAと判定。本剤39mg×2/日処方。(午前)38.5°C。帰宅後本剤服用し、2階にて就寝(悪夢)をしていたが、母親が気がついたときいきなり1階をうろついていた(急に2Fから1Fに降りた)。母親がどうしてうろついているのか手探りで尋ねると寝てしまったようで、1階に降りた記憶が無いとの事。この時点では本剤服用中止せず。寝ているときも寝る音が多く天井に向かい両手を強く動かしていた。異常行動(非重篤)発現。 2008/01/18 就寝中寝言や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見られなかった。 2008/01/18 (午前)38.8°C。異常行動(非重篤)回復。インフルエンザ軽快。 2008/01/19 本剤投与終了。	
114	B07023327	9 年 女性	年	女性	異常行動	2007/10/15 2007/10/15 2007/10/18 2007/10/18 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/18 2007/10/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前 午後 午後	2008/1/15 2008/1/16	-	○	-	-	-	Yes	不明	No	No	-	No	2008/01/15 (朝)来院し、インフルエンザAと判定。本剤39mg×2/日処方。(午前)38.5°C。帰宅後本剤服用し、2階にて就寝(悪夢)をしていたが、母親が気がついたときいきなり1階をうろついていた(急に2Fから1Fに降りた)。母親がどうしてうろついているのか手探りで尋ねると寝てしまったようで、1階に降りた記憶が無いとの事。この時点では本剤服用中止せず。寝ているときも寝る音が多く天井に向かい両手を強く動かしていた。異常行動(非重篤)発現。 2008/01/18 就寝中寝言や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見られなかった。 2008/01/18 (午前)38.8°C。異常行動(非重篤)回復。インフルエンザ軽快。 2008/01/19 本剤投与終了。	*	
115	B07023858	9 年 女性	年	女性	異常行動 異常行動	2008/1/28 2008/1/28 2008/1/27 2008/1/27 2008/1/28 2008/1/28 2008/1/29 2008/1/29 2008/1/30 2008/1/30	17:50 21:00 8:00 16:00	2008/1/28 2008/1/27	20:50 15:30	-	-	-	5分 3分	Yes	発熱持続中	No	Yes	No	No	睡眠時驚悸	2008/01/28 (17:50頃)インフルエンザ治療のため、本剤(40mg×2/日)服用開始。(20:50頃)寝ていると家族は思っていたが就寝中に急に起き上がり、部屋の中をぐるぐる回ったり、意味不明なことをつぶつぶ言ったりしていた。異常行動(非重篤)発現。発熱40°C。(20:55)症状回復。(21:00)本剤初服。 2008/01/27 (16:00)発熱、一人寝などあり。異常行動(非重篤)発現。発熱39°C。(15:03)症状回復。前日と同様であったが、持続が短かった。 2008/01/28 (8:00)悪夢見頃より電話にて報告あり。その後はおかしな行動は見られなかった。発熱36°C。 2008/01/30 本剤投与終了。	※
116	B07028154	9 年 男性	年	男性	異常行動	2008/2/3	19:30	2008/2/3	22:30	○	Yes	-	2時間	30分	Yes	-	-	-	-	No	2008/02/03 (19:30)A型インフルエンザの診断にて、本剤57mg内服。(20:30)就寝。(22:30)突然寝言など発せながら起き上がった。(23:00)親が取り押さえて眠りについた。その後、異常行動回復。	
117	B04008522	10 年 男性	年	男性	意識変容状態	2004/2/2	12:00	2004/2/2	15:00	○	Yes 1時間後	-	3	-	発熱持続 (ケガ認識)	No	No	-	No	2004/02/02 インフルエンザA型と診断。(12:00頃)昼食後、本剤(75mg/日)等内服し、解熱剤を服用し、就寝。 2004/02/02 (15:00頃)意識障害→スラングから(マンション)F)飛び降りる。外傷等により病院救命センターへ搬送される。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中しな い×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回りして 完全回復 までの時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように述べているのか？)	継続投 与例
118	B05023465	10	年	男性	①熱性痙攣 ②異常行動	2006/1/19 12:30	2006/1/19 13:35	-	No	-	30分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	無	2006/1/18 (14:00)38℃台の発熱、痙攣出現。 2006/1/19 インフルエンザA型と診断。(12:30)タミフル投与開始(105mg/日)。(13:35)廊下に立ち「布団が熱くなった」と言って布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出て行くとした。異常行動発現。約30分持続。(14:00)当院受診。入院。入院後は異常行動出現せず。 2006/1/20 (9:00)解熱し痙攣と変わらない程に回復。本剤中止。異常行動回復。 2006/1/21 インフルエンザ回復。 2006/1/31 退院。	
119	B05024270	10	年	女性	①情動障害 ②退行行動	2006/01/27 1/29~1/28 1/30	2006/01/29 2006/2/3	-	-	-	No	No	解熱後	-	-	-	-	-	無	2006/1/26 インフルエンザA発症。夜、38.8℃の発熱。 2006/1/27 インフルエンザA型と診断。タミフル投与開始。1/27:夕(57mg/日)1/28~1/29:朝(57mg×2/日)1/30:朝(57mg/日) 2006/1/28 解熱。36℃台。痙攣・咽頭痛はあったので内服薬継続。 2006/1/29 情緒障害、行動異常発現。機嫌が悪く、突然泣いたり、テレビを急に消したり、母親と手をつなぎながら「ママ」と呼ぶ。母の姿が見えないとぼそ。多動あり。問いかけに答えず。ボーンとしている。車を怖がる。入浴みを怖がる。眠っていることが多い。 2006/1/30 A医院受診し、本剤投与中止。咽頭痛および痙攣のためクラリスリンD、アストマム、ムコソルベンを投与。(18:00)当院受診。母親の薬量管理を指導し、1~2日様子を見るよう指示し帰宅させた。 2006/1/31 A医院再診。インフルエンザ軽快。日病歴紹介となる。外来にて頭部CT、血液検査施行。異常なし。本人の症状は軽快傾向にあるが、基本的には不変。 2006/2/1 経過観察のためC病院入院。MRI施行。異常なし。35.8℃。(12時頃) 2006/2/3 外泊へ。この頃より正常の状態と不安の強い状態が交互になる。 2006/2/6 外泊より帰院。軽快傾向にあるため退院とした。 2006/2/8 ほぼ正常の状態のみになる。 2006/2/10 外来受診。軽快とした。(情緒障害、退行現象回復)	
120	B05024606	10	年	男性	異常行動	2006/01/16~ 1/17	2006/01/16 2006/01/17	○	Yes	5時間	10分	No	発熱持続	Yes	Yes	Yes	No	No	無	2006/1/16 インフルエンザA型と診断。朝、夕、タミフル内服。(20:00)就寝(1:00)。夜間に「学校へ行く」といってランドセルを背負い外出しようとした。異常行動発現。 2006/1/17 (11:00~12:00)悪夢を見て怖いといひ外出しようとして泣いて叫んだ。朝、夕、タミフル内服。 2006/1/18 前日夕方まで内服し投与中止とした。 2006/1/20 中止後39℃以上の熱が下がりがり症状回復。異常行動回復。 ①(8/8 24:00から8/9 1:00にかけて)「天井が落ちて来る。たつきが来る。お母さん怖い」と言って起き出した。側にいた母が大丈夫だとたどたどし落ち着いた。(朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。 ②(8/9夜)本剤内服後、就寝。夜間に急に起き出して悪夢(詳細不明)があった。(8/10朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。以降本剤内服するも症状再現なしとのこと。	※
121	B08010808	10	年	男性	①痙攣 ②痙攣	①2006/8/8 ②2006/8/9~ 8/12 ③2006/8/13	①2006/8/8 ②2006/8/8 ③24:00 ④夜間	○	No	①4hr ②-	1分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	①(8/8 24:00から8/9 1:00にかけて)「天井が落ちて来る。たつきが来る。お母さん怖い」と言って起き出した。側にいた母が大丈夫だとたどたどし落ち着いた。(朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。 ②(8/9夜)本剤内服後、就寝。夜間に急に起き出して悪夢(詳細不明)があった。(8/10朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。以降本剤内服するも症状再現なしとのこと。	※
122	B07000188	10	年	女性	異常行動	2007/3/18 2007/3/17	2007/3/17 10:00	-	-	-	-	-	発熱持続	Yes	-	-	-	No	不明	2007/3/16 インフルエンザA型と確定診断。(夕方)タミフル75mg内服。症状なし。 2007/03/17 (8:00)本剤75mg内服。(10:00)体が熱い症状訴える。その後母親が目を覚めた際に一人で靴を履き玄関を出ようとした。患児の姉が気づき止めた為、大事には至らなかった。本人は覚えていないが、症状が出たときは熱が39.4℃ほどであった。その後母親が気づいた。(12:00)腫脹より家庭。意識清明。母親が後で聞いてみると「体が熱く感じた」と、玄関でスニーカーを履こうとしたことなどは覚えていなかったと。本剤投与中止。	
123	B07002856	10	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2005/1/22 2005/2/28	2005/2/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	(服用2時間後)異常行動。幻覚発現(量感度不明)。寝ていたが、突っ起きて走り出した。「どうしてかわからないが、突いたくなかったし、走りたくなかった」と本人が説明	
124	B07012021	10	年	男性	痙攣 痙攣発作状態	2006/1/31	2006/1/31 23:00	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	-	-	-	無	2006/1/31 (23:00)夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。両親の顔が分からなかった。 2006/2/01 意識清明となった。	
125	B07012054	10	年	男性	異常行動	2007/3/20	2007/3/20 16:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	38.4℃	Yes	-	-	No	睡眠覚醒 睡眠時遊行 症	2007/03/20 インフルエンザB型と診断[所見:発熱 38.4℃、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、タミフルドライシロップ80mg服用。(18:00)保護者が不在であったが、着たときは睡眠中だった。ボーンと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思っマシオン7階のベランダから下をのぞき、その後、換足で階下の友達の家に行き、そこで保護された。 (17:00)来院時、体温 38.4℃。意識清明。(23:00)睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「裏が見たい。弟が下にいる」と言って、玄関の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち着いてきたが、「しんとしていた怖い」と言い、本を挟んだり、テレビを見たりして、10分くらい寝てしまった。 2007/03/22 インフルエンザ回復。	
126	B07013136	10	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24	2007/2/25 4:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/24 インフルエンザに対して、本剤57mg/回を投与開始。翌、夜に服用。 2007/2/25 (4:00)着床している韻を踏んでいる状態において玄関から外に出ようとして、セロムが反応したため外に飛び出すことはなかった。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
 *：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	種別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	観察中か否 か (観察中○、 観察中じやな い×)	意識 状態に発現 した異常	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常 等の既往	睡眠異常 等の家族歴	光に対する 反応	性別による 「異常な行 動」の発現 頻度	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたのかと答えているのか？)	継続投 与例
127	B07013247	10	年	男性	異常行動	2007/5/1 2007/5/2	2007/5/2	朝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/5/1 高熱疾患があるため入院にて本剤の投与を開始。 2007/5/2 朝、本剤2回目服用から15分後に突然興奮から走り出しトイレに延 け込み失禁した(この時点では解熱していた)。本剤の投与は中止。その後は 正常となり退院。		
128	B07013255	10	年	男性	異常行動	2007/1/23 2007/1/23 2007/1/24 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25	2007/1/23	夕	○	-	-	-	Yes	発熱持続	-	No	No	No	2008/1/23 (午前)高熱のため受診。本剤、桂麻各半湯エキス錠他処方。イン フルエンザ感染症時体温:39℃。インフルエンザA型治療のため本剤投与開始。 (60mg×2/日 ~1/25)。(午後)再度受診し、午前の桂麻各半湯の服用をやめる よう指示し、ナウゼリン、黄連連中湯を処方。(夕刻)本剤服用。患者は一度睡眠 に入るが、突然立ち上がり寒の中を飛び跳ねる。上を指差しながら外に逃げた がる。両親は不在であったが、祖父母が面倒を見ており、二人で外に出るのを 止める。外に出ようとしながら意味のわからないことを口走り、大きな寒の中を 飛び跳ねたり走りたりする。異常行動(非重篤)発現。しばらくこの症状は続いた が、落ち着きを取り戻し、再び睡眠。 2007/1/24 熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。 2006/1/25 体温:38.7℃ 熱が下がったと薬局に来られる。 2006/1/27 インフルエンザ軽快・回復。 2006 異常行動回復。	*	
129	B07013388	10	年	女性	異常行動	2007/3/8 2007/3/9 2007/3/10	2007/3/8	18:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/8 (12:00) インフルエンザで来院。本剤を処方され、帰宅し服用。 (16:30) 突然階段下を駆け暴れて外に飛び出した。母親が押入れ、何事にもな らなかった。異常行動は回復。	*	
130	B07021901	10	年	女性	異常行動 異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26	2007/02/25	9:00 18:00	×	Yes	-	-	-	発熱持続中	No	No	No	No	2007/02/24(18:00頃) 二段ベットの上的段に寝ていたら、急に起きてきてベランダ に走ってきて、母に「りかちゃんがかげら落ちたんじやないか、どうなったのか」と聞 いた(母はベランダで洗濯物を干していた)。「りかちゃんは大丈夫だから」と話して納得 させたが、その時のことを本人が覚えていない。今までこのようなことはなかった。 2007/02/25(18:00頃) 夕食時、ベッドで使っていた本人に食事を通りかかったところ、起 きていた母親のめがけに「怖い」と叫ぶ(母は内容覚えていないが、普通 では言わない内容だったとのこと)。そのようなことはないと報告されたが、あとでそ うなことがあったことを説明したら本人は全く覚えていない。	※	
131	B07027208	10	年	男性	異常行動	2007/12/23 2007/12/23	2007/12/23	18:30	○	Yes	2時間45分 30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	2007/12/23 (13:45)自宅にて処方薬(水薬、本剤、解熱剤)服用。その後就寝する。 2007/12/23 (16:30)急に起き上がり、二階寝室から一階玄関まで走って行き、外へ走 り出て行く。その際に「こんな家には住めない」と大声で叫んだりした(大きな音が自分 に響かなくて気がついてくも幻覚があったとのこと)。 2007/12/23 (17:00)家族(母)制止し、その後就寝。 2007/12/23 (19:00)処方薬(本剤、その他)服用し、朝まで就寝。夜中に寝ぼけた状態 があったが、朝には正常であった。 2007/12/24 本剤の服用は中止し、様子を見る。発熱あるも、異常行動はなし。 2007/12/25 インフルエンザも回復。	No	
132	B05023595	11	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2008/1/23	2008/1/23	18:00	×	No服用後 速る前	-	1時間	No	-	No	-	-	No	2008/01/22 (15:00)発熱。 2008/01/23 (18:00)インフルエンザA型と診断。ナウゼリン、カロナール、タミフ ル4g(分2)処方。(17:00)ナウゼリン、カロナール各1T内服。軽食摂取。(17:30)タ ミフル内服(60mg/日)。(18:00頃)幻覚症状及び異常行動出現。怖がって泣ける。 「お母さん」と叫ぶ。「怖い、怖い」と泣く。(19:00頃)改善。(19:20)当院電話連絡 あり。 2008/01/28 (10:00)来院。インフルエンザ治療。及び幻覚症状消失を確認。	無	
133	B05024102	11	年	男性	異常行動	2008/2/10	2008/2/11	0:40	-	Yes 覚醒はして いない。誰 か状態。	1.5時間	-	発熱持続	No	Yes	No	No	No	2008/2/10 A型にてインフルエンザA型と診断。高熱にて目が少ううつろ感 を伴う全身倦怠感の強い、タミフル2カプセルを処方(2回/日)。(夕方)タミフル75mg 内服。 2008/2/11 (0:40)異常行動発現。同地2Fのおどり場より墜落。(1:30)当院救急 搬送。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。 2008/2/15 (13:30)大腿骨手術目的にて〇病院へ転院。転院時には異常行動 回復。 不明 両大腿骨骨折に対して、転院後手術実施。 2008/9/31 退院。両大腿骨骨折は軽快。外来にてフォロー中。 睡眠から覚醒していたわけではなく、目は覚めていたが、せん妄状態とも考えら れる。	幼少時に軽 度の夢遊病 あり	
134	B08024935	11	年	男性	異常行動	2007/2/18	2007/2/20	8:30	○	Yes	10hr 5分	Yes	-	No	Yes	No	No	Yes	2007/2/19 朝、妹がインフルエンザと診断されていたので、母親が同じインフ ルエンザだろうと思い妹に処方されたタミフル72mg×1/日を飲ませた。(21:00) 夜、突然40℃台の発熱が起こった。 2007/2/20 (8:30)服用後約10時間経過した時、就寝中突然起き上がり徘徊を はじめた。其のわからない事をきけり足りたので、母親が制止しようとした が、おどろきかぜを飛ばし人がかりでおいで込んだ。(8:35)正気を取り戻し た。(10:00)当院受診。インフルエンザA型と診断。インフルエンザA型治療のため、 本剤12mg×1/日の投与開始。 2007/2/21 インフルエンザの軽快・回復	睡眠時異常 症等	
135	B08025180	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/2/18 2007/2/19	2007/2/19	①午後 ②午後	①○ ②-	①Yes ②-	-	①10分 ②-	Yes	-	Yes	No	No	-	No	①ヤクザみたいな人が入ってきたと本人が訴えた。 ②トイレの意より飛び出し自宅のまわりを横断して走り、川の中まで入った。田ん ぼを徘徊、その後しばらく農圃に居残っていた。 ③逃げるという声が聞こえた、と本人が訴えた。	無
136	B08026130	11	年	男性	①激話 ②異常行動	2007/02/10	2007/02/11	0:20	-	No	8時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手 を振り回した。 その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で 縫合した。	無	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	結核中か否 か (状態中:○、 状態中じいなし:×)	薬理直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 前か発現 までの時間	回復までの 時間	一般して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒時 等の既往	経路異常等 の既往	先に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往 有無	異常な行動の 具体的な詳細 (併:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかという点に留意する)	継続投 与例
137	B08020540	11	年	男性	異常行動	2007/2/5 18:00 2007/2/6 8:00 2007/2/6 18:00	2007/2/7 2:00	○	No	5	4時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2007/2/05 インフルエンザ自覚と診断。(18:00)タミフル75mg×1回/日投与開始。 2007/2/6 (8:00)タミフル75mg服用。(19:00)タミフル75mg服用3回目(夕食後)。(21:00)入眠。 2007/2/7 (2:00)異常行動発現。うわ言を言っており、トイレに行った後、「フツッ」音しながらベランダや玄関の敷居のドアを開け、外へ出ようとした。母親が必死に止めるが力づくで何度も同様の行動を繰り返したが、母親がその度全力で止めた。(4:00)症状がこの頃まで続いたが、その後入眠。(8:00)起床。熱が下がりましたが何もなかったように回復。目がさめたが、異常行動については全く覚えていなかった。異常行動回復。 2007/2/10 インフルエンザ:軽快	不明
138	B07000058	11	年	男性	異常行動	2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/23 2007/2/24	2007/2/24 18:00	×	No	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	No	2007/2/21 市ラミン2mg×37日の投与開始(〜3/24)。(夕)インフルエンザ治療の為、タミフル75mg×1回/日の投与開始。 2007/2/22 タミフル増量。(75mg×2/日 ~2/23) 2007/2/23 夜就寝。 2007/2/24 (12:00)起床。タミフル75mg/日最終投与(起床がおそかったため朝の分)。(18:30)玄関から外に出ようとしているのに父が気付き、もう暗いので外出するのはやめなさいと言ったところ居間に戻った。特に異常さは感じなかったが、後から考えるとおかしな行動だった。(19:00)異常行動による転倒発現(非重傷)。居間で父とTVをみていたが、ふと立ち上がり2階に行った。すぐにドンドンと音がしたので見るとベランダの下の上の上において、ボールとしていた。家に戻るようになり、1階に入り、30分後にはもうボールと感ではなくなった。意識ははっきりして、どして落ちたのか聞いてもわからないと答えた。外傷はごく軽い打ちみのみなので特に手当てはしなかった。	無
139	B07000111	11	年	男性	異常行動	2005/2/17 2005/2/18 2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/23 2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26	2005/2/18 18:00	-	Yes おぼぼ	-	15分	Yes	解熱過程	Yes おつとときに 症状+	Yes 母の父、母	-	No	No	No	2005/2/17 (夕)インフルエンザ治療の為、タミフル投与開始(不明×1/日)。(夜)体温38.8℃ 2005/2/18 (8:00)体温38.8℃(午前)タミフル投与量不明(内服)、タミフル投与(不明×2/日~07/2/21) (15:00)異常行動発現。10分位。布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。(重傷度不明)就寝。異常行動(-) 2005/2/19 インフルエンザの軽快。 2005/2/22 (朝)本剤投与(不明×1/日)。 2007/2/21 (朝)38℃の発熱。(夕)39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断。本剤処方。(18:00)タミフル内服開始。(75mg×2/日 ~07/2/26) 2007/02/22 (1:00)急に起きてトイレにしばらくもついで、父親が引きずり出した。その後階段を昇ったり降りたりを繰り返す。しばらくして親が布団に寝かされたところ、布団で起き上がり、おかしなことを言う(他人と話している)。5分位続いた。母親に「第一子は男の子なのにお母さんはマリーアントワネット」等と言う。少し精神状態だが、いつもよりひどくなっていて、この時発熱が37.5℃台だったことを指摘している。夕方(18:00)退院時から熱はなかったとのこと。異常行動発現。インフルエンザの軽快。 2007/2/23 翌日、めざめてからは症状(-)。異常行動回復。 2007/2/25 本剤の服用終了。	*
140	B07000121	11	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27 23:00	-	-	1.5	1時間	Yes	発熱持続	No	Yes (軽いもの)	No	No	No	No	2008/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院。インフルエンザと診断。本剤処方2分。ボラミン(2mg)錠、ムコダイン(250)錠、アストマリ3錠、カロナール(200)1錠を処方。(13:00)38.7℃あり。上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00頃)隣にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻を裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。その後連れ返して、すぐ帰宅。翌日まで就寝。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その際の体温では38.7℃であった。 2008/2/28 朝、38.8℃あり。来院。来院時は元気もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭培養にて、A溶連菌(AH3)を分離している。 2008/3/1 (9:00)38.9℃ (17:00)38.8℃ 2008/3/7 インフルエンザ回復	無
141	B07000131	11	年	女性	①薬性 ②異常行動	①2007/3/4 ②2007/3/5	2007/3/5 18:00	×	No	-	3日間	No	解熱過程	Yes	No	No	-	No	No	2007/3/1 かせ症状あり、日中近医受診。クラリス、アスピリン、ブルスマリン、ホルルゲルDS、乳糖カルシウム、ラクビーを処方された。(夜)頭痛あり。 2007/3/2 (朝)38.1℃。(日中)38℃台となるも、また発熱。 2007/3/3 (8:00)自院救急受診。咽頭炎あり。インフルエンザ迅速でB陽性。本剤、ムコダイン、メジコン錠、カロナール処方。タミフル(32.5mg×2/日)内服(〜3/5)。 2007/3/4 解熱傾向あり。興奮状態で家人が常にみている。異常興奮(非重傷)発現(発現時間不明)。インフルエンザ軽快。 2007/3/5 (15:00~16:00)要薬。(19:00頃)自宅リビングのソファの背もたれに乗って、更に立ち上がりそこから床に転落したが、顔を打撲したため口腔内を切って出血。近医受診。処置をもらった。その帰宅途中、ガードレールを乗り越えて走って来る車に飛び込もうとしたため、祖母がガードレール越しに捕まえた。本人が制止を繰り返すも、力が強かったために祖母は転倒し、顔面に転倒傷を負った。異常行動発現。(23:00)就寝。 2007/3/6 異常興奮回復。 2007/3/7 異常行動回復。(3日間回復) 2007/3/27 以上の経緯を聞いた。受傷直後は家人も疲れており、自宅安静にしていた。	薬性

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	個別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	試験中か否 か (就寝中○、 就寝中以外×)	発熱直 後に発現 した	試験中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常症 等の既往	睡眠異常症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (別：幻覚については具体的に何が見たか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例	
142	B07000183	11	年	男性	譫妄	2007/3/9 2007/3/10	11:00 20:00 6:00	2007/3/9 14:00	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	No	-	No	No	不明	2007/3/9 (11:00)本剤50mg×2回/日投与開始(3/11)、(14:00)本剤服用3時間 間で階段を駆け上がった。真っ黒な大きな物に追いかけられた。体を半分に切 られるような、痛い痛みと叫ぶ。本人はそれを見ている。せん妄発現。ふんど で押さえつけ、解熱剤(坐剤)を入れ、10分後に睡眠。その後そのような発作はない。 せん妄回復。(20:00)タミフル内服。 2007/3/10 (6:00)タミフル内服。 2007/03/11 インフルエンザ軽快・回復。	*
143	B07000260	11	年	女性	幻覚	2007/3/3	不明	2007/3/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	不明 3年前から本剤を処方された場合に投与中に幻覚(重量度不明、過去に は、夜に一人で外をふらつ)がみられた。 2007 インフルエンザ発症 2007/3/3 他院にてタミフル投与開始(75mg×2回/日)。 2007/3/4 幻覚を見てドアにぶつかり頭に裂傷を負い当院形成外科を受診。 2007/3/10 回復。	*
144	B07000274	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/18	①14:00 ②22:00	2007/3/18 2007/3/18	○	Yes	-	5~10分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	本人の話：家でマシオンから飛び降り、痛み無く、起き上がり歩こうとして、現 実に戻る。自分の足を掃除機本体に入れようとしたが自分の体を止められず、 その後記憶がなくなった。14:00にタミフル服用し、14:10~就寝。14:50覚醒し、 異常行動発現(10分間)、15:05~23:00再び就寝し、21:00に夕食をとる。 22:00タミフル50mgを服用し(2/3粒を、1/3粒を)、22:15~再び就寝したが、 23:00に目を覚まし異常行動を発現(5分間)、23:10再び就寝し、その後タミフル は服用なく異常行動もなし。	*
145	B07000318	11	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	2007/3/19	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無	2007/03/18(夕方)本剤52.5mg/回内服。(1時間後)突然睡眠から覚醒し、立ち上 がり「テスト」と書いて階段を登って、2階に上がろうとした。(外に出ようとした。 「早く早く」と本人はつぶやいていた。)制止して椅子を見ると、笑う動作(普段あ まり笑わない手や顔)と笑っていたのが不気味だったとの母親談。、突然当 座の体感が約5分程度続いた。その後家の中をふらふらとどこに向かうというわ けはなくなっていた。服用は1回で中止し、再び入眠(翌朝まで寝かせつけ た)。 2007/03/20異常行動回復。 本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	*
146	B07003581	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	13:00	2007/3/12	○	No	1-2時間	1時間後	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2007/03/12(13:00頃)インフルエンザに対して、本剤83.8mg/日内服。 その後寝かせたが、1~2時間してから起きてきて母親の知らない友達の家 に遊びに行くと言い出し、無理に外出しようとした。母親がおかしいと強い抑えて 寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。し ばらくすと治まりその後服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人 も記憶にないとのこと。	*
147	B07003788	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/7/24 2007/7/24 2007/7/25 2007/7/25 2007/7/26 2007/7/26	朝 夕 朝 夕 朝 夕	2005/2/25	-	No	-	10分	-	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	2007/02/24インフルエンザBと診断。本剤75mg×2回/日投与開始。 2007/02/25(午前)異常行動発現(非重篤)。2階で一人で臥床していた。その時 はまだ解熱してなかった。1階にいた母親が突然のもの音に気がついたら、約 1分ほど興奮が(つづき、脅えていた。その後、反応が正常になり、臥床した。 2007/02/26その後も臥床をつづけたが、異常はなかった。記憶なし。 後日、母親が尋ねると、玄關(本人からは見えない)の外に大勢の人がいて、が やがやとしゃべっていた。このため、とても怖かったのだと供述した(もちろん、そ のような事実はなかった)。現在、その記憶はあるものの、本人に異常はない。	*
148	B07011102	11	年	男性	異常行動	2008/1/18 2008/1/17	(夕) (朝)	2008/1/17	×	No	-	-	-	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2008/1/18 39℃の熱が続いていた。キッドでは陰性。総合的にインフルエンザ と診断しタミフル処方。(夕)タミフル投与。 2007/1/17 (朝)タミフル投与。(午前)2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出 ようとしたところを母に止められた。その両頬は赤らんでいて、何も覚えていな い。精神神経系の副作用(異常行動)(非重篤)発現。	*
149	B07013215	11	年	女性	異常行動	2007/2/7 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	夕 朝 夕 朝	2007/2/7	○	-	1時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/2/7 (16:00)体温:37.8℃。(夕)インフルエンザB型治療のため、本剤72mg内 服。発症時に認められた自他覚所見:発熱37.8℃(07/2/7、18:00)、頭痛、吐、異 常な興奮、身がぶり(しんみ)、筋痛、倦怠感。(22:00)眠後。(23:00)せん妄 発現(非重篤)。2階にて就寝中、突然起き階段を「高い高い」と言いながら走っ ておとってきた。15分~20分振っていた。 2007/2/8 (7:00頃)せん妄軽快。(朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。 2007/2/9 (朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。	*
150	B07013227	11	年	男性	激越 浮動性めまい	2008/1/11 2008/1/11	-	○	-	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無	2008/1/11 インフルエンザA型に対して、本剤5mg×2回/日処方。1回目内服 後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約8時間後に2回目内服。その後解熱、興奮、 ふらつき発現(非重篤)。突然起き出し外に飛び出したところを家人におさえられ る。家人より目撃がおかしかつたとのこと。2-3分に本人が気付き状況確認す ると、とても悪い夢を見たとのことだった。 2008/1/12 興奮、ふらつき回復。(9:00)家人より電話あり。症状は落ち着いて おり、特にわかりないとのことであったため、本剤中止にて様子を見た。 2008/1/13 来院時特に変ったことなし。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	意識度 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 前からの発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	継続投与症 率の既往	継続投与症 率の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行動」の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たように言っているのか?)	継続投 与例
151	B07013315	11	年	男性	異常行動	2007/2/24 朝 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕	2007/2/24	×	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/2/24 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始(40mg×2/日)。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/2/23)。咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、しゃみ)、消化器症状(嘔吐、下痢)、本剤服用後、1時間後位して急に走り出して外へ出て行こうとした。母親が制止したが、警へ通報していた。異常行動(非重篤)発現。 不明 異常行動回復。 2007/2/28 インフルエンザ軽快。	*
152	B07013318	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/19	2007/3/19	○	-	-	0.5時間	Yes	解熱過程	No	-	-	No	No	無	2007/3/18 (夕)インフルエンザA型に対して、本剤07.5mg内服。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/3/18 18:40)、倦怠感、頭痛症。 2007/3/19 (朝)本剤07.5mg内服。(13:30)異常行動発現(非重篤)。昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な行動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、室に戻り部屋に居るが、行動、言動については記憶がない。(16:00)異常行動回復。 以後は症状みられず。 2007/3/22 インフルエンザ回復。	
153	B07013378	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	2007/3/12	○	-	-	20分	No	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2007/3/12 (15:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤07.5mg×1/日の投与開始。体温:38.5℃。(16:10頃)就寝。(17:00)一過性の怖れ(驚怖)、謙世(強いうつ?)、興奮状態発現(非重篤)。(17:30)就寝後、精神神経症状、けいれん等は無く、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。約20分持続。(17:50)就寝。(20:30~20:35)再び就寝中に数分~5分、数分の恐怖の発現が在り。(22:30頃)就寝中に再び数分の興奮有り。数分~5分で改善。 2007/03/19 一過性の怖れ(驚怖)、謙世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もなくめどめる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。インフルエンザの経過:回復	
154	B07013383	11	年	男性	異常行動	2007/3/20	2007/3/20	×	-	-	-	Yes	発熱持続	-	No	-	-	No	無	2007/3/20 (夕)受診後、夕方に帰ってすぐ本剤75mg内服。発症時自他覚所見:発熱39.4℃、頭痛、関節痛、倦怠感。(1時間後)異常行動発現(非重篤)。急に家を出た。玄関の扉を開き、帰って来て突っ伏していた。おそらくこの時、高熱と全身痛があったので、この行動は不可解である。 その後、異常行動は止み、薬を中止するよう指示して再発なし。	
155	B07013387	11	年	女性	異常行動	2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3	2007/3/3	×	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	無	2007/3/2 インフルエンザB型に対して、本剤75mg×2回/日投与開始。発症時自他覚所見:発熱39.1℃(07/03/02)。頭痛、咳、鼻症状(鼻水)。 2007/3/3 異常行動発現(非重篤)。2回ほど薬を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大事には至らなかった。本剤投与中止。 2007/3/4 異常行動軽快。インフルエンザ回復。	
156	B07018037	11	年	男性	異常行動	2007/3/8	2007/03/08	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/03/08 38.7℃ (1200)タミフルカプセル服用。(13:10)突然飛び起き、目を見開いて走り出す。(13:40)上記の症状はおさまる。異常行動は発現していない。	
157	B07018716	11	年	男性	異常行動	2007/11/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/11/20 本剤服用後2時間ほどで奇声を発し、3階から飛び降りようとしたとのこと。家族が出陣を要請し、入院経済観察することとなった。 2007/11/21 異常行動は回復。	
158	B02-12377	12	年	男性	①幻視 ②低体温	2003/1/3	-	×	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	無	①(家族からの情報)本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親が押さえた。再度腫脹したところ、再度幻視出現し、低体温、暴れるなどの症状が出現し、再び両親に押さえられて治まった。 ②未記載	*
159	B03011945	12	年	男性	異常行動	2004/2/4 2004/2/6	2004/2/5	○	Yes	8.5	数十分~1時間	Yes	持続中、解熱過程	-	-	-	-	-	無	2004/2/4 発熱あり(38~39℃)。(1600すぎ)学校早退。近医受診。インフルエンザ迅速検査陰性だがインフルエンザが疑われたため、タミフル、ヘブリン類投与方1回75mg内服する。(19:00頃)その後すぐ就寝。 2004/2/5 (3:00)39℃。突然、母の体の上に乗り「宇宙が～」と意味不明のことを言う。異常行動(軽微)発現。その後、尿失禁、シャワーをまひると元にもどる。朝、本剤75mg内服する。午後より解熱。この間、寝たり起きたりの生活。(17:00)急に「うちはこうする」と言ったり、「(母の実家へ)行くといい、玄関とは全く違う方向へ歩いて行こうとする。家人の呼びかけに対し、元にもどる。(18:00)当院初診される。当院初診時は意識清明であり、特に変わった様子なし。当院来院以降は発熱認めず。急のため入院し、内服薬すべて中止して様子みた。入院後、解熱、意味不明言動等、全くなり。ふつにすごす。入院中の頭部CT、脳波も正常。 2004/2/6 異常言動回復。 2004/2/9 退院される。	*
160	B04009035	12	年	男性	異常行動	2002/2/25~ 3/2	2002/2/25	-	-	-	3時間	-	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2002/02/25 朝、KT:38~39℃認め、近医でインフルエンザB(+)判明し、タミフル(150mg/日)、メブクト、etc処方あった一自宅で内服した。(21:00頃)突然「羞しい」と訴えつつ異常(いつもとちがう)になり、自宅2階の窓から飛びおりた。(24:00頃)救急車で来院時、意識は清明であった。	*
161	B05023672	12	年	男性	異常行動	2006/1/18	2006/1/18	○	Yes	1	15分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	無	トイレへ行こうとする様子がおかしく、その後突然外出し団地4階より階段を降りて下にある自転車庫で走り出す。奇声を上げていた。異常行動発現。15分位後、帰ってきたが意識が1回一としており発熱もはっきりせず、朝まで経過。その間の記憶が無い。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	追加番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱 直後に発現 したか	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	意識障害 等の既往	聴覚障害 等の家族歴	先に 対応 した	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の具体的な詳細 (例：発熱については具体的に何が発熱したか？本人が発熱を見たのか、 親が発熱を見たか？と答えているのか？)	継続投 与例
162	B05023790	12	年	男性	①異常行動 ②意識障害状態 ③横脊骨折 ④下肢骨折	2008/2/4	2008/2/4 15:30	-	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2008/2/4 (12:00)A院にてインフルエンザA型と診断し、タミフル処方。帰宅後服薬(1回分のみ)、(16:00)自宅マンションの2階より転落、意識障害、異常行動発現。発見され、救急車にて病院へ搬送。右腕・右下肢骨折、腹部外傷にて手術。同時に小児科にて診察、入院。頭MRI所見なし。インフルエンザテスト(+) 4-5日 発熱、咳が続いた。また夜間うらむことがあった。 6日目 リハビリ開始。発熱は続いているが全体に回復傾向。経過観察にて症状消失。 2008/02/10 インフルエンザ軽快。 2008/02/18 意識障害、異常行動回復。	
163	B05024638	12	年	男性	異常行動	2008/2/1 2008/2/1 2/2~2/3	2008/2/1 22:30	○	Yes	0.5時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	2006/2/1 (12:00)38.5℃の発熱、咽頭痛あり来院。母親が同様の症状であるが、母の鼻汁よりインフルエンザAが証明されたため検査は実施せず。タミフル75mg 2cap/日×3日処方。(13:00)タミフル75mg内服。(22:00)タミフル75mg内服。その際、38.3℃の発熱あり。(22:30)内服30分後、就寝中より突然起きだし父親に抱きつかせたり、母親に意味不明な言葉を発する等の異常行動がみられた(恐怖感を感じる素行をしていたと母の弁)。24:00再び入眠した。異常行動は回復。(異常行動は約30分間持続) 2006/2/2 (朝)起床後は昏段と変わり、前日の記憶は無し。 2006/2/3 (8:00)38.4℃(21:00)38.4℃。本剤投与終了。	*
164	B05025582	12	年	男性	異常行動	2008/2/26	2008/2/26 20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/26 (朝、タミフルインフルエンザのため、タミフル(75mg)/回内服。(20:00)突然部屋の中をぐるぐるまわり始め、そのうちに2階の窓枠に足をかけ、飛び降りようとした。異常行動発現。父がすぐと押し、部屋の中に連れ込んで押えていたが、約40分間位父の腕の内側でわめいたり、暴れたりしていた。(21:00頃)そのうちに次第に落ち着いてきて寝た。異常行動軽快。熱は39℃以上あった。 2008/2/27 翌朝は解熱し昏段と変わりなく、念のため病院に再来した。本剤は2cap飲んだだけで中止した。外来受診時、意識ははっきりし特に異常はなかった。体温:38.7℃。 2008/2/28 (第3病日)体温:37.5℃(以後平熱)。 2008/3/01 インフルエンザ軽快・回復。体温:38.7℃。 2008/3/3 再び来院。母の話だと、本人も暴れたことは何となく覚えている様だとの由。1年くらい前にも発熱した時に、うなされたことがあったとの由。しかし今回のようにひどくはなかった。	
165	B08007798	12	年	男性	①死亡 ②横傷	2008/7/3	2008/7/3 17:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	(17:50頃)自宅のある高層住宅の駐車場で倒着に半ズボン姿で、踵足で倒れていた。心臓停止の状態を救急車に搬送。胸や脇など複数箇所骨折が見られた。 (来院時)心肺停止状態であり、1時間経生施行したが、全く反応なく死亡確認となる。軽傷によると思われる外傷があった。 (18:05)死亡確認。	
166	B06012472	12	年	女性	意識レベルの低下	2008/7/26	2008/7/26 10:00	○	No	30分	5分 1時間35分	No	発熱持続	Yes	-	-	-	不明	(7/26 10:00)うとうと、急に起きる。既に目がキラキラしており、一点を見つめるように、ぱっと目を開いていた。のどが苦しくなり、窓の方へ駆け出し、キヤーキヤー叫んでいた。5分程でおさまったが、一応救急車で運ばれ点滴を打って対応。「苦しくて、息をしても空気が入ってこなくてよかった」 入院。来院時、意識清明。受け答えもはっきりしていた。その時の様子も患者自身は覚えていないらしいが、ただ「宇宙に飛び出しそうになった」と語っている。 (7/27午前11:45)夜に目を覚まして怖いよ、手が上へ動く、怖いよ〜と叫ぶ。怖がって泣く。(午前2:00)カロナール内服。(午後3:00)まだ怖い、どこかに行きそうな感じがするとのこと。(午後3:20)落ち着く。	
167	B06024212	12	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/10	2007/2/10 20:00	×	No	-	1~2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	無	2007/2/10 インフルエンザA型と診断。(僅)インフルエンザA型に対して、タミフル75mg内服。(20:00)意識障害発現(非意識)。名前、自分の年が言えず、意識レベル3。入院し、点滴(STZ 500ml)にてfollow。 2007/2/11 (10:00)意識障害回復。意識清明。発熱(-)。 2007/2/12 (10:00)解熱。元気あり。退院。インフルエンザの軽快・軽快・回復 2007/2/14 (11:00)外来にて、かぜ症状のみ。神経学的に異常認めず。	
168	B06024534	12	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/22 2007/2/23	2007/2/23 18:00	-	-	-	3時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	無	2007/2/21 (夜)38.5℃の発熱。 2007/2/22 (午前)インフルエンザA型と診断。A院にてタミフルなど処方。(朝、夕)タミフル75mgずつ内服。(夜)~23日朝にかけて、突然様になり「お風呂」と書いて踊るなどの行動あり。 2007/2/23 (8:00)タミフル75mg内服。(16:00)母親が目を見た間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。当院へ入院。発熱不明、記憶無。タミフルの副作用の可能性も考えられたが、急性脳症否定できず。スチロイドパルス療法施行。ICU入院。処置内容:利尿剤(利尿)がローレル1g/日(〜2/25)。マンネンコール1g×20×250ml×3/日。ミラプリが1日5万単位×3/日。ロゼリウム1g×2/日(〜2/26)。フコチン坐剤200mg/日。カロナール300mg/日翌朝当院へ連絡があった。 頭部MRI、CT、髄液検査、胸部・腹部・骨髄X線:異常なし前頭部3Hz wave with notchesが3~5秒程持続するのが顕著。 2007/2/24 処置内容:フェノバルール60mg×2/日(〜2/26)。その後も異常行動が認められたが徐々に消失。 2007/3/2 明らかな後遺症なく退院となる。インフルエンザ回復。	※

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○ 就寝中じゃない×)	発熱 値に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	発熱の経過	意識障害 等の既往	痙攣発作 等の既往	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の発作 履歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	継続投 与例	
169	B09024908	12	年	男性	異常行動	2007/2/7 12:30, 19:00	2007/2/8 2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/7 インフルエンザ発症(発熱37.8°C(朝)、咳、倦怠感)、(12:30)インフル エンザに対し本剤1カプセル服用。(19:00)タミフル1カプセル、マブール、ムコアスト マリ服用。 2007/2/8 (2:00)異常行動発現。外に出て素足で50m程先の駐車場に向かって 走り出す。父親が家に入れたが、そのまま2階に走っていき、退いていと意を 開けて飛び降りていた。見に行くと、土の上に出ており、応答はつきりせず、戻 ほけたような様子だった。自家用車で救急外来受診し、当院へ搬送依頼あり。 (9:30)当院救急外来到着。意識レベルJCS1-2、ICU入院。外傷は右腰骨骨 骨折のみで頭蓋内出血などなし。髄液検査：蛋白定量42mg/dL、糖定量 60mg/dL、単核球2/3mm ³ 、分葉核球0/3mm ³ 。(10:00)インフルエンザ発症の 可能性も考慮し、ステロイドパルス療法(ビル・オフロール1000mg/日)開始(～ 2/10)、(20:30)強直。突然笑い出す。泣き出すなどの症状認められた。 2007/2/9 (8:30)意識レベルJCS0-1 2007/2/10 (9:30)意識清明と健忘。 2007/2/11 インフルエンザ軽快。アスピリン20mg×3回/日(～2/14)、ムコダ イン500mg×3回/日(～2/14)投与開始。 2007/2/16 退院。外来フォローとなる。 2007/2/8 異常行動回復。(15:26)服のけがため松葉杖。行動、運動面で特 に以前と変化なし。		
170	B00025101	12	年	男性	異常行動	2007/2/8 12:00頃	2007/2/8 14:11頃	×	No	-	-	-	-	-	-	-	-	No	無	①幻覚を見て、裸足で外に飛び出した。その後自宅に戻り、「頭がこわれそう」 落ち着きなくなり、家中のドアを開けた。自分で電話、最初は117番をかけたし まった。次に119番をかけたが警察から連絡がよくなり救急車で他院に搬送。点滴 により落ち着いて帰宅。 ②寝になる性えてしまう(目が覚めて眠れない等)就寝後1時間くらいで起き 出して、錯乱状態になる。		
171	B08025576	12	年	女性	異常行動	2007/3/4 3/5～3/6	2007/3/4 22:00	-	-	30分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	無	2007/3/3 (17:00)39.5°C発熱あり。当院外来受診。翌日再診とした。カロナール 200 2T 1×服用。 2007/3/4 (11:30)再診。エスプラインRインフルエンザA&B-Nにてインフルエン ザと診断。本剤2cap 2×(3T)投与。(12:00)タミフル75mg服用。(22:00)突然泣き 始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ。異常行動発現。 約10分程で落ち着き、面蒼がおさえる。体温：37.5°C。 2007/3/5 (朝)本剤服用再開(～3/6)。その後異常な行動なし。 2007/3/6 (10:30)当科外来に報告。再診。明らかな異常なし。(11:00)異常行動 回復。	*	
172	B08026630	12	年	男性	①転倒 ②異常行動	2007/3/19 2007/3/19	2007/3/20 2007/3/20	○	Yes	1時間	1回目30分 2回目10分	-	発熱持続	No	Yes	-	No	No	無	急に起き上がり、前庭を歩き回った後、突然2階に上がった。母が追いかけて 抱きかかると一度は1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階に上がって、ベラン ダへ出、飛び降りた。夜中に連れ戻したが、まだ興奮状態で暴れていた。飛 び降りたことは覚えていない。翌日21:40、寝ていたら、急に立ちあがり、「い かなあかん」とベットの隅から降り、どこかへ行くこととした。看護士と母親を押しさへ、医 師到着時は本人落ち着いており、これからは覚えていないと言う。		
173	B07001302	12	年	女性	①痙攣 ②浮動性めまい ③異常行動	2007/2/23	2007/2/23 22:30	-	-	約10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	No	-	2007/2/22 (夜)37°Cの発熱あり。 2007/2/23 (朝)38°C。(昼)39.7°Cの熱あり。解熱剤詳細不明で内服したが、解 熱せず当院受診。咳嗽あり。インフルエンザA型と診断。(19:00)タミフル投与 (75mg)。(20:00頃)眩暈。(22:30)寝ていて急に起きたが、焦点が合わずウロウロ していて気を失い2階の階段から転落。この時、全身痙攣、振動する上肢けい れん発作(非重篤)が認められた。痙攣が10分ほど持続。10分後に他院受診。 (23:00)30分後に意識回復し、頭部CTを行ったが、異常はみられず帰宅した。け いれん発作回復。ふらつき(非重篤)発現。ふらつき、意識がおかしくなる症状は 回復。 2007/2/24(朝)当院再受診し、本剤中止。発熱は続いていたが、意識は正常で あった。以後は受診なし。		
174	B07001381	12	年	女性	異常行動	2007/3/17	不明	2007/3/17	服用2回目	-	3分	-	-	-	-	-	-	-	不明	服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、 暴れる(約3分間)。家族が押さえてつけて静止した。	*	
175	B07001923	12	年	男性	意識異常状態	2008/2/2	16:30	2007/2/2	17:30	-	17時間	No	発熱持続	No	No	-	No	No	無	2月2日(17:30)両手を掌を上、訳のわからない事を言いながら、こたつの周囲を 10回ほど回った。その後、紙製のふたを覆り締めていた。このため救急車で茶 院。怒りっぽく荒々しい言動であった。		
178	B07002864	12	年	男性	①うつ病 ②錯乱状態 ③強迫性障害	2007/2/20 2007/2/20	19:00	2007/2/20	19:00	○	Yes	1時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2月20日(18:00)本剤内服後、1時間経る。(19:00)起きたときに錯乱状態になり、 母が押さえてつける。症状約30分続き回復。 2月21日(朝)37°C。起床後再び「手洗い」を始める。その後もずっと手を洗い 続け、1日に40回以上「手洗い」をするようになる。 2月24日1日に40回以上「手洗い」。回りのものに触れようとしない。 2月27日投与する学校でも「手洗い」が続く。 3月上旬シタクルクリニックにて洗浄強迫性障害と診断される。 3月13日ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望強くなり、自宅でも が見守らなければならない状態となる。 4月16日(夜)突然顔面より上半分に筋肉の強直出現。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
 ＊：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	観察中か否 か (観察中○、 観察中しな い×)	発熱直 後に発現	観察中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常症 等の既往	睡眠異常症 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと答えているのか？)	継続投 与例
177	B07011832	12	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6	2007/3/6 1:00~2:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	2007/3/4 (夜)発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生 剤(バン200mg/日と下熱剤)を処方。 2007/3/5 (AM9~10時頃)当院受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた 薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、FluB診断、タミフル75mg× 2回/日(5日分)、カロナール200mg(2回分)を処方。 2007/3/6 (AM1~2時頃)寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走っ た。裸足で飛び出た。予め今までの副作用の事例を話し一緒に夜間は 過ごし、目を驚かさないように母親に指示していたため、大車には至らなかった。 マンションの8階で玄関の外に出なくて辛かったです。 2007/03/07 (朝)本人は自分の行動を全く憶えていなかった。インフルエンザ軽快。本剤の内 服中止。	*	
178	B07013228	12	年	男性	異常行動	2008/2/17 2008/2/18	2008/2/17	-	×	Yes	-	Yes	-	-	-	-	-	-	2008/2/17 (夕)前日より発熱(39.1℃)でインフルエンザA+との診断受け、 本剤(75mg)2回/日5日分、奇效薬75g×3日分の処方される。帰宅後、本剤を服用 し、寝る。(23:30)異常行動が起るといへ、行ったり。トシから出てきてお茶で 「腹上り、腹上り」と言って玄関から出ようとしていたので両親2人がかりで おさえつけ。 2008/02/18 (8:50)患者家族より処方医に連絡。上記の件を伝え、本剤中止と の指示が出た。体温は37.2℃。(8:00)患者家族より薬局にも問い合わせ。経過の情報を 受けた。念のため、本日は患者を見守るよう指導。	無	
179	B07013229	12	年	男性	異常行動	2007/2/1 2007/2/1	2007/2/2 2:30 5:00	○	-	-	40分	Yes	-	No	No	No	No	No	2007/2/1 インフルエンザB型発症。(10:00)本剤75mg内服。(20:45)本剤75mg 内服。鼻症状軽減のため、タビジュール1mg×2回/日投与開始(〜2/4)。 2007/2/2 (2:30)異常行動発現(非重篤)。急に起き上がり服を脱ぎ、部屋 の中を歩き、お茶を飲んだ。母と会話したが、母のことを認識していない様子だが、 祖母とは会話できた。ベランダに出て奥り走り出ようとするのを母と祖母で止めて 室内へ連れ戻した。体温:37.9℃。(3:10)40分くらい再び眠りについた。(5:00) 異常行動発現(非重篤)。寝ている状態でベッドでタビジュールを服用していた。目 はグルグル回って覚めた。40分くらい寝た。(5:40)40分くらい寝た後症状回 復。	無	
180	B07013305	12	年	男性	異常行動	2007/3/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/16 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。異常行動(走り回る、 眠つきがおかしい等)が発現。 不明 異常行動は回復。	無	
181	B07013374	12	年	女性	異常行動	2007/2/17	夕方	○	-	-	-	Yes	-	No	-	-	-	-	2007/2/17 (夕方)発熱(39.1℃)でインフルエンザ治療のため、本剤75mg×1/日の投与開 始。幻覚、幻聴が出現(重症度不明)、異常行動(非重篤)発現。何も持っていないの に1つ持っていると思う。外に出ようとする。一晩中、父親が朝について 、外に出ようとするのを制止していた。 2007/2/18 (4:00)落ちつく。	無	
182	B07013360	12	年	男性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	10:00 18:00	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/27 (5:00)体温:39.2℃。(10:00)インフルエンザA型治療のため、本剤 75mg×1/回内服。内服後、不穏行動発現(非重篤)。突然2F階段をはしりおり る。(19:00)本剤75mg×1/回内服。内服後、やはり不穏状態となり、Familyが 押さえつけてFollowする。 即本剤服用して寝かせるが、3時間半後に起きてきて、親に怒られているという 幻覚のため「ごめんね」と何度も繰り返した。夕方にも本剤服用するが、1時 間半後に起きてきて、部屋の中をぐるぐる歩き回ったり、うなったりという異常行 動を起こした。時間は特定できないが、ドライバーを持って家を飛び出そうとし たところを家族がとめている。	無	
183	B07013382	12	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/18	2007/3/18 23:50	×	Yes	50分	-	Yes	-	-	No	-	-	-	2007/3/17 39℃の発熱あり。 2007/3/18 (13:00)本剤75mg内服。(19:00)本剤75mg内服。(23:00)40.2℃の発 熱。脱水に対して、カロナール2錠内服。ポタコールR 500mL点滴静注開始。そ の後嘔吐。(23:50)点滴終了し、抜針した所、走り出した(非重篤)。 2007/3/19 異常行動は回復。	無	
184	B07013385	12	年	男性	異常行動	2007/2/24	夕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/23 (夜)38℃ 2007/2/24 (朝)39℃の発熱。(来院時)39.4℃。鼻汁あり。インフルエンザBの判 定のもと、夕方本剤75mg内服。 2007/2/25 (未明)もうろうろ状態発現(非重篤)。急に起きて、ベッドの上で飛びは ねて2階から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。 不明 症状回復。	無	
185	B07015893	12	年	男性	異常行動	2008/02/02 2008/02/03 2008/02/03 2008/02/04 2008/02/05 2008/02/05 2008/02/08 2008/02/08	2008/02/02 23:00~ 24:00 5:00~6:00	○	Yes	-	少なくとも1 時間以内	-	-	-	Yes(起ってい て寝ぼけるこ との多い発 現であった)	No	No	No	眠っていて寝 ぼけることの 多い発現であ った 2008/02/03(5:00~6:00の間)部屋から一人で出て行くことした。「トイレ」と尋ねる と、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言う。横になり寝た。体温38.2℃。(午 前)入浴。 2008/02/05 本剤は継続。異常行動の再発はなし。	*	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時間	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じやなし×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠障害症 等の既往	睡眠障害症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 の有無	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：覚醒については具体的に何が起きたか？本人が覚醒を見たのか、 親が覚醒を見ていたよと言っているのか？)	継続投 与例	
186	B03001038	13	年	女性	幻覚	2003/1/23 夕 2003/1/24 朝・夕	2003/1/24	—	○	No	—	20～30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	Yes:ボルタレン 無	※	
187	B0300982	13	年	男性	①異常行動 ②幻視 ③幻覚	2003/1/21～ 1/22	朝・夕	2003/1/22	—	—	—	Yes	18:00 20:00～ 21:00	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	※
188	B03009802	13	年	男性	譫妄	2004/1/21 2004/1/22 2004/1/23 2004/1/24 2004/1/25 2004/1/26	朝・夕 18:00	2004/1/21	—	—	30分	Yes	21:30	Yes	解熱過程	No	—	—	—	No	無	*
189	B05001832	13	年	男性	精神障害	2005/3/18	18:00, 23:00	2005/3/17	—	No	—	Yes	2:30	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	※
190	B06023963	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/1/21	朝・夕	2007/1/22	○	Yes	—	1時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	No	無	※
191	B08025315	13	年	男性	異常行動	2007/2/28	18:30	2007/2/28	○	Yes	5時間	5分位	Yes	発熱持続	48時間	No	—	—	No	No	無	※
192	B08028420	13	年	男性	異常行動	2007/3/12	17:30	2007/3/12	1回目×、2回 目○	Yes	—	—	Yes	—	—	No	No	—	No	不明	不明	
193	B07000983	13	年	男性	異常行動	2005/12	追加なし	2005/12/9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	不明	
194	B07000986	13	年	男性	精神症状	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夕食後	○	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	—	—	—	No	No	譫妄	※

72

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中ではない×)	異常な 行動に 関する 既往歴	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記録	発熱異常 等の既往	発熱異常 等の家族歴	光に対する 反応	飲料による 「異常な行 動」の劇作 用歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように感じているのか？)	継続投 与例
195	B07000077	13	年	男性	異常行動	2007/3/13 10:00 23:30	○	Yes	—	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	不明	突然起きて外出する。 「受け答えはつきりせず、自分の行動を理解していなかった。200 異常行動 発現。突然起きて外出。すぐに父親が気づき連れ戻す。その後就寝。異常行動 の発現時間は不明。	
196	B07000130	13	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/17 2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18	—	No	—	その時のみ	Yes	発熱持続	—	No	No	—	No	無	2007/03/15 (朝)体温:39.3℃。インフルエンザB型治療のため、タミフル75mg ×2日目の投与開始。(14:00)異常行動発現。昼食後に寝落ちし、覚醒後「暑い」 と書いて「ペランダ」に行き、濡みたいとペランダに向かって飛びだしそこになった ので、母親があわてて止めた。(14:10)異常行動回復。(夕)体温:39.7℃。(20: 00)幻覚の強い発現(非真実)。臥床中、「ゲームの中のように誰かが追いかけて くるので逃げなくて」と言っていてふとんをかぶった。母親が「大丈夫か」と重たい安心 させたところ安眠した。(20:10)幻覚の強い回復。以降、3/18朝食後まで本剤を 続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。 2007/03/19 インフルエンザの経過:軽快。	*
197	B07000272	13	年	男性	異常行動	2007/2/28 2:30	○	Yes	2時間半	数分	No	発熱持続	No	Yes	—	—	Yes	不明	2005/5/10~12 高熱時に解熱剤(カロナール)使用後、異常行動あり(バタバタ と暴れて踏乱とおびえがあった)。 2007/2/25 朝より発熱あり。(PM9:30)当院受診。受診者数多数のため、深夜ま で院内で待ち。 2007/2/28 (0:00)インフルエンザB型と診断。(AM1:40)タミフル60mg×2回/日 処方受け開始。(2:30)帰宅後、タミフル60mg内服し、就寝。(5:00)急に体をおこし、 二階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとどめささ、こなきを得た。すぐ におさまり、一層へ移動して就寝した。(7:00)再び起きて走り回り、今度は一階 の窓から飛び出しました。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で 我にかかり、こなきを得た。(9:25)その後、当院へ電話で問い合わせがあり、 内服中止を指示。以後、異常行動は出現せず軽快した。 併用薬のレスブレン、ムコダテンは発現時未服用。 2007/3/3 インフルエンザ:軽快・回復	
198	B07000412	13	年	男性	落ち着きのなさ	2008/7/8 2008/7/7 2007/7/7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	2008/7/6 B型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(69mg×2日 ~ 06/7/7)。 2008/7/8 (朝)寝ぼけて不穏状態となり、2階の部屋から道路に落ちて頭、両膝 打撲。不穏状態発現。頭部CTにて後頭蓋部の骨折、硬膜下に出血あり他院紹 介入院(06/7/20)。右膝骨折手術予定。入院期間(06/8/12)。 2008/7/20 当院入院(06/8/12)。 不明 不穏状態回復。	
199	B07001355	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動 ③遺尿	2007/2/20 2007/2/20	Yes	—	5hr	30分	Yes	発熱持続	No	No	—	—	No	無	2月20日(24:00)自宅で就寝 2月21日(4:30~5:00)同様に強いけいれんのような、怖い夢をみていたような恐 ろしい思いをした後に、急に自分の両足が何かに刺れるのを感じ、その瞬間自 分を窓枠にぶら下がり、両足を10cm幅のコンクリート層の突き出し部分に乗せ ているのに気が付いた。両親を窓枠にかけ、必死によじ登って部屋に入り、両親 の寝室に飛び込んだ。(5:00)父母が就寝中に「バタバタ」という音とともに息子が部 屋に入ってきた。「死ぬこやった。こわかった。」とおびえた。両親が事情 を聞くと飲み込めず、「夢でも見たのだろうか」と両親の寝室で休ませた。その時母 親は発熱の語「興奮、夢遊病」のことかと思った。(7:30)夜が明けて息子を観察 すると、両腕に腫れ腫、両足趾の付着物、両足底の汚れに気づき、息児に事 情を聞く。母親が息児の部屋を親が行くと窓枠が開いており、外壁を見ると10cm 出っ張ったコンクリート部分に足跡が残っていた。	
200	B07001888	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/17 昼 18:00	—	—	—	数分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	3月18日(4:50)遊玩していた遊童が急に起立となり、前庭を駆け回り、たんすを 開ける。友達がいると書いて、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が 気づきおさえる。数分で落ち着く。熱は39.9℃と高熱。家族が救急車を呼ぼう とするが落ち着いているので様子を見た。	*
201	B07002055	13	年	男性	異常行動	2007/3/2 不明	—	No	—	8時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	3月2日本剤75mg内服して3~4時間後に「友達からペランダから落ちた」と発言。 寒気もおかかった。問いかけに答えられず、そのまま寝込んだ。(18:30)手 洗の場所ですと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。 その後「人を殺した」と発言。他院に電話したところ、本剤は中止しよう言われ た。暫くして意識清明となり、おかしな言動、テレビを見たり、水分を取っていた。 3月3日(3:30)気分が悪いと言いだした。ええと苦しそうに泣いており、リビングを 駆け回り回り、「死にたい」と連呼。救急車を要請。救急隊到着時、ぼーっとしてい る感じではあったが、名前を言えた。こちらの要請に応じていた。 当院救急外来受診後、ラクテック1000mL輸液。その間異常行動なし。意識清 明。家族の強い希望あり、入院して経過観察することとなった。	
202	B07002897	13	年	女性	①大発作性癲 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/18	×	No	—	5分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	A型インフルエンザにて本剤(OS)の服用あり(劇作用なし)。 2007/03/17(10:00)来院。B型インフルエンザの診断。帰宅後、本剤75mg内服。 この時体温40℃。(昼)何事もなく、ずっと寝てた。(21:30)夕食を食べると自 室より出た。この時体温39.5℃。自室より階段を下り始めたところ、「こわい、こ わい」と叫び出し、壁を両手で「バンバン」叩いていた。その後、意識が無くなり 倒れ、両手を曲げて寝た状態になった。けいれんを約1分間起こし自室に上 り戻った。5分後には会話に反応するようになったが、「らん、らん」と言う程度。その 後は再び自室で寝ていた。「体のどちらが上でどちらが下かわからない」とし 言っていた。本剤、夜は睡眠中であつたため、服用せず。 2007/03/18(朝)いつもと同じ様に起床。「こわかった」とだけ言っていた。熱無 く、元気になっていた。強度間代性けいれん、異常行動回復。朝、本剤の服用 は止め、夜のみ服用。 2007/03/19 朝、夕本剤服用。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中以外×)	意識直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	腫瘍発症症 等の既往	腫瘍発症症 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の既往 履歴	異常な既往に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例
203	B07004039	13	年	男性	腫瘍	2007/3/19 午前	2007/3/20 10:00	○	Yes	-	1時間	-	発熱持続	No	No	No	-	No	No	2007/03/18 日型インフルエンザ発症。 2007/03/19 本剤75mg×2回/日投与開始。(PM)体温:39.4℃。(体温測定値に 加して、時間は不明) 2007/03/20 (10:00)2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(厚肉)の途中から 飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。1階にいた祖母が取り押 さえた。(10:30)しばらくすると泣きかえった。39℃の体温があった。患者によ ると悪い夢を見て、何かに追いかけていたような気がしたそうであるが、障 子を飛び降りたり障子を倒したりしたことは何も覚えていなかった。	*
204	B07013254	13	年		異常行動	2008/2/1 2008/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/2/1 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。2回目服用の4時間半 後に痲になって外に飛び出す。本剤の投与を中止。 2008/2/2 異常行動は回復。	無
205	B07013256	13	年	男性	幻覚	2008/1/29	2008/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/1/29 (夕)A型インフルエンザ(体温:39℃)に対して、本剤の投与を開 始。本剤服用後に、幻覚(異常行動)が発現。(投与は1回のみ) 2008/1/30 幻覚(異常行動)は回復。	無
206	B07021876	13	年	男性	異常行動	2008/2/1 2008/2/2 2008/2/3	2008/02/01 夜遅く	○	-	-	-	Yes	発熱持続中	Yes	-	-	-	-	-	2008/02/01(午後遅く)夕方、本剤を服用。就寝、夜中突然泣き出して、布団の中で ぐぐり泣き出し、部屋の中を走り出した。押さえて、おしして落ち着いた。再び泣き、全 体は凍えた。本人も一服は覚えていたとのこと。翌日から本剤を内服したが、異常行 動は起こらず。	*
207	B05002407	14	年	男性	意識レベルの低下	2005/2/5	2005/2/5 18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/2/5 (11:30)発熱、咽頭痛、関節痛で発症。鼻腔内サンプルでインフル エンザ迅速診断でインフルエンザA型と診断。意識障害、精神症状は無かった。 (18:00)タミフル1カプセル服用。(18:00)自宅より転落。(23:00)他院にて出血 性ショックにより死亡。	無
208	B05017753	14	年	女性	腫瘍	2005/2/28 2005/3/1 2005/3/1	①2005/3/2 ②2005/3/4	-	No	-	No	No	解熱過程	-	No	No	No	No	No	①朝より「外から誰かが見ている」「家の中に知らない人がいる」夕までサラダを 出すと「毒が入っている」などの幻覚や被害妄想出現。暮しのに家中の窓を全 て金網にしまわるなどの異常行動あり。落ち着きがなく家中うろちうろちするた り母親が他院に連れていった。小児科精神科などいろいろな科を回され精神安定剤 の注射をされ、せん妄と診断された。 ②少し落ち着いたが「死にたい」「お母さん私のこと殺すでしょう」などの自殺 念慮発露あり。	無
209	B05022381	14	年	男性	①錯乱状態 ②落ち着きのなさ	2004/1/28 2004/1/28	2004/1/28 昼間	-	No	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	Yes	無	1カプセル服用後12匹の鬼に追いかける」といって窓に向かって走り出した (マンションの9階)。錯乱、不穏発現。ガラスは破りがけがあり、事故にはならな かったが、両親二人がかりで押さえなければならぬ程の力で暴れた様子。	無
210	B05024748	14	年	男性	異常行動	2008/2/18	2008/2/18 24:00	○	-	3時間	約1.5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2008/2/17 インフルエンザ発症。 2008/2/18 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg/日投与。(21:00)自宅で休 んでいた。(00:02)2階より飛び降り、両足骨折、異常行動、両足骨折発現。 2008/2/19 (1:40)自宅近くのコンビニエンスストアに1人で徒歩で帰るのま まのところを警察に保護される。(2:30)当院救急外来へ搬送。右踵骨骨折、左第5 指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚潰瘍あり。自宅窓は開いておりこの下のコン クリート筋がコンビニエンスストアにかけて血痕が認められていた。ヴイーンD で輸液開始。なお当院搬送時は意識状態は問題なし。異常行動回復。(4:00)頭 部CT実施。結果：骨折なし。頭蓋内に急性期外傷性変化なし。 2008/2/21 脳波検査実施。異常所見なし。 2008/2/22 頭部MRI実施。結果：明らかな異常所見は認められない。脳実質に 信号の異常なし。拡散強調画像で有意な高信号なし。impression:異常を認め ず。 2008/2/23 インフルエンザ軽快。退院。	無
211	B05024983	14	年	男性	①悪心 ②異常行動 ③意識レベルの低下	2008/2/13 2008/2/14	①2008/2/13 ②2008/2/14	×	No	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	No	無	2008/2/13 インフルエンザA型のため、タミフル75mg×2/日投与開始。 本剤内服後、少し悪なことを言っていたがすぐに治まったので家で様子を見て いた。意識障害(軽度)発現。吐きもあつた(重篤度不明) 2008/2/14 朝本剤内服後、4時間ほどして腹を絞りで突然家の外へ飛び出 したところ、家裏が気づいて連れ戻すことがあった。その後もう一度できる ようなことができない。おかげで21日とことごとく9日続いた。行動障害(重症?) 発現。(10:30)家より今は落ち着いているよたという連絡があり。総合病院を 受診するように指示した。 2008/2/15 (夜)家に電話して様子をおねたところ、総合病院を受診して血液検 査と頭部MRIを撮影したが、今は落ち着いている。入院はせず。 2008/2/24 家に電話して様子をおねたところ、総合病院の検査はいずれも異 常なしとのこと。現在に特に異常なし。コカール200mgを合計4錠内服していたこ とが判明。インフルエンザ軽快・回復。	無
212	B05025213	14	年	女性	異常行動	2008/1/21	2008/1/21 12:00 22:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2008/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(他院 にて処方)。(10:30)タミフル75mg内服。(12:00)トイレにいそんだ後、目を向いた 感じになった(30秒くらい)。その後救急受診。受診時、異常ないため一旦帰宅。 (20:00)本剤75mg内服。(22:30)突然起きあがり「母ちゃんごめんさい」などと意 味不明な発露がみられ、救急受診。受診時に受け答えは正常にできたが、点 滴後もフラフラするとうため、経過観察のため翌日入院することとした。 2008/1/22 解熱し、インフルエンザ軽快。その後、精神状態等も正常であ った。 2008/1/24 後日外来で脳波検査予定として、退院。	無

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*: 継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発生した事例
 *: 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠障害 等の既往	発熱 等の既往	先に 反応	発熱による 「異常な行 動」の作 用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例: 幻覚については具体的に何が覚えたか? 本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	継続投 与例	
213	B05025478	14	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下 ③嘔吐	-	-	-	No	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	不明	不明 インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたためタミフル投与開始。(75mg×2/日 へ2日間) 不明 異常行動、意識障害、嘔吐発現、経液検査にて細菌感染上昇。		
214	B05025583	14	年	男性	異常行動	2008/2/20 2008/2/21 2008/2/22 2008/2/23 2008/2/24 2008/2/25	2008/2/20	11:00	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2008/2/19 発熱あり。 2008/2/20 (午前中)インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方し、ただちにIcap服用。 (11:00頃)隣に寝ていたが、突然階段をどたどた駆け降り、学校へ行かなくちゃと脅かってぼんを背負って外へ飛び出そうとした。丁度家人が居り、当人を取り押さへ、今日は学校に行かなくても良いと言っておくさせた。異常行動発現。異常行動の持続時間:不明。 (12:00頃)症状軽快。その後本剤は処方どおり服用。特に変わったことはなかった。後で本人に確認したところ記憶が全くないとのことだった。家族は発熱によるものと考え特に処置はしなかった。 2008/2/25 インフルエンザ軽快し、本剤は朝内服終了。	*	
215	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②激越 ③錯乱状態 ④嘔吐	2008/2/5	夜間	2008/2/5	-	No	-	Yes	発熱持続	No	Yes	No	No	No	睡眠障害	小児時 本剤服用にて異常行動(重症度不明)発現。異常行動回復。 2006/1/7 39.1℃の発熱にて当院受診。インフルエンザ抗原検査ではA/B日ともに陰性であったが、症状的にインフルエンザが強く疑われたため、シンドレル2T/日投与。その翌日発熱にも関わらず、異常状態はなおさら悪化した。 2006/2/5 日中発熱にて休日当番医受診。A型インフルエンザと診断され、本剤(75mg)2cap/日、5日間処方。夜間本剤服用後、異常状態になり家の中を大声を出して動き回った。家族が抱きかかえるように抑えつけないといけない状況だった。2時間前にこのような異常状態が出現した。興奮、錯乱状態、健忘症発現。 2006/2/6 正確な時間はわからないが、寝入って状態的に落ち着いたら、本人は全く覚えていない。興奮、錯乱状態、健忘症回復。当院受診。母親の話を聞き、本人は全く覚えておらず、37.4℃まで熱は下がっていたので、本剤服用を中止し様子を見るように指示。その後の連絡は無し。		
218	B08024434	14	年	女性	転倒	2007/2/18	昼	2007/2/18	12:48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/15 朝から寒気あり。夜より発熱。 2007/2/18 (9:40)当院受診にいらした。受診時、体温38.2℃、咳が少し、鼻水が少し、喉の痛みを訴えていた。診察時、異常な行動はみられず、精神・神経系の異常はなかった。(11:00頃)インフルエンザB型と診断。タミフル、ユロフロシ坐薬、PL錠投与。マーズレン8を処方され、タミフルを内服した(1回内服)。(12:48)自宅マンションより転落のため、病院に救急搬送あり。(12:58)救急隊到着し心肺停止の状態。(13:03)病院着。心肺蘇生(徒手)を行った。反応せず。(13:34)死亡確認。警察による検案あり。親族は同意を得ず。 <新聞記事の情報> 2007/2/16 午前に病院で受診後、母親と一緒に帰宅。本剤を服用して静養していた。(12:45)自宅マンション敷地内で血を流して倒れているのを発見された。自宅前の通路の手すり(高さ1.4m)から1階建建物の屋根に転落後、地面に落ちた。母親は出かけたため、転落当時一人だった。患者は黒色の上下のスエット服で、靴は履いていなかった。患者は全身を強く打ち病院に搬送されたが約1時間後に外傷性ショックで死亡。		
217	B06024785	14	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/28	18:30	2007/2/27	1:20	○	-	発熱後すぐに発症	No	No	Yes	-	-	-	No	無	2007/2/28 朝、受診。38.9℃。「首が痛い」と訴えており、のどが真っ赤であった。クラスでインフルエンザが流行していると言っていたので、インフルエンザB型と診断。意識状態についてはわからない。既往症、合併症は未確認。切診ではないため、問診要なし。タミフル75mg×2回/日(6日分)、カロナール200mg12錠(6日分)処方。 2007/2/27 (1:47)救急車にて病院に搬送。受診時心肺停止状態。JCS200、顔面は顔面骨折、上顎、下顎骨など骨折を認めず。マスク換気とともに耳出血が噴出する状態。四肢も多発性の開放骨折。心臓蘇生を試みるが、全く反応なし。(2:01)死亡確認。 <新聞記事からの情報> 2007/2/26 (9:30頃)タミフル75mg内服。(18:30頃)タミフル75mg内服。 2007/2/27 自宅マンション11階より飛び降り、転落して死亡した。夜中に目を覚まして母親を起こし、居間で薬を飲もうとしたが、前の服薬から所定の8時間がたつておらず、服用を止めさせた。(12:00頃)その直後、トイレに行き、戻って玄関を駆け上った。玄関の扉を力ずくに叩き壊して部屋を突入し、患者は玄関前の外壁に壁で足をかけて飛び降り、転落したという。頭などを強く打ち、市内の病院に運ばれたが、間もなく死亡した。	
218	B08025006	14	年	男性	異常行動	2007/2/17	17:00	2007/2/17	20:30	-	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	1階にいた母が2階が騒がしいことに気がつき見に行ったら、患児がクローゼット内に走り込んでいた。その後走り回ったり、階段の手すりに足をかけた。顔をかきむしるような動作があった。これらの行動が母が行ってから10分程度続いた。救急要請。救急到着時は意識清明。	
219	B06025685	14	年	男性	異常行動	2007/2/25	19:00	2007/2/25	23:00	○	Yes	約4時間後	1時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	無	(2007/2/25 23:00)トイレに行こうとベッドから立ち上がった。トイレへ行き、戻るとトイレの中、壁に向かって排便し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れる。 (2007/2/26 15:00)異常行動回復。	
220	B08028128	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/02/23	夕方	2007/02/25	AM3:00頃	○	Yes	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	突然起床。家族はトイレに行くのかと想っていたら、トイレを通り過ぎ玄関ドアの前で意識消失し転倒。その衝撃音で家族が発見される。意識消失は2-3分間。その間意識は認めない。 後頭部打撲。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を顕現した事例
 ※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を顕現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中か、 就寝中じゃない か)	異常 投与 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	経路異常 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	継続投 与例
221	B0602844	14	年	男性	異常行動	2007/2/23 19:00	2007/2/23 21:00	×	No	—	3時間	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	無	2007/2/23 (3:00)38.5℃。(10:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(19:00)夕食後、タミフル75mg服用。(21:00)「落ちつかない」「外へ出ると外へ出ようとした。寒気が走りまわることになり外出は中止できた。異常行動発現。(24:00)3日間発熱がなかったが、ようやく就寝できた。2007/2/24 (7:00)平常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回復。	
222	B07000123	14	年	男性		2007/1/8 18:00	2007/1/8 18:30 20:00	×	No	—	—	No	発熱持続 中	—	No	No	—	No	No	2007/01/08来院時、体温:38.2℃。 (18:00)A型インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1/回内服。 (18:30)異常行動発現、もうろうとして意識がクリア。「何を飲ませるか?」と尋ねた。 (20:00)2分間繰り返してきて、再び意識もうろう状態、熱38.0℃ (「死ぬとどうなるか?」という言葉に母の呼びかけ「どうした!」により意識が戻った。その後は普通、ご飯食べた。 (22:00)2寝まで就寝。 (24:00)意識もうろう「何で、何で?」と問いかけた。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お母さんがなんでいるの?」と尋ねた、熱37℃。 2007/01/09 (8:00)熱が下がって普通。 異常行動回復。	
223	B07000153	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/3/7 2007/3/7	2007/3/8 8:35	—	—	—	少なくとも2 ~3分以上	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	なし	2007/3/7(10:00)学校放課後目録より発熱、早速近医受診。インフルエンザB型と診断。タミフル1回75mgをすぐ内服。(18:30)タミフル2回75mgの内服。 2007/3/8 就寝した時間起きた時間は不明だが、6:35には起きていた。(8:35)異常行動。意識障害発現、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く、部屋に行ってみると当該患者がベッドで座位となり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排便している間に意識消失。2~3分程度意識回復。救急車により当院に搬送される。(7:40)当院到着。到着時には、意識は回復していた。本人にそのときのことを確認すると、苦し気がしたのでもうめき声を発したが、窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。異常行動、意識障害回復、念のため静脈ラインを確保し入院。 2007/3/9 朝より解熱。入院後、異常行動なし、頭部CT検査を行い異常なし。退院とした。	
224	B07000156	14	年	女性	異常行動	2007/3/18 夕方	2007/3/18 夜中 午前	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	2007/3/18 患者は部活の遠征先で、インフルエンザを発症。(夕方)他院処方により、本剤75mg投与。 2007/3/19 (夜中・午前中)異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。(発現10分後)異常行動回復。当晚受診。	
225	B07000182	14	年	女性	異常行動	2007/2/3 2007/2/3 2007/2/4 2007/2/4 2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7	2007/2/3 23:00	○	Yes	2時間	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	不明	2006/2/3 (朝)A型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日)。(21:00)夕分の本剤75mg内服後、就寝。(23:00)突然起き上がり、声を出しながら(内容は不明)2階の窓より階下へ飛び降りた。この際母親が同室にいたが、突然の行動のため制止することができなかったとのこと。直後に両親が直で患児が寝て寝て、受けている状態を確認。ホーンとしてしている状態であったが、話し合いには返事をしていたとのこと。そのまま就寝させ、翌日には意識は全快であった。 2006/2/7 タミフル投与終了。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。 2006/2/13 意識は特に悪化せず、約10日後に軽快した。 2007/3/24 異常行動回復。(医師の転簿確認)	*
226	B07000206	14	年	男性	異常行動	2007/3/8	2007/3/8 14:00	○	Yes	—	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	No	—	Yes	—	無	(10:30)本剤75mg投与。(14:00)寝ていたら突然起き上がり、部屋中を手をゆきゆき歩き回すが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。投与薬剤全て中止。入院にてST3検査で経過観察した。(翌日)未明に突然起き上がり、上肢を1分程度バタつかせることがあったが、その後はみられなくなった。	
227	B07000215	14	年	男性	異常行動	2007/3/*	2007/3/*	○	—	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	—	不明	2007/3/19 (6:00)38.2℃。朝、インフルエンザBと診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激しく動き回り、よびかけ反応なし(10分)。その後、回復し就寝。 2007/3/20 (13:00)突然発熱し、2階から1階へおり出て行くとした。異常行動回復。(朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの軽快・軽快。	*
228	B07000218	14	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/18	2007/3/18 14:30	○	Yes	1.5hr	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	スポンをはいっていないのに「はいている」という。興奮して「死ぬ、こわい」と叫ぶ。 3月18日 13:00から14:30まで就寝。14:30から15:30まで副作用発現した。15:30から18:00まで、就寝しその後入院。	
229	B07000291	14	年	男性	①幻聴 ②異常行動	2007/3/6	2007/3/7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/3 咳、鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。 2007/3/6 38℃台の発熱がありホーンとしていたが意識正常、頭痛・悪寒があり。18:40当院救急受診。インフルエンザキットにてA型陽性と出たため、十分なインフォームドコンセントの元、本剤5日分とアシピラを処方。 2007/3/7 (8:00)母親から電話があった。当直医が対応したところ、母親が外から呼んでいるという幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたのを制止した。 その後の当院受診はなく、転帰は不明。	
230	B07000283	14	年	男性	①意識レベルの低下 ②譫妄	2007/3/14	2007/3/14 23:00	×	No	—	1~2時間	Yes	発熱持続	—	No	No	No	No	不明	(23:00)せん妄、もうろう状態発現。 トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。 夜の中で不穏動作(手をバカバカさせたり起き上がりたり)を繰り返すよう様になったため、医師が床を叩きつけていたが改善しなかった。医師が床を叩きつけていたが改善しなかった。意識は定かではなかったとのこと。症状回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例
 ＊：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中ではない×)	発熱 発現 後に発現 したか	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回服用 までの時間	一眠して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常症 等の既往	睡眠異常症 等の家族歴	光に対する 反応	性別による 「異常な行 動」の副作用 性	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように思っているのか？)	継続投 与例
231	B07000284	14	年	男性	幻覚	2007/2/14 14:00 2007/2/14 21:40 2007/2/15 朝・夕 2007/2/16 朝・夕 2007/2/17 朝・夕 2007/2/17 朝・夕 2007/2/18 朝・夕 2007/2/18 朝・夕	2007/2/14 23:45	○	Yes	2hr	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	Yes	No	No	No	睡眠時進行症 (夢中遊行)	8歳頃まで、夢中遊行(Sleep walking)がよくみられた。 10歳頃、インフルエンザA型に罹患した。アマンタジン服用。特に問題はなかった。 2007/2/13 (夕)軽い咽頭痛、37.6℃。学校で流行中。 2007/2/14 (朝)咳、鼻汁、高熱(39.7℃)、全身倦怠感、B型と診断(今シーズン はインフルエンザワクチン接種は受けていない)、(10:00)体温39.7℃、(14:00) タミフル75mg服用、(21:40)タミフル75mg服用。解熱剤は未、(21:45)就寝。 (23:45)幻覚発現(2~3分間)。本剤服用後、思いつめた表情で起きた。何か幻 覚のようなものを見て、小さな声で「助けてー、助けてー、追いかけて来る。皆、 いっばい外に出る。出ないといかない」と言い、部屋から外に出ようとした。母親 が止めようとしたがみづいたが、すごい力で止められそうになかった。父親が顔を 平手打ちすると、表情が普通に戻り、「娘、外に出ようとしていたの？」と問う た。(23:50)幻覚回復。多量に発汗して、そのまま寝た。 2007/02/15 (朝)発熱は続いていたが、普通の発熱時の表情であった。2睡性 の発熱がみられたこともあり、本剤は5日分服用したが、幻覚は14日だけであっ た。「自分が何故行動するのか」と不思議に思う気持ちはあった。特に映画 のような映像はなかった。私の「二人の自分がいる感覚だっかんか」の問いに「そ うです」の答えでした。	*
232	B07000308	14	年	男性	異常行動	2007/2/21 9:00	2007/2/21 19:00	-	-	-	1時間以内	Yes	発熱持続	Yes	Yes	-	No	No	熱性産暈	2007/2/20 夜、39.0℃の高熱あり。 2007/2/21 (9:00)本剤75mg服用。本剤を服用しても熱は下がらず高熱が維 続。24時間近く39℃近くであった。(19:00)異常行動発現。 家族の隣から階段を駆け下りてきて床で玄關から飛び出した。家 族が気づいて外を見ると、患者が田んぼを走っていた。その後、田んぼに落ちてい たが、通行していた車が気づいたことで大車には至らず免れた。その後、 バカ一にて自宅まで送られてきた際にも意識ははっきりしていたとの事。本人 に確認したところ外に出た理由はまったく覚えておらず、田んぼを走っている内 に記憶(意識)が徐々に戻ってきたとの事。その後道路に落ちていた際には記憶 は戻っていたらしい。警察が駆けつけた際には家の場所も覚えていた。その後の本 剤の服用は中止。カロナール2錠服用し、解熱。異常行動回復。 2007/02/22 5日間リレンザを処方しインフルエンザは回復。	*
233	B07002193	14	年	女性	異常行動	2007/3/20 11:30	2007/3/20 14:00	x	-	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	No	No	無	3月20日(14:00頃)目の焦点が合わない、叫び声をあげる。壁に頭を打ちつける という異常行動(非重篤)あり。すぐに当院再来。再来時は意識清明。採血上もと もに異常なし。異常行動時、本人はかすかに記憶あるも、頭を打つ続けることを 止めることができず怖かったとのこと。1回内服(1cap)したのみでその後は内服 中止し、異常行動も認めない。異常行動軽快。	
234	B07005053	14	年	男性	異常行動	2007/3/13	2007/3/13 11:30	○	-	-	6時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	-	-	無	2007/3/6 外来。急性上気道炎、咽頭炎、37.8℃の熱発あり、インフルエンザ陰 性。 2007/3/13 (10:00)39.8℃の熱発。インフルエンザB型と診断。外来、ソラクト TMR 250 ml投与。本剤、アンヒバ処方。(11:30)自宅にて睡眠時にうわごと。後、 突如起き上がり、部屋を出ていこうとしたところ、母親・祖母が押さえる。落ち着 いたが、急に何かにおびえた。 2007/3/14 (11:00)症状は落ち着いていた様子。ソラクトTMR 500 ml投与、イ スマイン1錠、スルピリン500 mg処方。以後、副作用もなく軽快良好。 2007/3/18 インフルエンザ回復。	
235	B07013254	14	年	男性	凍結 幻覚	2007/2/14 朝・夕	2007/2/15 1:00	-	-	-	30分	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/14 本剤の投与を開始。興奮(自宅の階段上り飛び降りた。けがなし、) が発現。本剤の投与を中止。 2007/2/15 興奮(自宅の階段上り飛び降りた。けがなし、)は回復。	
236	B07013395	14	年	男性	異常行動	2007/2/7	2007/2/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2003/2/7 インフルエンザ治療のため、本剤の内服を開始。服用後、ベッドの 周りを走り回った。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時 時刻	就寝中か否 か (就寝中心、 就寝中じゃない ×)	発現直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回りして 完全回復	体温	風邪の記憶	睡眠異常等 の既往	発熱 等の既往	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の作 用歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたとどう言っているのか？)	継続投 与例	
237	B03010203	15	年	男性	妄想	2004/2/4 2004/2/5 2004/2/5 2004/2/6 2004/2/6	2004/2/6	-	x	No	-	No	解熱過程	-	No	-	-	-	2004/2/4 38.8℃台の発熱が認められ他院受診。インフルエンザA型と診断。 (タミフル内服開始) 2004/2/5 (12:00頃)寝転となったが、「頭が寒くなった」と言う。 2004/2/6 「眩暈が寒くなった」と訴え、一晩中起きていた。タミフル投与を中 止。 2004/2/9 脳神経外科病院受診を紹介受診。頭部CT、脳波検査にて異常は認 めず。 2004/2/10 近区精神科を受診時「本来の自分ではない気がする…」と訴えた が、明らかな幻覚症状は認めず。 2004/2/13 盲段と変わらず会話もできるようになり、翌日には学習塾の授業に も出席した。 2004/2/15 学校へ登校したが、授業中に「世界の平和が役者によって歪められ ている。社内内幕が…」と訴え、活動も減り自宅に帰る。近区精神科 を受診。「降されるかもしれない」と訴えていたため、統合失調症の発症を疑 いValproic acid 3.3mgを筋肉内投与し、入院の必要も考えられた。 2004/2/17 当院精神科に受診。幻覚妄想を認め、同日医療保護入院。入院時 現症：簡単な会話は出来るが、会話の内容に一貫性に欠け、「僕は精神科医に ならなければいけないような気がする…」と表情を哀えずに話し続け、質問に 対して適切な応答は得られず。易怒性や不禮儀さは認めず、見当識も保たれて いた。体温38.9℃で頭部画像所見では異常は認めず、血液・生化学検査は CPK、CRPの軽度上昇が認められた以外は異常なし。また脳波検査でも基礎波として 慢波帯位に9-11Hzのα波が認められ、徐波傾向はなかった。脳波検査では 細胞数が9μVとやや多い以外は異常所見なし。インフルエンザ抗体価も1倍 未満であった。 入院後経過：神の声が聞こえてくる…。と訴え、病院内を徘徊するため、 Risperidone 1mgを投与したが、入院日の翌朝4時頃まで目覚ましチー ションを何度も注し、妄想の内容を話し続けた。また経口薬に漢字の内容 を記載し、部屋中に記載した紙を散らした。入院2日目よりRisperidone 3mgに 増量したが効果はなく4日目よりEnzaspine 20mg、levomepromazine 50mgの投 与を開始した。	無	
238	B05001829	15	年	男性	①度重 ②強妄	2005/3/20	10時過ぎ頃	2005/3/20	11:30	x	No	-	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2005/3/20 (11:30頃)強い興奮で寝たの分らないことを言いながら歩き回っ ているうち、右下肢屈曲し、右に傾き立っていらなくなり、家人が支えた。救 急隊到着時は全身硬直しており、首でかかえてストレッチャーに乗せた。入院到 着時、38.1℃、ややおっとするが(JCS)麻痺(-)、顔にやや硬直(+)、口を固 かしくい)採血、モニター装着、KNAIにて補液を開始。頭部CT：異常なし、脳 波)異常なし。(24:00頃)37.2℃。不穏となり、眠れないというためモニターはず す。	無
239	B06024227	15	年	男性	①異常行動 ②強疑	2007/2/8 2/8~2/12 2007/2/13	2007/2/13	午前	x	No	-	No	No	解熱後	-	-	-	No	2007/2/8 インフルエンザA型治療のため、タミフル投与開始(75mg×2日 2/13)。 2007/2/11 インフルエンザ軽快・回復。 2007/02/13 (午前)学校で授業中突然歌を歌う。異常行動発現。視線が定まら ず(視線が合わない)早退。帰宅後も睡眠傾向となり、自宅静養。(JCSで2ヶタ以 上というわけではない、JCSはほぼ1) 2007/2/16 (午後)症状続くためA病院より紹介。採血、検尿、脳CT異常なし。 MRI、脳波は過剰興奮して数時まで覆れなかったが、覆れた分は異常なし。 精神科入院、ワルファリンの投与。 2007/2/17 (6:00)自ら投針し、病院内を興奮して暴れていると報告。父母と相 話し、外出一外泊とする。 2007/2/19 (午前)病院にて脳SPECTの検査を行うが、やはり興奮して不可能。 父母への暴力行為もあり、再び外泊とする。 2007/2/21 父母に観察の下、夜校を開始。 不明 家でテレビをみても10分もすると「疲れた」というなど、集中力低下が 主体となった軽度の症状へ変化してきている。 2007/2/23 随治退院とする(本人が病院に戻りたくないと言って聞かない様 子)。家では夜間、父母と共に睡眠したが傾向(これまでは全くなし)、父母が外 出すると「早く帰ってきて」と携帯電話にかかってくる。(これも今までは全くなし)た だ、彼々に集中力や視力は回復しつつあるようで昼にも行くようになってい る。入試前のテストがあった。 2007/2/26 2/13以降の一連の行動を自覚しはじめ、全く覚えていないと言 う。この頃より学校の授業を受ける様子が戻ってきて集中力が出てきたと担任より 報告あり。 2007/2/28 入試前テストが返却され本人も驚くほど低い点数だったとのこと。 2/28~3/1の時点で父母から見ても、全く正常に戻ったと評価している。しばらく、 異常行動がみられていたことで、学校で友人に冷た(されていた時期)があり、 本人もそれに対するショックが今は大きいようだ。父母から確認のMRI、脳波 は遠慮したいと申し出あり。	無	
240	B08024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17	長 22:00	①2007/2/18 ②2007/2/18	1:00 7:40	x	No	-	7時間	-	発熱持続	Yes	No	No	-	2007/2/17 学校の保健室より39℃の熱があるので早退させますが、今日病 室に連れて行きますか?と母親へ電話。母親が寝ておいて、その足でA院へ 行きインフルエンザと診断。(薬)タミフル服用。(22:00頃)タミフル服用。 2007/2/18 (1:00)悪夢を見た。暴れた(本人より)。しかし、雨は暴れた姿を見て いない。目がすわっていた。異常行動発現。(7:30)再度暴れた。玄関のドアを開 けようと思ったが、倉所へ行って包丁を持った。流しの前で包丁の 刃を自分に向けている姿を母親が発見した。包丁は足元に落とす。家族には 自殺行為に見えたとのこと(親を刺そうになったから自分に刃を向けた。とこ ころ記憶ある。全ては覚えていない。)(7:40)自殺未遂発現。(7:55)救急車へ 電話。(8:05)病院救急外来に到着。38.7℃。タミフル中止。(8:40)自殺未遂軽 快。異常行動軽快。 (時間不明)体温:39.6℃ 2007/2/19 かかりつけの〇院来院。体温:38.4℃。	無

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：接種後後に異常行動を含む精神神経症候群を発生した事例
 *：接種後後に異常な行動を含む精神神経症候群を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	意識 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	保護者等 の記憶	保護者等 の家族歴	発熱に対する 反応	他剤による 異常な行動 の副作用 あり	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	接種後 事例
241	B06026299	16	年	女性	①便秘 ②発作 ③異常行動	2007/3/13 2007/3/14	2007/03/14 21:00	-	-	15分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	不明	2007/3/12 初来院時はインフルエンザキットで陰性だったため、フロモックスとPA薬を処方。 2007/3/13 翌日になっても熱が下がらず再来院。その際、インフルエンザと診断し本剤75mg×1/日の投与開始。 2007/3/14 (不明)タミフル75mg×1/回投与。(19:00)タミフル75mg×1/回投与。(21:00)夜になり便秘(非重篤)・手の震え(非重篤)が15分続き、その後寝た。起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発作が発症。 2007/3/15 翌日には全身に発疹がひろがり他院へ紹介し入院になったため、その後の経過は不明。	
242	B07000085	16	年	女性	異常行動	2007/3/6	2007/3/7 1:00	○	Yes	2時間半 3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	無	2007/3/6 (10:00)体温38°C。(11:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤75mg、カロナール200mg投与。(22:00頃)夕食後タミフル75mg投与。(22:30頃)就寝。 2007/3/7 (1:00頃)眠っていたが、大声を出し突然起き上がりて大声を出し、部屋中をワロウロ走り出したため、家族が制止した。目つきも狂しかった。異常行動発現(〜2:00)。(2:00〜5:00)臥床し多弁。(5:00)就寝。(11:00)覚醒。異常行動回復。本剤投与中止。 2007/3/10 インフルエンザ軽快・回復	
243	B07000079	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ②2007/3/18	①13:30 ②10:00	①2007/3/15 ②2007/3/18	17:00 11:30	-	No	15分	Yes	-	No	No	No	-	No	3月15日 17:00異常行動発現(トイレに行くといつて玄関に歩いていったので家族が止めた)。その後寝た。3月16日 11:30異常行動が発現、トイレで母親が死んだ、怖い人が来ると大声で叫び顔を打ち倒れる。	※
244	B07001008	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	2007/3/7 1:30	-	-	数秒	-	-	Yes	No	-	-	-	No	なし	2007/3/6 (17:00)38.7°C。(夕方)他院に来院。インフルエンザA型確定。タミフル75mg/日投与開始。 (19:30)タミフル75mg服用。 2007/3/7 (6:30)母親就寝。このころの患者本人の申告として、「何かに追いかけてる夢を見た」「12階から飛び降りた感じがした。」「13:00頃からガラスの窓と両手をあてて、目覚めた。」「飛び降りた瞬間に意識が戻った(患者本人の申告)。(8:30頃)自力で自宅に戻り、家人(同居)に連絡(患者本人の申告)。(8:02)当院に緊急で搬送。CT(脳)、レントゲン異常みられず帰宅。幸い死亡はなかったが、怪我もほとんどなかったが、一歩間違えれば大怪我になりかねなかった。 2007/3/13 インフルエンザ軽快・回復。	
245	B07000259	15	年	男性	異常行動	2007/3/2	2007/3/3 5:00	○	Yes	6時間	4〜5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/2 (午後)発熱。熱38°C程度でB型インフルエンザとキット診断。(20:00)自宅で、食後に本剤75mg×1/日の投与。 (21:00)就寝。 2007/03/03 (5:00頃)朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの欄を越え飛び降りようとしたが、母親が制止した。『どうしよう！』『飛び降りんちゃ！(飛び降りない)』など意味不明な言動と挙動不審が1時間程続く。(6:00頃)再度就寝。(6:00)起床。(9:00)熱37.1°Cで意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い状態だった。本剤1回で投与中止。解熱剤等の投与なし。母親が当院の看護士という事で、9:00(意識は回復と判断した)に当院へ連れて来た。(9:13)医師が正常と判断。異常行動回復。(午前中)院内で経過観察した。体温は測定せず。	
246	B07001358	15	年	男性	異常行動	2007/3/3	2007/3/3	-	-	-	No	Yes	-	-	No	No	-	No	無	2007/3/3 インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg投与開始。薬を飲しが、親の首を絞めた。異常行動(非重篤)発現。内服を中止し、経過観察のみ。 2007/03/04 異常行動回復。	
247	B07001870	16	年	女性	①意識消失 ②異常行動 ③大発作虚像	2007/3/19	2007/3/19 23:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	3月19日(23:00)異常行動(風呂場)に行き、浴槽で頭を打ちつける行動が発現。少し出血した。父親が止めに入る。失禁も認められる。意識清明まで、5、8分。その後、意識発作10秒認める。 3月20日(2:30)トイレに行った時に脱力し、意識消失(刺激を与えても反応なし)を認らし、呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーとした状態。	
248	B05021030	16	年	男性	躁狂	2005/12/27 2005/12/28	22:00 朝	2005/12/28 14:30	×	No	2hr	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	(14:30頃)弟と口論。興奮状態となり、弟を「殺す」「自分も死ぬ」などの発言もあり、弟達が包丁などを全て隠した。その後本人は自宅を飛び出し、その後しばらくして自宅に戻った。(自宅を飛び出した時のことは憶えている)その後解熱し、精神興奮、異常行動は見られていない。	
249	B08025041	16	年	男性	①便秘 ②異常行動 ③突発性虚像	2007/2/22~	不明	2007/2/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	①感情、目つきが分かりにくい。動作やや遅慢。ボーとして居る。 ②いきなり立ち上がりボーとしており、母親が声をかけると「わからへん」と返事。部屋で眠っていて急に起き上がり、廊下の電気をつけたが下に降りずにまた寝て寝てしまふ。寝たから食事はずれずお茶をまんべんなく食べるのに、一加すつ付けたいという言葉を述べた。食べた。どうやって備ったのか覚えてない。学校への連絡がわからない。	
250	B08025191	10	年	男性	譫妄	2007/2/14	2007/2/16 21:45	○	Yes	-	15〜20分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2007/2/14 当院にて姉がインフルエンザB型と診断され、タミフル処方。同居人が高熱を呈した場合、成人であれば本剤1錠服用して、医療機関受診を指示。 2007/2/16 本人がインフルエンザ症状(39°C近い発熱)が出たため、受診時に処方された本剤を1錠服用。(18:00)当院に来院。問診検査でB型と診断。本剤処方。(21:45頃)意識障害(せん妄状態)(非重篤)発現(約30分間持続)。(22:00頃)あふれ出すようになったが自宅に入った。せん妄状態にも39°C近かった。(時間不明)回復してはいたが家族が興奮、外傷などはなかったが、中絶から生まれた様子で本人は記憶なし。また熱が出ていたので本剤15mg服用。その後就寝。せん妄状態回復。 2007/2/17 本人、母親が来院。ロキソニン等を処方。(熱38.9°C)	※

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じやな い：×)	覚醒直 後に発現 したか	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	神経系等症 等の既往	神経系等症 等の既往	先に 対応	他剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動に 関する既往歴	継続投 与別		
251	B08025425	16	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夜間	○	Yes	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2007/2/23 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg内服。夜間着、ボツとした感じでベランダの方に行き帰ってこない。家人が出てみたところ、失踪しており、ベランダ(2F)から飛び降りたものと考え、周辺を捜索した。発見できなかったが、寝た本人が寝足のまま帰宅し事なきを得た。本人はこの間の事を全く記憶していない。	
252	E03000240	18	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/7	不明	2007/3/7	8:40	○	Yes	-	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/3/5 (朝)39.2℃。本剤は投与OKです。(8:20)他院から電話で「A型Flu、39.8℃。本剤は投与OKです。」。タミフル75mg×2/日の投与開始。 (8:30)39.8℃。(夜)39.1℃。 2007/3/7 (朝)タミフル投与。(8:40)異常行動、せん妄状態発現。暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。(8:00)他院から「今暮れていて居る。救急で当院へ搬送。病歴は不明。(8:30)異常行動、せん妄状態回復(意識は不明)。(9:00)当院到着。少し落ち着いているが不安定。回復後、発熱に右中心部にスパイク、基礎リズムやや不規則(8ヶ月前の縮流より良好であった)。点滴リタナT3 500mL、ピタミンB、C、セルジニン10mg1日2回投与。全く普通になって帰宅。	
253	B07003912	16	年	男性	①異常行動 ②疲労	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28	夕	2007/2/24	21:00	-	No	-	Yes	-	-	-	-	No	No	No	2007/02/24 インフルエンザA型と診断。本剤75mg×2回/日処方され、夕方より本剤開始。(21:00)発熱もおさまっていないのに、とにかく走り回ってしまいがちな気分となり、妻を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。本剤服用後2時間後に出現。発熱38.6℃(覚醒時) 2007/02/27熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない。寝ていなくてもならないしんどさ(非重篤)が続いた。 2007/02/28 朝、本剤内服後投与終了。 2007/03/07 食欲はあるのに、とにかく寝ていなくてはならないしんどさは回復した。	*
254	B07005448	16	年	男性	異常行動	2008/12/22 2008/12/23 2008/12/23 2008/12/24 2008/12/24 2008/12/25 2008/12/25 2008/12/28 2008/12/26 2008/12/27		2008/12/23	4:00	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	-	2006/12/22 (8:00)発熱、倦怠感あり。長校(高校)する。(16:00)午種から自費めたら、40℃の発熱あり。(19:00)来院。インフルエンザ確定診断実施。結果：FluB サンプル採取箇所：鼻腔 発症時自覚所見：発熱(40℃)、関節痛、倦怠感 本剤75mg×2回/日処方。夕方より内服開始。 2008/12/23 (4:00)急に起き上がり、靴も履かず寝着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分程度で帰宅(コンビニは幹線道路に面しており、夜間でも交通量がある)。その後再び就寝。(10:00)起床。39℃台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。 2008/12/28 インフルエンザ：軽快・回復 2008/12/27 本剤期内服後投与終了。	*
255	B04007197	17	年	男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	-	No	2004/2/2 インフルエンザA型と診断。発症時に認められた自他覚所見：発熱、咳嗽。タミフル処方。夕方、自宅2階より道路に飛び降りたために両下肢骨折す。救急車にて入院となる。	
256	B04008396	17	年	男性	異常行動	2004/2/5	13:30	2004/2/5	15:45	○	-	-	1時間45分	-	-	-	-	-	-	-	2004/2/3 咳、頭痛発現。 2004/2/4 (15:00)39℃。(夕方)受診。体温：39.3℃。インフルエンザ判別テスト陰性。インフルエンザ流行のため、シムドレール、抗生剤など処方。 2004/2/5 (午前)発熱、頭痛、咳、鼻汁あるも普通に起床とれた。午前本院受診。体温：38.8℃。インフルエンザ判別テストA型(+)、B型(-)。点滴中はマンガの本を読む。父が迎えに来た。本剤を昼食後に服用し、シムドレールは中止する。本人に伝える。(13:30)父と一緒に昼食をとり、本剤内服。いつもと変化はない。(14:00)自宅留守番しながら寝る。 2004/2/5 (15:45頃)突然、素足で裏口から自宅を(雷降っていた)飛び出し、1m以上のコンクリートべいを飛び越え線路を横断し、国道のガードレールも越え、走ってきたトラックに身を投じた。救急で病院へ搬送されるも胸部外傷によるショック死と診断される。	調査不可能
257	B05021111	17	年	男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	-	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	2004/1/22 A型インフルエンザ治療のための本剤投与開始(150mg/日 ~1/28)。夜、家人を見て「怖い、怖い」とベランダから逃げるような行動をとり、救急外来を受診。発熱妄想と置かれ帰宅。CT、EEGは異常なし。妄想発現(非重篤)。 2004/01/23 妄想回復。	*
258	B07000087	17	年	男性	①異常行動 ②自殺企図 ③舌の麻痺	2007/3/20	13:00	2007/3/20	16:00	×	Yes	-	約3.5時間	Yes	-	No	No	No	-	No	洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分程叫ぶ。 その後、リビングを駆け回り、ピアノを踏み、 「もうダメだ、どうにもならない、外に出ない」と叫ぶ。	
259	B07004079	17	年	男性	異常行動	2005/11/28 2005/11/28 2005/11/29 2005/11/30 2005/11/30 2005/12/01 2005/12/01 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/03	19:30	2005/11/28	21:30	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(19:05/11/29)夜突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としつかりした口調で答えるし、意図もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンションのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時口では「大丈夫」と言っていた。 2005/11/29 異常行動回復。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発見した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発見しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中・○、 就寝中じゃない×)	発熱 有無	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 異常な行動 の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかという点について)	継続投 与例
260	B05025437	18	年	男性	異常行動	2008/1/11 10:00, 18:30	2008/1/11 21:00	○	Yes	-	-	-	-	No	-	-	-	-	2008/1/10 (夜より)発熱。 2008/1/11 (10:00)学校早退し初診。39.1℃。インフルエンザAにて本剤処方。 帰宅後タミフル(75mg)内服。 (18:30)タミフル(75mg)内服。(21:00)突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分 後に戻る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2008/1/12 (10:00)38.7℃。外来受診。本剤内服中止(本剤以外は続行)。異常 行動回復。 2008/1/14 インフルエンザ軽快・回復。		
261	B06026848	18	年	女性	①転倒 ②自傷行動	2007/3/23	朝	×	-	-	-	-	解熱過程	Yes	-	-	-	-	朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになった。翌朝、2階の窓より 飛び降りて胸腰椎を圧迫骨折。診断は胸椎第一・第二骨折及び頸椎第一・第二・ 第三圧迫骨折。入院後、母は手首のリストラットの傷に気づいた。		
262	B07013137	18	年	男性	異常行動	2007/3/13 2007/3/14	夕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与し、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)A型インフルエンザ(体温39.2℃)に対して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 家から飛び出していた。本人は何故家から出たかの記憶がない。 走って飛び出たのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの 事。本剤の投与を中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。		
263	B07013376	18	年	男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	不明 (夕)A型インフルエンザに対して、本剤75mg内服。本剤初回投与4時間 後、異常行動発現(非重篤)。暴れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 投与2日目 (夕)本剤75mg内服。本剤2回目投与後も暴れるが、父親が確保。 投与3日目 (朝)本剤75mg内服。本剤3回目投与時には症状は発現しなかつ た。(夕)本剤75mg内服。本剤3日服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の 異常行動について本人の記憶はなかった。	※	
264	B05022154	19	年	男性	①落ち着きのなさ ②激怒	2008/1/11	12:30	-	Yes	-	3~4分	Yes	-	No	No	No	No	No	突然激怒し、大声を出し、不機嫌。興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、隣室などを し、テレビを割る程投訴した。この間3~4分間の出来事である。その後正気に戻り、家 人が出血した両手甲の処置を行い、落ち着いた状況となった。		
265	B06005344	19	年	女性	①健忘 ②自傷行動	2008/2/1~ 2/5	朝・夕	×	No	-	5時間以内	Yes	-	No	No	No	No	No	インフルエンザ発症時に認められた自他覚所見：発熱(37℃)、頭痛、咳、鼻症状 (鼻水、鼻づまり、しゃみ)、倦怠感 2008/2/3 A型インフルエンザ治療のため、タミフル75mg×2日/日の投与開始(確 定診断未実施)。(午後)受診後、高熱。 2008/2/5 (00:00)友人と1時間位電話をしたが、電話したことも内容も憶 えていない。自傷行動(リストカット)(非重篤)、記憶消失(非重篤)が発見。(午前 1:00頃)就寝。(午前5:00頃)自覚めると左手首の切り傷に気づいたが、切ったこ とも憶えていない。自傷行動(リストカット)、記憶消失は回復。その後再発なし。 2008/2/6 インフルエンザの軽快・軽快	*	
266	B07007066	18	年	男性	異常行動	2007/5/17	20:30	○	Yes	-	-	No	発熱持続	No	-	-	-	No	2007/5/16 (昼頃)発熱、咳、鼻汁の症状があった。 2007/5/17 (18:19)当院救急外来受診。その後の検査で、インフルエンザ(A型) と診断。発症時に認められた自他覚所見：発熱37.9℃、咳、鼻症状(鼻水、鼻づ まり、しゃみ) (20:30頃)当院で本剤75mg×1日、カロナール200mg×1日(発 熱時頓用)を服用し帰宅した。(21:30頃)夕食となったが、その時すでに食事をこ ぼしたり、うつろ状態でおかしかったと嫁の弁。異常行動発現。 2007/5/18 (0:30頃)就寝していたが突然起き上がり、大声で叫んだり、わめき 騒いだような状態で、家族の制止聞かず自室から出ていこうとするような異常 行動あり。(1:37)母親の通報で当院に救急車で搬送された。経過観察が必要と 判断し即入院となった。(本人は前後の異常行動を全く覚えていない) 入院後は 経過観察のみ。(19:00)問題なし。退院。異常行動軽快。 2007/5/20 当院外来受診。発熱37.9℃。聴頭症はあるが、症状は軽快しその 後の異常行動はなかった。インフルエンザ軽快・回復。		
267	B05023216	20	年	男性	被害	2008/01/21 1/22~25 1/26	夕 朝・夕 朝	-	No	-	-	No	解熱過程	Yes	No	No	-	No	1/22、23：夜、全く眠くならず、ゲームが楽しくて仕方なかった。寝ようとしてもソ フトで寝付けなかった。 1/24：攻撃的になり、家人に暴言を吐いた。 1/25：思い立って親戚の家に出発したり、歩き回ったりした。色々な考えが頭の中 をぐるぐる回っている感じがした。嫌悪の内容も劇に入ってしまった。 1/26：株を買おうと思いついた。銀行に行ったが証しが通じなかった。		
268	B06022661	20	年	男性	①異常行動 ②過換気	2007/2/4	不明	×	No	-	5時間	Yes	解熱過程	No	-	-	-	No	不明 2007/2/4 (11:25)救急外来受診。昨日より鼻汁が出た。本日起床時より、 悪寒、関節痛が出現。BT:38.6℃、鼻汁(+)、咳嗽(-)、頭痛(-)、顔面リン ノ節腫脹(-)、インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg×1日/日投与開始。 2007/2/5 (1:52)異常行動、過換気症候群発現(非重篤)。寝ようとした急に不安 になって、叫びだしたりしたため救急外来受診。意識清明。座れなく立って動 いている状態。右手のしびれがある他は神経学的所見(-)。BP:106/66、BT: 35.9℃。paper bagにて加療。(7:00)約5時間睡眠後、症状落ち着いた。異常行 動軽快、過換気症候群回復。安定剤希望。カームダン錠0.4mg 1T 1回分。(8:58) 症状落ち着いている。聴頭発熱(+)、心音、呼吸正常。 CRP定量:6.6、WBC:97.1×10 ² /μL。本剤は中止。カロナール錠200mg 2T 1 × 4回分処方。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：経投投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
 *：経投投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じやない×)	意識 喪失に 関する	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠薬投与 等の既往	解熱薬投与 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の動作 履歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	経投投 与例		
269	B07013249	20	年	女性	①薬 異常行動	2007/4/2	18:40	2007/4/2	服用後、数 時間	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	無	2007/4/2 18:30頃 母親が来局。患者は発熱(38.5℃)のため車の中に入った。A型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。帰宅後すぐに「お父さん分として本剤とカロナールの服用を指示。18:40頃には服用したと考えられる。服用後、数時間でうわごと、フラフラと無意識に歩行。(この段階では高熱状態継続) 2007/4/3 母親、患者の判断により、本剤の投与を中止。熱はほぼ平熱に低下。本剤、カロナール以外の薬を投与継続。午前中に、地方医療診、昨晩の症状・行動について連絡。セフゾンカプセル100mg3cap、3×ndE 4TD処方追加となる。異常行動は回復。 2007/4/9 インフルエンザ完治を確認。			
270	B07003477	23	年	男性	異常行動	2007/1/24	不明	2007/1/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	統合失調症 (疑い)	他院にて処方(クレミン(25)、リスパダール(2)、アキネトン(1)、ベケタミン、ベンザリン(10)、テグレート、ロヒプノール(2)) 2004/6/24(午前中)高熱39℃(インフルエンザ)にて当院来院。インフルエンザ検査にて、A型インフルエンザと診断。シメトレリル錠 2×3T、ムコソルビン、フロキサソン、ムコスタDT、カロナール(頓用)DT、17T(頓用)投与。精神病棟を退院している。シメトレリルから本剤に変更する。(精神神経症状について十分な説明の後、本剤1cap服用するように指導され処方する) 帰宅し本剤0.5mg×1/回服用後、自宅マンション2階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 (患者情報)もともと熱を出すフラフラする体質で、異常行動を起こす前にもめまい等起こしている。			
271	B07013331	23	年	男性	異常行動	2007/2/10													無	2007/2/10 インフルエンザ陽性に対して、本剤の投与を開始。投与開始後5~6時間後(夕方)に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼーっと立ってぼんやりしている所を親が見た。その後意識は回復した。患者はその事を覚えていないとのこと。			
272	B07003168	24	年	女性	①異常行動 ②感情不安定	2007/4/17 2007/4/18	朝夕	2007/4/18	23:00	-	No	-	2~3時間くらい	Yes	発熱持続	Yes	No	-	No	不明	4月18日(23:00)異常行動、感情失調発現。吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自刺しようとする意識もあるが、走り出した自分を止められず(自覚症状あり)、部屋の中で寝てしまっていたが、1階に下りて母親に「助けて」と訴える。 4月19日(00:00)母親に連れられて来院。その後、大声で笑いがとまらない。そのうち笑いが止まらなくなり、これに対して泣きだした(1:30まで)。発熱(39度)も多少あり(なぜか急にきたかわからない)。入院。入院後も泣き続けていた。(6:00頃)ほぼ元通りの人格に戻った。		
273	B08023316	28	年	男性	自殺企図	2008/1/20	不明	2008/1/20 2008/1/21	23:30~ 24:30 寝中	約2時間後	約2時間後	10分 約2時間後 に再び異常 行動。程度 は一、持続 時間は10分 程度	No	発熱持続	Yes	No	No	-	No	無	2008/1/20 インフルエンザ治療のため、タミフル75mg×2/日処方。(00:00)38℃にてボルタレン坐剤使用(本薬処方ではない本人手帳)。タミフル75mg服用後(1回目)、異常行動(自殺企図)発現。夜半に起床し玄関まで出て、マンションの入り廊下(階段3F)に落ちようとしたため、患者の奥様が止められたところ、何かに追われながら「お前にお申しあげない、死んでから謝ろうと思った」ということを発言。異常行動は10分で回復。落ち着いてから謝罪を正すと、自分がこの行動の記憶があると。当時不安になるような心当たりは全く無し。(9:00)38.6℃ 2006/1/21 約2時間後に再び異常行動。程度は不明。持続時間は10分程度。		
274	B03001089	28	年	男性	気分変動	2003/1/3	20:00	2003/1/3	20:10	x	No	-	2~3時間	Yes	-	Yes	-	-	No	無	2003/1/03 体温:39.5℃。痙、嘔吐感、下痢症状あり。精神状態は特に異常なし。インフルエンザと診断。(20時頃) タミフル(75mg)1Cap、ケシカド(200mg)1Tab、ケシカドE 1CapとオキニルシR 2Tab 服用。(20時10分頃)気分変動あり。頭の血管が切れそう感じ。何をか分からない(例えば刃物を振り回すかも知れない)感じが出て、妻子に遠くへ連れて行くように言った。玄関の辺りで、ドをけとばしたりしていたが、その後倒れていたの模様。妻が行った時、眼は閉じており返事もなし。この頃、積んでいた救急車が来て病院へ搬送。到着時はかなり意識が落ちていた。輸液などうけて、1時間後には帰宅。(他院における追跡調査不可能。以上は翌4日に電話連絡時の話)その後、症状回復。以後の本剤投与は中止。		
275	B07001666	30	年	男性	異常行動	2007/3/28 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/31 2007/4/1	不明	2007/3/31	午後	○	Yes	-	No	-	No	No	No	-	No	無	3月28日本剤投与開始。 3月31日(午後)寝ていきなり起き上がり、包丁を持つ。 4月1日(午後)寝ていきなり飛び起きて、外に出て道路に飛び出した。以後も似た感じが続く。夕食後分のタミフルから内服中止とした。インフルエンザ検査。 4月2日以後徐々に意識清明となってきた。 4月3日異常行動回復。	※	
278	B08025192	32	年	男性	異常行動	2007/2/22	20:00	2007/2/22	24:00	○	-	-	3時間後	行動直後	Yes	-	Yes	-	-	No	無	2007/2/22 (16:00)発熱のため、当院来院。インフルエンザA型と診断。タミフル(75mg)2cap、分2、5日間処方。(20:00)タミフル75mg服用。発熱(39.0)継続。(0:00)何とも覚えられないような気分。動悸等があり、不穏状態となる。ベランダのある居室に行き、電燈を著け、窓と入り口の扉を行きつ戻りつして、結局、ベランダに出て地上に落下。(騒乱状態になり、自宅の2階から飛び降りて足を骨折)この間、気分悪化もあるが制御できず、転落後意識清明となり、救急病院を受診。左足後方骨折あり入院となった。入院後意識清明。不穏行動なし。入院時には高熱はなかったと聞いた。発熱時から内服薬として処方したロキソニンを服用したかどうかは不明。この日家族はいなかった。 2007/2/23 (0:00)手術のための処置。その際意識もはっきりして、体温も36℃台であったと当日直営の医師談。 2007/2/27 右足骨折、手の怪我のため、整形外科で手術。 2007/3/01 入院中。意識レベルは正常。異常行動回復。 2007/3/8 手術。 2007/03/14 退院。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時期	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中・O、 就寝中じゆん い：X)	覚醒直 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族症	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往症 の有無	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たように感じたのか？)	継続投 与例	
277	B06026628	32	年	女性	①眼痛 ②嘔吐 ③頭痛 ④関節痛 ⑤発熱 ⑥意識消失	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13	10:00 18:00 朝	2007/3/12 22:00～翌 8:00	O	Yes	-	3時間	Yes	-	No	No	No	No	Yes	無	2007/3/3 親戚のインフルエンザ陽性の子供と接触。 2007/3/8 咽頭痛、鼻水、痰等の症状始まっている。 2007/3/11 発熱38.5℃。市販のツムラ葛根湯液服用。 2007/3/12 当院初診。受診時症状：全身倦怠、全身痛、関節痛、食欲不振、体 温37.1℃。インフルエンザA型と診断。点滴：ゾリタ3 200mg、VC500mg+オベ ロン1A+セタファン(25)1A+リコシン300mg、(1000)点滴終了後、タミフル1カプ セル服用。(17:00～21:00)就寝。(19:00頃)タミフル1カプセル服用。 (22:00頃)目覚めて、次に気がついた時はトイレに坐っていた。フロンからトイレに 行った間の行動の自覚なし(無意識状態)。意識消失または一過性健忘発現。その 後、(翌)3時間前に自覚した(3回)が、これらは全部行動がつかっていた。 2007/3/13 (8:00頃)発熱消失たは一過性健忘回復。本剤服用。起床時より 右足関節痛が歩けないくらい痛んだ。足関節痛(非重篤)発現。その後、強い頭痛 痛(動かすとガングする、非重篤)、腰痛(非重篤)、ツワツワする感覚があり、 この症状は1日中続いたのでタミフルは服用せず。(20:00頃)涙になって 入浴した時、異常な脱毛(通常よりも多いと感じた)を認めた。しかし初診時 の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/14 (20:00頃)脱毛軽快。 2007/3/15 頭痛(非重篤)、腰痛(非重篤)軽快。 2007/3/3 その他、右足関節痛続くので整形外科受診するも骨X線異常なし。 2007/3/19 脱毛症状なし、神経症状等なし。足関節痛みは特に朝方強く感じ る。足関節痛(非重篤)未回復。インフルエンザ軽快・回復。	*
278	B07013314	32	年	女性	幻覚	2007/3/30 2007/4/1	夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/30 インフルエンザに効いて(体温37.4℃)で、本剤75mgを内服開 始。 2007/3/30 (夜)幻覚がみられた。(階段をかけた下り。) 2007/4/1 口内炎が発現。 2007/4/1 本剤の投与を中止。 2007/4/5 幻覚は回復、口内炎は軽快した。 2003/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル150mg/日(分2)を朝より投与開 始。 2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与中止。 2003/1/24 (10:00)幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。ア ロファラム5mg錠投与前投与開始。 2003/1/26 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消退。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/06 アロファラム投与終了。	*	
279	B03000831	35	年	女性	①知覚過敏 ②不安 ③不眠症 ④発熱 ⑤幻覚	2003/1/21 ～1/22	不明	①2003/1/24 ②2003/1/23 ③2003/1/23 ④2003/1/24 ⑤2003/1/24	-	-	-	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与中止。 2003/1/24 (10:00)幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。ア ロファラム5mg錠投与前投与開始。 2003/1/26 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消退。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/06 アロファラム投与終了。	*	
280	B06026663	40	年	女性	不思議の国のアリス 症候群	①2007/3/15 ②2007/3/16 ③2007/3/18 ④2007/3/17	①17:00 ②18:30 ③17:00 ④18:30	2007/3/15	X	No	-	30～50分	No	-	Yes	No	No	No	-	ウイルス性脳 炎	2007/3/14 寒熱、関節痛にて発症。インフルエンザB型と診断。 2007/3/15 (17:00)自宅に帰りタミフル75mg×1/回服用。(18:00)投与後比較的 早く浮遊感「どっも気分よい感じ」が出現。多幸感を伴っていた。このためウ キウキして室内を歩いていたところ「鳥が見えた」(幻視)。これに誘われるように 4Fベランダ(患者宅はマンション4F)に出て下を見たら「地面がどても近くに 見えた」(遠近錯覚)。これら一連の異常行動は不思議の国のアリス症候群に至 る。夫にみとめられ布団に戻され事なきを得た。(22:00)就寝。(翌日9:00起床) 2007/3/16 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。(17:00)タミフル75mg×1/回投与。 不思議の国のアリス症候群回復。 (22:00)就寝。(翌日9:00起床)。 2007/3/17 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。症状軽快。本剤中止。 2007/3/21 インフルエンザ回復。 2007/3/24 当院はこの件が報告され、デンカ生研製インフルエンザCF法(B)に て16倍の抗体価を得た。	*
281	B06026707	45	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1	18:00 23:00 不明 不明 翌夜 朝	2007/2/28	X	No	-	-	-	解熱後	No	No	No	-	No	不明	2007/2/28 37.6℃の発熱にて来院。A型インフルエンザの診断にて本剤75mg ×2回/日処方。(18:00)夕食後、タミフル内服。 (23:00)タミフル内服。 2007/2/27 朝、35.7℃に熱は下がりに回復に向かう。夜、気分が高揚し、早口の 自分に気付く。夜は寝付けなかった。 2007/2/28 歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでのちに気付く。また、踏 切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。 意識障害発現。翌夜、本剤服用。 2007/3/1 朝、本剤服用。現在、若干気分は興奮を感じる。症状は声がけれと 鼻水のみ。本剤中止を指示。患者は、なぜ本剤で自殺するのか、今の自分はな んとなくわかると言っていた。 不明 意識障害回復。	*
282	B07000244	48	年	女性	錯乱状態	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20	不明	①② 2007/3/20 ③2007/3/20 ～3/21 ④2007/3/21	-	-	-	No	No	解熱過程	Yes	-	-	-	-	無	①何度も外出しようとする。 ②訳のわからないことを言う。 ③奮動が著しく異常。朝頃動けなくなり、寝たままで大声で意味不明なことを話 す。 ④錯乱状態。立てない。失禁あり。呼びかけに返事するが、すぐに大声で話し始 める。水分取れない。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	発症直 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一服して 完全回復	経過	患者の記憶	医師等 の既往	医師等 の家族歴	発症 に対する 反応	他剤による 異常な行 動の既往 の有無	異常な行動に 関する既往歴 の有無	異常な行動の具体的な経緯 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたようにも言っているのか？)	継続投 与例	
283	B05004486	49	年	男性	死亡	2006/2/17 2006/2/18 2006/2/18 2006/2/19 (18日の夜は 不明)	夜 間 夜 間	2006/2/19	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2003/7 胸外心臓、突発性心臓病にて当院循環器科を受診しており、アスピリン、バイアスピリンを投与されていた。 2006/2/17 (18:20)発熱、39°Cの発熱、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感を伴いタミフル15mg×2日(18:20)を投与(→2/19)、不安、精神神経系の症状はみられなかった。 2/20に子供がインフルエンザA型に罹患している為、インフルエンザA型だと推定される(確定診断はしていない)。 2006/2/19 (20時頃)家人に気づかれる様で外出した。 2006/2/20 捜索断りを警察に出される。自宅より30km離れた海の岸壁で車を発見。人が海に落ちた形跡があった。 2006/4/28 海中より死亡した本人が発見された。		
284	B08026847	49	年	男性	自殺企図	2007/02	不明	2007/02	処方1週間後	○	Yes	-	No	Yes	解熱過程	No	Yes	No	No	No	2007/2/14 インフルエンザ予防のため、本剤75mg×2回/日処方。 2007/3/8 夜中に飲酒。 2007/3/9 (6:00頃)自殺企図。首をつろうとしていたのを家族が発見。頸動脈血検を治したばかりで、自殺するとは考えにくい。自殺前に本剤内服していたかは不明。現在、精神科に入院中。	(黒點脈血検査)
285	B05025724	51	年	男性	①自殺既遂 ②精神症状	2006/3/7	19:00	①2006/3/8 ②本剤内服前	①8:30 ②未記載	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与。精神症状の強い発現。 2006/3/1 救急外来に来院。肺結核後遺症(陈旧性肺結核)に伴う慢性呼吸不全に感傷を合併したため、観察・治療法目的で入院。体温:38.1°C、血圧:120/82mmHg、脈拍:149/分、呼吸:40/分、SpO2:96%、インフルエンザテスト(-) 2006/3/8 体温:38.1°C、インフルエンザテスト(-) 2006/3/7 経過は良好であったが、院内でインフルエンザに感染。(18:00頃)両下肢のしびれ感の合併があり、前者の健康に關して全般的に不安を訴えていた。(19:00頃)体温:39.2°C、鼻腔粘膜の迅速検査でインフルエンザA陽性確認。発症時自覚覚醒、発熱(39.2°C)、咳、倦怠感、食欲低下、タミフル75mg、ナゾ1600mg内服。(22:00)体温:37.3°C 2006/03/08 (5:00)生存を確認。(6:30)病状不在を確認。自殺目的で4階自病室前のベランダから飛び降りた。(7:30)自病室前の路上に倒れているを発見されたが、死亡していた。自室のノートに遺書あり。	①②無
286	B07000264	51	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/8	夕	2007/2/8 2007/2/7	19:30 2:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/8 (9:30)頭痛で当院受診。インフルエンザ検査(-)、タミフル、プレシリン、クロリアミン投与。受診後、出張。(昼)タミフル75mg、プレシリン1錠服用。(夕方)40°C程の発熱により、タミフル75mg、プレシリン1錠服用。(19:30)しやべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。意識障害発現。 2007/2/7 (2:00)同様の車でB病院に受診。インフルエンザ検査(-)。以後本剤服用せず。同様の車でB病院からC病院へ転院を試みる。移動中に車から道路に出ようとし、危険だったのでB病院へ戻る。異常行動発現。(朝)救急車でB病院からC病院へ出発。(11:30)C病院到着。到着時、患者は言葉にならず、点滴を外そうとしたり意識は普通ではなかった、不穏状態。JCS3、入院。 2007/2/8 (朝)意識レベル改善。 2007/2/24 意識障害回復。	不明	
287	B07000070	54	年	男性	①遺棄 ②緊不全 ③異常行動	2007/3/22 2007/3/24	15:00 朝	2007/3/22 2007/3/24	夜 朝	×	Yes	-	30分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	尿・便失禁後、復の上に座ったりベッドの上に立つ等の行動。	無
288	B05020017	56	年	男性	精神症状	2005/2/18~ 2/21	1日2回	2005/2/21	服用から 2hr後	-	No	-	-	Yes	解熱後	Yes	No	-	No	No	2005/2/18 インフルエンザ治療のためタミフル投与開始。(150mg/日~2/21) 2005/2/21 夜服用し2時間後に突然うつ状態になり自殺したくなる。窓から飛び降りたくなる衝動にかられたが、子供のことを考えとどまる。(精神症状発現) 2005/02/22 精神症状回復したが、恐ろしくなり本剤を自発的に中止。	不明
289	B05024366	58	年	男性	①意識レベルの低下 ②呼吸困難	2006/01/28 2006/01/28 2006/01/29	夕食後 就寝前 不明	2006/01/29	AM5:00	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	2006/1/28 近医にてインフルエンザA型の診断を受け、本剤を処方。夕食後と寝る前に1capずつ内服。 2006/1/29 (3:00)本人の記憶あり。(5:00)呼吸音出現。家人が声をかけたが、振り払い罵れだしたため当院救急外来へ搬送。意識障害発現(非重篤)。(6:45)当院救急外来受診。来院後、意識が戻りそこら記憶があり。処置を行い軽度観察目的で入院。以後は本剤を中止し、経過観察。意識レベルは問題なく、呼吸音も消失。炎症反応も回復した。 2006/1/30 (午前)意識障害回復。意識レベル問題なし。その後も意識障害発現なし。 2006/2/1 インフルエンザ軽快。 2006/2/3 軽快退院。	無
290	B07000263	58	年	男性	意識障害状態 誘発	2007/3/12 2007/3/12	13:30 18:00	2007/3/13	7:00	×	Yes	-	20時間	No	解熱過程	No	-	-	-	No	無	
291	B06025002	59	年	男性	異常行動	2007/2/14	不明	2007/2/14	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。	不明	
292	B07019805	60	年	女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タミフル服用後、睡眠中に目の前が真っ赤になり、火事だと思いきや飛び出した。また、菊の花が見えて、それを取ろうとすると花が前にすすんで取れない。このような状況で怖くなり、なるべく遠くへ逃げようとしていた。異常行動発現。	-	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：発熱投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発見した事例
*：発熱投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発見しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じつな い:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一錠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠薬等症 等の既往	感染症等症 等の既往	先に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往歴 有無	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたか?と答えているのか?)	発熱投 与例	
293	B07016337	61	年	女性	異常行動	2007/4/2	2007/04/02	不明	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/04/02 関節痛、鼻炎、発熱のため受診。 A型インフルエンザと診断。本剤 2T/day x 3日分処方。 本剤1錠服用後、数時間(正確な時間は不明)経過したとき、横断歩道にて待機中、信号は赤でも関わらず、ふわっとした感じで飛び出してしまいそうになった。車のクラクションを鳴らされ、無事であった。その後は服用せず。		
294	B06025118	64	年	男性	精神状態変化	2006/2/17 2/18~2/19	2006/2/18	日中	-	-	No	No	-	Yes	-	-	-	No	自殺企図	(2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/28)「おにた」「おにた」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1)午前後不眠を訴える。ボーとしているが、落ち着かない。 (2006/3/1)17:00過ぎ近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、転帰は回復されている。		
295	B05018850	67	年	女性	副癌肝炎	2005/11/10 2005/11/11 2005/11/12 2005/11/13 2005/11/14	2005/11/18 2005/11/19	夜一	-	-	No	No	解熱過程	No	No	No	-	No	うつ病	2005/11/8 インフルエンザワクチン接種。 2005/11/9 発熱(39.8℃)、咽頭痛(+)、悪寒(+)。 2005/11/10 発熱。インフルエンザの疑いで本剤の投与を開始(150mg/日 ~11/14)。 2005/11/14 他科受診。X-P正常、熱(-)、便潜(+)、HCV(-)、HbA1c(-) 2005/11/15 急性肝炎(疑)入院。黄疸(+)、血中アンモニア:188、APTT:46.7秒、プロトロンビウム時間:21.8秒、HA抗体-IgM(-)、全身倦怠感、黄疸、肝不全発現。入院。 2005/11/17 夜間、朝おり意味不明言動あり。 2005/11/17 全身異常発熱、水様便多量。 2005/11/18 全身倦怠感増強。 2005/11/19 ベッドより飛び降りたり、大声で叫んだりする。血検交換のために一時他院へ転院。 2005/12/28 当院へ帰院。 2006/01/27 退院。		
296	B06001534	71	年	男性	①平素健康 ②異常行動	2008/4/1	2008/4/1	①17:00 ②22:00	×	-	28時間	少なくとも8時間以内	-	解熱過程	No	No	No	No	-	無	①(17:00) 覚醒後、自動車運転。 同乗の妻より車がまっすぐ走らない、方向感覚がおかしい、電柱に車をぶつける、車庫に車をうまく駐車できない、自宅に戻るも不安定で座位がとれないとのこと。 (21:00)本剤75mgを服用。 (22:00)覚醒。平衡機能障害回復(持続時間:5時間)。 ②2008/04/01 (22:00)覚醒。突然、田植えをしている動作あり。家人が話しかけると「田植えをしている」と。また、ほうきをはいている動作をするなどの異常行動が見られた。 2008/04/02 (22:00)異常行動回復(持続時間:24時間)。	
297	B06017551	71	年	女性	躁妄	①2006/3/2 3/3~3/6 ②2006/3/7	①2006/3/6 ②23:00	-	No	約1時間	30分~1時間	Yes	-	Yes	-	-	-	-	無	2006/2/26 気管支炎の治療のため入院。 2006/3/2 プレドニゾン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲低下続く。夕食摂取できず。 (18:00頃)38.5℃の発熱。背部痛もあり。クーリング施行。(21:00)KT:38.5 ナイブ0.5g頓服服用。咳喘、呼吸苦もあり、腋窩経鼻でIL開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型にてタミフル75mg x 2回/日処方。75mg服用。(~3/7朝)アミノフィリン16mL(400mg)で開始。 2006/3/3 プレドニゾン20mgへ。食欲低下続く。1割ほど摂取。下肢の痛み、関節痛、背部痛は軽減。(6:00)KT:37.2 (20:00)KT:37.2 2006/3/6 食事摂取は1~3割。躁妄は少しが。発熱なし。(6:00)38.7。 (20:00)37.2。(23:00)失禁。部屋からでてようとしているが、点滴がドアにはさまっている。ナースが付き添いトイレへ。暫くして見に行くと「間に合わなくて」とズボンをはいている。夜間せん妄(非重篤)発現。 2006/3/7 (6:00)昨日は昏迷になり夢遊病者みたいにおしっこを漏らしてしまい替えようと思ったら、シャツをズボンにして履いていた。床にうずくまって泣いていた。今はしっかりしている。食欲低下はまだあるため3~5割ほど摂取。プレドニゾン10mgへ。以後症状なし。夜間せん妄回復。(10:00)KT:36.3。 (20:00)KT:36.3。2006/3/8 インフルエンザ回復。退院される。	*	
298	B05000692	72	年	男性	①虚寒 ②意識レベルの低下	2005/2/25 ~2/28	2005/2/28	22:40	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2005/2/25 インフルエンザB型と診断。タミフル150mg/日、PA錠 3錠/日、カロナール600mg/日投与開始。 2005/2/28 (22:40)突然大きなびきと共に暴れた。(23:00)救急車で来院。意識障害を認め、ホリゾンIV、CT、血液検査施行。CT:正常。タミフルおよび併用薬投与中止。 2005/3/1 (1:00)病室へ入院。(4:00)虚寒、全身間代性発作発現。(4:07)発作消失。 高CK血症、GOT、LDH上昇あり。補液(ブドウ糖F1000mL(~3/6)、アミノフリード500mL(~3/3))施行。 2005/3/2 (8:30)意識レベル清明。 2005/3/9 虚寒、意識障害回復。退院。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
 *：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時 前	異常な行動発現時 後	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じや ない×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	聴覚異常症 等の既往	聴覚異常症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 異常な行 動(副作用 用)	異常な行動に 関する既往 歴	異常な行動の具体的な詳細 (附:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよとどう思っているのか?)	継続投 与例	
299	B05000875	72	年	男性	譫妄	2005/2/8 12:20 21:00 2/10~2/12 1日2回	2005/2/9	21:05	×	No	-	9分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	No	2005/2/9 (12:20)39℃の発熱で来院。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤1cap服用し、増量(2000錠)夕方まで一服熱。普通夕食摂取。(21:00前後)夕食後自宅へ戻り本剤服用。常用薬の服用は服用。その後8~10分で天井が回り出し、明未明まで記憶がはっきりしない。 2005/02/10 (8:22)家族から電話。部屋をひたひたまで驚かしてある。ストーブ転倒パッドに打撲がひどい。本人は打撲を右胸に抱えている。顔面の打撲あり。解熱まで本剤の服用を中止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄は回復。 2005/02/11 タミフルは夕方の投与で中止。	*	
300	B05024208	74	年	不明	①異常行動 ②大脳骨折 ③幻覚	2006/2/8~ 2/10	朝-夕 2/11~12 夜間~未明	×	No	-	No	No	No	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2006/2/8 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2/日投与開始。異常行動発現。 2006/2/10 (朝)幻覚発現(重篤度不明)。継続。インフルエンザ軽快。 2006/2/11 夜間から未明にかけて徘徊し、家族がさがしたが結果的にパトカーで確保された。 2006/2/12 家族がうたた寝したときに、2階より飛び降りて大腿骨骨折。(Dr:寝ていないのではないかと、現在治療のため入院中)	不明	
301	B02013397	70	年	女性	①落ち着きのなさ ②妄言	2003/1/2~ 1/6	1日2回	2003/1/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2002/3 この頃、被害妄想顕性化し他院通院。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/9 状態が安定化したため、当院に入院。レボチミン10mg/日、パキシル30mg/日投与開始。 2003/1/2 (10:20)体温39.0℃、倦怠感。(8:00)体温38.1℃、倦怠感、関節痛、上気道症状(鼻水、咽頭痛、咳等)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、インフルエンザ感染を疑いタミフル2カプセル分2を5日分処方。 (20:00)体温37.1℃、倦怠感、関節痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2℃、倦怠感、関節痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)電気をつけ、窓をあけゴソゴソしている。意味不明語、妄言、不穏あり。体温37.2℃、倦怠感、賢部痛、股関節痛あり。その後同様の状態がつづき徘徊して目が離せなくなる。タミフルは継続。(13:20)チ/バス0.5mg3錠/日(分3)投与開始。少しずつ精神状態安定化。 2003/1/8 チ/バス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	抑うつ神経症	
302	B06016883	83	年	男性	譫妄	2006/1/9 2006/1/9 2005/1/10 2006/1/10 2006/1/10 2006/1/11	朝 晩 昼 晩 朝	2006/1/10	10:00	×	No	-	34時間	No	発熱時のみ換熱あり	-	-	-	-	-	-	落ち着きがない、やや興奮気味。「これはいや、寝るからいらん」と顔面紅潮させる。点滴ルートやチューブでぐるぐる巻きになっていた。「もういらんね、別にもう結構です」と何を言っているかわからない。不穏状態続く。ゼイゼイしながら、熱い熱い顔を見ていた。病棟内をうろつく。隣の患者のベッドに乗り込み、何かいると、とても怖がる様子、看護士がなだめる。ぼっといとのこと、病棟をうろつくし、他の患者のところに居座る。杖を振り回す。起きるとすぐに意味不明発語あり。徘徊	*
303	B06025119	83	年	男性	異常行動	2007/12/7	朝	2007/2/7	12:00	×	No	-	-	解熱過程	Yes	No	No	No	No	No	2007/2/5 インフルエンザと診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(2~2/8)。 2007/2/8 (20~21:00)就寝。 2007/2/7 (朝)タミフル減量(75mg×1/日)。(屋前)浴室にいた。睡眠不足はなし。車の運転が大好きで当日、奥さん(入院中だった)の病院へ自分で車を運転して行くつもりだったが、インフルエンザに罹り、発熱が出ていた(当日は熱はなかった)こともあり、妻の人に運転を止められ車を立てて、病室まで出た。軽トラが何かで家の周りを、数回まわっていたらしい。(12:00頃)異常行動出現。除菌剤(バス)を数回、(18:30)薬を吐き出し、家人に助けを求めた。除菌剤を服用したことを自ら、ポケットに除菌剤のラベルを入れて持っていた。(18:45)意識消失。(19:00)救急車で他院へ搬送され、治療を受けた。入院。後遺症なし。入院後下痢が長く続いたため、体力消耗し、そのためいつもの状態に戻るのに日数を要した。インフルエンザ軽快・回復。 2007/2/28 回復。 2007/2/28 退院。	不明	
304	B03008735	85	年	女性	全健忘	2003/12/28 ~12/28	1日2回	2003/12/29	1:00	-	-	14時間	No	解熱後	No	No	-	No	No	No	2003/12/28朝 悪寒腹痛、体温40℃。救急車で当院来診。上咽頭粘膜のインフルエンザ抗原陽性、脱水、低酸素血症あり。タミフル(150mg/日)、O2、補液開始。 2003/12/28午後 平熱になった。 2003/12/29 (1:00)入院したことを忘れており、失見当帳、病棟内徘徊、ミオクローヌスなし。(9:00)頭部CT正常。記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を見て「アンタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話す。(14:00)患者の息子を話し合い、インフルエンザが治ったこと、一過性全健忘で治ると思われることを報酬に自宅へ退院。(18:00)前日までの記憶が戻り、29日未明~退院までの記憶が欠損したことを覚えており、失見当帳、病棟内徘徊、記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を見て「アンタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話す	無	
305	B05024985	85	年	男性	譫妄	2006/2/3 ~2/5	1日2回	①2006/2/5 ②2006/2/8 ③2006/2/7	-	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	失明患者	Yes	①興奮気味で意味不明なことを話す(眼が見えるようになって等)。 ②指が何故か、今どこにもないか、服用して貰わないか。 ③子供の声が聞こえ、窓を開けて外に出た。小さなタンス等を探しのけて出た。	認知症

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回までの 回復までの 時間	一錠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒成 等の変化	先に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動 に起因する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたかと言っているのか？)	継続投 与例
306	B04027291	90	年	女性	肺炎	2005/3/10 3/11~3/13 3/14	18:00 1日2回 1日1回	2005/3/12	18:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	1994頃 慢性腎不全、慢性心不全、甲状腺機能低下症発症。 2005/03/09 咳、痰、発熱あり。 2005/03/10 (15:00) 外来受診。インフルエンザB陽性、肺炎と心不全、腎不全 増悪あり、入院予定であったが、空床が無く、外来でロセフィン点滴と本剤、ムコ トロン、痰水の処方を行い一旦帰宅。 2005/03/11 (11:20) 入院。本剤、ロセフィン、感冒薬継続。 2005/03/12 (18:00) 点滴抜針。せん妄発現。 2005/03/13 (0:40) 意味不明の言動。(19:00) 採尿、興奮、職員への暴力。 (20:50) セレネース1A im。 2005/03/14 (15:00) 覚醒度不良。意味不明の言動、興奮は消失。夕方より、 本剤投与中止。 2005/03/15 上記の行動消失も日中確認。夜間は良眠。 2005/03/18 ロセフィン投与中止。 2005/03/19 (15:00) つじつまの合わない発語が時々。 2005/03/20 (15:00) せん妄軽快、以前の状態へ回復。	無
307	B05025587	90	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/2/15 2/16~2/17	夕 朝-夕	①2006/2/18 ②2006/2/18 ③2006/2/19	①1:00 ②4:30 ③7:00	-	-	-	解熱過程	No	No	No	No	No	2006/2/14 夕方頃より発熱38.3℃、せき、鼻水 2006/2/15 (15:00) 熱38.6℃。(17:00) 来院。2日間接触のあった者がインフルエ ンザだったことが判明したため、タミフル及び併用薬を処方(インフルエンザの確 定診断は行っていない)。帰宅後タミフル1カプセル服用。 2006/2/18 平熱、咳あり。薬 朝-夕服用。 2006/2/17 平熱、咳あり。薬 朝-夕服用。 2006/2/18 (1:00) 夜中、大きな声を出し幻覚症状訴える。薬中止。幻覚症状続 く。興奮状態。 2006/2/18 (4:30) 朝、大きな声がするので見ると部屋のサッシが開いて軒先金 く出られないところから外へ出た後、廊下に立っていた。左手を痛める(原因不 明)。排便後ベッドに入る。(7:00) 朝食のため呼びに行くと、また外へ出た座って いた。幻覚あり。痰を取った後、疲れたように眠り続ける。時々水を取らせる も熱絡。(20:30) 夕食。手を痛がる。トイレ時、下着が上げられない。 2006/2/20 (10:00) 来院。左手首ねんざ、両下肢に打撲傷、擦り傷あり。 幻覚、異常行動回復。	無
308	B05001178	94	年	男性	胃腸出血	2005/3/24	17:30	2005/3/27	17:00	-	No	-	解熱過程	No	No	No	No	No	1995/12/26 慢性腎不全にて血液透析開始。 2005/3/24 (午後19:5) の発熱のため透析後内科受診。インフルエンザA型と 診断。(18:00) 入院。38.4℃(17:30) 39.4℃。タミフル1cap、ロキソニン錠服用。タミ フル、ロキソニンは1回のみ。(21:00) BT36.7℃。その後は発熱を認めず。 2005/3/25 解熱。 2005/3/26 透析実施。 2005/3/27 (不穏行動の詳細は不明。興奮であり、3月27日曜日であった。 少し認知症の気があった。) 吐しゃ物の潜血反応検査実施陽性(出血量としては 軽度) この時点から消化管出血があったかは疑問。(17:00) 不穏な行動あり、 その後嘔吐(潜血反応)(19:00) 一時禁食にしていたが、嘔吐、気分不快なく同 日夕食を介助にて摂取した。(この時にはタミフル服用なし) 2005/3/30 (8:00) 朝食も半分量摂取。気分不快等の訴えもない。(14:15) タミ フル中等量。胃腸痛あり。そのため朝食。(22:20) 突然の下血多量(タミフル便)。頭 色不良。その後下血続いていた。翌日胃腸が平定される。 2005/3/31 (2:30) 呼吸状態悪化。血圧低下。挿管人工呼吸器装着。(3:00) 血圧 低下。(3:30) 心拍数低下(4:27) 死亡確認。	不明
309	B07013381	84	年	女性	異常行動	2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/4/1 2007/4/1 2007/4/2 2007/4/2 2007/4/3 2007/4/3	朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/29	夜間	×	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2007/3/29 インフルエンザA型と診断。発症時の自覚各症状として発熱 (38.5℃)、頭痛、関節痛を認める。タミフルカプセル75の投与を開始(〜3月31 日) 朝まで投与。夜間 異常行動(非重篤)発現。昼のわがままい発語とともに 屋外に出て行ってしまった。異常行動は回復。その後は特に異常行動はな かった。	*
310	B07000403	小児		女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本剤投与後、「自分が透明になった。2階に足が引っ付いて離れない2時間くら い居る。母とおばがしばらく押さえつけてこたなきを得たとの報告を受けた。もと もと患者は精神科に通っている。	不明
311	B07013378	小児		男性	異常行動	-	-	2007/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱性痙攣の既往あり。 不明 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2007/3 3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り 回るなど異常な行動が見られた。 不明 翌日には回復しており一時的であった。	熱性痙攣
312	B07000209	青少年		男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/2インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始。(75mg×2/日) 流行中 の革からの飛び出し。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。	不明
313	B07027776	不明		男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	不明 インフルエンザ治療のため、本剤を5日分処方。1日目の2カプセルを目飲ん だところまでは記憶はあるが、その後なくなる。朝、ベッドに座っていて、気がつくよ うから出血していた。知らぬ間にトイレのタンクを壊していた。水漏しに気づかず。異常 行動。手から血が出ていた発現。 その後服用を継続したが、異常行動はなかった。異常行動 回復。	-